

第五十一回帝國議會
衆議院

府縣制中改正法律案(政府提出)外六件

府縣制中改正法律案(政府提出)
市制中改正法律案(政府提出)
町村制中改正法律案(政府提出)
北海道會法中改正法律案(政府提出)
北海道上會法中改正法律案(政府提出)
水利組合中改正法律案(政府提出)
徵發令中改正法律案(政府提出)
徵發令中改正法律案(政府提出)
徵發令中改正法律案(政府提出)
徵發令中改正法律案(政府提出)

委員會會議錄(速記)第五回

會議

大正十五年三月五日(金曜日)午前十時
二十六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 荒川 五郎君

理事 由谷 義治君

理事 赤間嘉之吉君

理事 高島 順作君

高木 正年君 齋藤 隆夫君

奥村 千歲君 淺賀長兵衛君

工藤 鐵男君 加藤 鯛一君

澤田 利吉君 青木知四郎君

近藤 達兒君 松實喜代太君

植原悅二郎君 石坂 豐一君

大口 喜六君 高橋熊次郎君

山本 慎平君 小橋 一太君

志村清右衛門君 奥野小四郎君

加藤鏢五郎君 田口 文次君

土屋清三郎君

三月四日委員清水留三郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ同日奥村千歲君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同日五日委員井上孝哉君辭任ニ付其ノ補闕トシテ同日伊坂秀五郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同日理事高橋熊次郎君理事ヲ辭任シ其ノ補闕トシテ赤間嘉之吉君理事ニ當選

セリ

出席國務大臣左ノ如シ

內閣總理大臣兼 若槻禮次郎君

出席政府委員左ノ如シ

內務省地方局長 潮 惠之輔君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

內務事務官 狹間 茂君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

府縣制中改年法律案(政府提出)

市制中改正法律案(政府提出)

町村制中改正法律案(政府提出)

北海道會法中改正法律案(政府提出)

北海道地方費法中改正法律案(政府提出)

提出)

水利組合法中改正法律案(政府提出)

徵發令中郡及郡長ニ關スル規定ノ適用ニ關スル法律案(政府提出)

荒川委員長 是ヨリ府縣制中改正法律案外六件ノ委員會ヲ續行致シマス、

松實喜代太君

○松實委員 私ハ北海道會法及地方費法ト、現在分レテ法律ガ制定ニナッテ居

ルノデアリマスガ、府縣制ノ如ク何故

ニ北海道制ト云フモノヲ制定シナイカ

ト云フコトヲ先ヅ第一ニ御伺ヒ致シタ

イノデアリマス、此法文ヲ對照致シテ

見マスルト、北海道會法並地方費法ハ

殆ド全部府縣制ト同ジヤウナ事ニナッ

テ居ル、唯僅ニ府縣ト趣ヲ異ニスル點

ダケガ除外サレテ居ルノデアリマス、

最モ其中ノ重要ナル府縣制ノ第七十八

條ハ、道會法若クハ地方費法ニ掲ゲラ

レテ居リマセヌケレドモ、其他ハ殆ド

全部府縣制ト北海道會法並地方費法ト

ハ同ジヤウニナッテ居ル、斯ク御尋スル

ト當局者ハ或ハ北海道ニハ澤山ノ國費

事業ガアル、又未開地ガアルノデ住民

ヲ容レナケレバナラヌト云フ爲ニ、道

制ノ制定ガ出來ナイ、斯ウ云フヤウニ

御答ニナルカモ知レマセヌガ、私共カ

ラ考ヘルト、國費事業ハ澤山アルケレ

ドモ、是ハ地方ノ自治問題トハ別ノ仕

事デアアルノデアアルカラシテ、決シテ道

制ヲ制定サレテモ差支ナイト思ヒマ

ス、未ダ未開地ガアル、或ハ住民ヲ容レ

ル餘地ガアルト云フ御話ニナルカモ知

レマセヌガ、現ニ北海道トシテハ、代議

士モ選舉サレ、其他不完全デハアルガ、

町村ノ自治モ今日デハ布カレテ居ルノ

デアアル、サウ考ヘテ見マス、矢張北海

道道制ト云フモノヲ制定シテ、サウシ

テ、他府縣ト同様ナル制度ノ下ニ、自治

ヲ計シタ方ガ適當デアラウト思フ、何

トナク今ノ制度デ考ヘテ見マス、ト云フ

ト、私共北海道ニ居ル者ト致シマシテ

ハ、未ダ一人前ニナレナイヤウナ氣ガ

スル、何トナク親掛リデ保護ヲ受ケテ

居ルヤウナ考ガ致スノデアアル、先程モ

申シタヤウナ國費事業ガ多々アルト申

シマスガ、是ハ地方ノ自治ト云フモノ

トハ關係ヲ持ッテ居ラヌ、國ガ當然爲ス

ベキ仕事ヲ、北海道ニ於テ爲シテ居ル

ノデアアルカラ、地方ノ自治云々トハ大

ニ關係カ異ニシテ居ルト思フ、是デ質

問ノ要領ハ分ルト思ヒマスカラ御答ヲ

願ヒマス

○潮政府委員 一應私カラ御答ヲ申上

ゲマス、北海道ノ制度ニ於キマシテハ、

只今松實サンノ御述ノ通り、或ハ北海

道會法、或ハ北海道地方費法ト云フヤウ

ナ、二ツノ獨立ノ法規ノ下ニ成立致シ

テ居ルノデアリマス、内容ハ矢張仰セ

ノ如ク、大體ニ於キマシテ府縣制ノ規

定ヲ準用ヲ致シテ居リマスノデアリマ

スルガ、從來ノ北海道地方費及ビ北海

道道會法ト云フモノヲ廢止致シテ、一

ツノ府縣制ノ下ニ北海道制或ハ道法ト

云フヤウナモノヲ作ッタラドウカト云

フ議ハ、私ハ北海道ニ於テモサウ云フ

議論ガアルヤウニ伺ヒマスガ、又私共ノ仲間ニ於キマシテモ、サウ云フコトヲ論議致シタコトモアルノデアリマス、併シ翻テ考ヘマス、北海道ノ實狀ハ、只今御述ノ通り、國費事業ヲヤツテ居ルカラト云フ趣旨デハゴザイマセヌケレドモ、兎ニモ角ニモ重大ナル拓殖事業ノ只今進行中デアリマス、詰リ北海道開拓上ノ途中ニマダアリマスノデ、之ニ向ッテ一ツノ内地ノヤウナ府縣制ト云フコトニ致シテ行クコトハ、今暫ク様子ヲ見ルガ適當デハアルマイカ、或ハ北海道ノ拓殖事業ニ從ヒマシテ、ドウ云フ法制ヲ立テルガ宜イカト云フコトニ付テハ、違ッタ考ガ出ルヤウナ虞モアリマス、暫ク是ハ見合セテモ遅クナイデハアルマイカ、縦シ只今之ヲ併セマシテ北海道制ト云フモノヲ作ルニ致シマシテモ、或ハ恐レマスノハ、即チ唯形式ダケヲ合セタノダト云フ批評モ起ルノデアリマシテ、實質ニ於キマシテハ御述ノ通り大體ニ於キマシテ府縣竝ニ致シテ居リマスケレドモ、從來ノ沿革上二ツニ分レテ居リマスモノヲ、茲ニ一ツニ纏メマシテモ、實質上ニ左マデ影響ハナイト云フヤウナ考カラ、此度モ之ヲ一纏メニシテ道制ヲ制定スルト云フコトハ見合セテ置キマシタノデゴザイマス

○植原委員 委員長、議事ノ進行ニ付テ私一寸申述ベマス、今委員ノ定數ヲ缺イデ居リマスルガ、併シ成ベク議事ヲ圓滿ニ進捗セシムル爲ニ、各派デ他ノ委員會モ開カレテ居ルコトデアルカラ、出席シタモノト認メテ議事ヲ進行シテ行クコトニ對シテ、私敢テ異議ヲ申ス積リハナイ、サウ云フ慣例モアリマスカラ、併シ圓滿ニ議事ヲ進メル爲ニ約束シタコトヲモ、昨日委員長ガ破ルヤウナ實例ガアリマスカラシテ、成ベク圓滿ニ、合意のニ協議ヲ致シ、協定致シテ行ケルコトナラバ行ク御方針デナサルナラバ、私此場合議事ヲ進メルコトヲ結構ダト思ヒマスガ、漫ニ——

○植原委員 其御答ナラバモウ差支アリマセヌ

○松實委員 只今政府委員ノ御答ノ北海道制若クハ北海道法ト云フヤウナモノヲ制定スルト云フ意思ノ未ダナイト云フコトニ對シマシテハ、私ハ甚ダ満足ヲスルコトハ出來マセヌガ、是以上ニ其事ニ就テ論究スルト、意見ノ相違ニナルト思ヒマス、ダガ唯一言御話申上ゲテ當局ノ御考ヲ煩ハシタイノハ、北海道ハ後デ質問致ス積リデアリマスガ、町村制ノ如キモ無論改正ヲシナケレバナラヌ、サウシテ純粹ノ獨立ヲ許ス、自治ヲ許スト云フコトニナラナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、先程申シマシタヤウニ、國費事業ガアルカラ、是ハ國費事業ト地方費ノ事業トハ、全然截然トシテ分レテ居ルモノデアル、特別ニ地方費ニ向ッテ、國ガ何等カ府縣等ヨリ以上ノ地方費ノ補助ヲ與ヘテ居ルトカ云フヤウナ、又國庫ノ補助デモ與ヘナケレバ地方費ガ經營ガ出來ヌ、斯ウ云フモノデアラナラバ、御説ハ御尤トシテ拜承出來ルノデアリマスケレドモ、只今ノ御話デハ私ハドウシテモサウト受取ルコトハ出來ヌノデアリマス、ドウカ是ハ能ク政府當局ニ於テモ御研究ヲ仰ギタイ、道制ノコトハ是デ止メテ置キマスガ、次ニ若シ此道制ヲ制定シテ、道會法ト云フモノト地方費法ヲ一緒ニスルコトハ出來ナイコトデアラナラバ、地方費法ノ細目ニ互ルヤ

ウデアリマスガ、此地方費法ト北海道會法トニ準用サレテ居ル所ノ府縣制ノ簡條ニ付テ甚ダ誤リ易イ點ガアルノデアル、即チ北海道地方費法ノ第二條ニ「北海道地方稅ニ關シテハ法律勅令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外府稅ニ關スル規定ヲ準用ス」ト云フ條項ガアルト同時ニ、第八條ノ三ニ至リマシテハ府縣制ノ準用スベキ條項ガ列舉シテアル、ソコデ之ニ對照シテ見ルノニ甚ダムヅカシイ、府縣制ノ準用ニ對シテ、例ヘバ第三百三條、百十五條、百十六條ノ如キ——百三條ノ第一項ハ例ヘバ道會法ニ適用シ、第二項以下ハ地方費法ニ準用スルト云フ風ニ、甚ダ是ハ煩雜デ、誰モ見分ガツカナイ、是ハモウ少シ具體的ニ申サスト分ラヌカモ知レヌガ、百三條ノ如キハ地方費法ノ第三條ニ準用ヲ受ケテ居ル、第四條第五條第六條モサウデアリマスガ、其百三條ノ二項ノ「府縣ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其費用ヲ町村ニ分賦スルコトヲ得」ト云フ條項ハ地方費法ノ第八條ノ三ニ依テ此準用ヲ受ケテ居ル、斯ウ云フヤウナ風ニナッテ居ルノデアアルカラ、此場合ニ於テ寧ロ地方費法ノ第二條ト云フモノ、之ヲ第八條ノ三ニ持ッテ行ッテ、サウシテ列舉主義ヲ取ッタ方ガ大變分リ易クテ宜イ、私ハ最初ニ政府カラ參考書類トシテ戴イタ地方制度ノ書類ニ依テ調べタガ中ミ分ラヌ、ドウ云フモノデア

ルカト思ッテ、北海道デ拵ヘタ法規先例

○植原委員 委員長、議事ノ進行ニ付テ私一寸申述ベマス、今委員ノ定數ヲ缺イデ居リマスルガ、併シ成ベク議事ヲ圓滿ニ進捗セシムル爲ニ、各派デ他ノ委員會モ開カレテ居ルコトデアルカラ、出席シタモノト認メテ議事ヲ進行シテ行クコトニ對シテ、私敢テ異議ヲ申ス積リハナイ、サウ云フ慣例モアリマスカラ、併シ圓滿ニ議事ヲ進メル爲ニ約束シタコトヲモ、昨日委員長ガ破ルヤウナ實例ガアリマスカラシテ、成ベク圓滿ニ、合意のニ協議ヲ致シ、協定致シテ行ケルコトナラバ行ク御方針デナサルナラバ、私此場合議事ヲ進メルコトヲ結構ダト思ヒマスガ、漫ニ——

○植原委員 其御答ナラバモウ差支アリマセヌ

○松實委員 只今政府委員ノ御答ノ北海道制若クハ北海道法ト云フヤウナモノヲ制定スルト云フ意思ノ未ダナイト云フコトニ對シマシテハ、私ハ甚ダ満足ヲスルコトハ出來マセヌガ、是以上ニ其事ニ就テ論究スルト、意見ノ相違ニナルト思ヒマス、ダガ唯一言御話申上ゲテ當局ノ御考ヲ煩ハシタイノハ、北海道ハ後デ質問致ス積リデアリマスガ、町村制ノ如キモ無論改正ヲシナケレバナラヌ、サウシテ純粹ノ獨立ヲ許ス、自治ヲ許スト云フコトニナラナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、先程申シマシタヤウニ、國費事業ガアルカラ、是ハ國費事業ト地方費ノ事業トハ、全然截然トシテ分レテ居ルモノデアル、特別ニ地方費ニ向ッテ、國ガ何等カ府縣等ヨリ以上ノ地方費ノ補助ヲ與ヘテ居ルトカ云フヤウナ、又國庫ノ補助デモ與ヘナケレバ地方費ガ經營ガ出來ヌ、斯ウ云フモノデアラナラバ、御説ハ御尤トシテ拜承出來ルノデアリマスケレドモ、只今ノ御話デハ私ハドウシテモサウト受取ルコトハ出來ヌノデアリマス、ドウカ是ハ能ク政府當局ニ於テモ御研究ヲ仰ギタイ、道制ノコトハ是デ止メテ置キマスガ、次ニ若シ此道制ヲ制定シテ、道會法ト云フモノト地方費法ヲ一緒ニスルコトハ出來ナイコトデアラナラバ、地方費法ノ細目ニ互ルヤ

ウデアリマスガ、此地方費法ト北海道會法トニ準用サレテ居ル所ノ府縣制ノ簡條ニ付テ甚ダ誤リ易イ點ガアルノデアル、即チ北海道地方費法ノ第二條ニ「北海道地方稅ニ關シテハ法律勅令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外府稅ニ關スル規定ヲ準用ス」ト云フ條項ガアルト同時ニ、第八條ノ三ニ至リマシテハ府縣制ノ準用スベキ條項ガ列舉シテアル、ソコデ之ニ對照シテ見ルノニ甚ダムヅカシイ、府縣制ノ準用ニ對シテ、例ヘバ第三百三條、百十五條、百十六條ノ如キ——百三條ノ第一項ハ例ヘバ道會法ニ適用シ、第二項以下ハ地方費法ニ準用スルト云フ風ニ、甚ダ是ハ煩雜デ、誰モ見分ガツカナイ、是ハモウ少シ具體的ニ申サスト分ラヌカモ知レヌガ、百三條ノ如キハ地方費法ノ第三條ニ準用ヲ受ケテ居ル、第四條第五條第六條モサウデアリマスガ、其百三條ノ二項ノ「府縣ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其費用ヲ町村ニ分賦スルコトヲ得」ト云フ條項ハ地方費法ノ第八條ノ三ニ依テ此準用ヲ受ケテ居ル、斯ウ云フヤウナ風ニナッテ居ルノデアアルカラ、此場合ニ於テ寧ロ地方費法ノ第二條ト云フモノ、之ヲ第八條ノ三ニ持ッテ行ッテ、サウシテ列舉主義ヲ取ッタ方ガ大變分リ易クテ宜イ、私ハ最初ニ政府カラ參考書類トシテ戴イタ地方制度ノ書類ニ依テ調べタガ中ミ分ラヌ、ドウ云フモノデア

ルカト思ッテ、北海道デ拵ヘタ法規先例

ヲ借リマシテ漸ク此事ハ分ツタノデア
リマスガ、是等ハドウ云フ譯デ第二條
ト第八條ノ三トヲ併合シテ列舉主義ヲ
取ラナイカト云フコトヲ伺ヒタイノデ
アリマス

第百十一條或ハ百十六條ノ如キモ矢張
府縣稅ニ關スル規定デゴザイマスノ
デ、是ハ特ニ舉ゲナクテモ第二條ニ依
テ當然行キマス、然ルニ府縣制第百三
條ノ二項ニナリマス、直接府縣稅ノ
コトデゴザイマセヌノデ「府縣ハ勅令
ノ定ムル所ニ依リ其ノ費用ヲ市町村ヘ
分賦スルコトヲ得」ト云フ規定デゴザ
イマス、此分賦規定モ結局ハ市町村ノ
稅ノ負擔ニハナリマセウガ、府縣稅デ
ハアリマセヌノデ、百三條ノ二項ハ地
方費法八條ノ三ニ於キマシテ明ニ之ヲ
準用スルト書キ、其他府縣稅ニ關スル
モノハ地方費法ノ第二條ノ規定デ準用
スルト云フ立前ニナツテ居リマス、是ハ
唯現行法ノ說明ヲ申上ゲルノデアリマ
スガ、元來準用ノ爲ニ引張ッテ來ル條文
ナドハ大變分リ難イモノデアリマスガ
ラ、適當ノ機會ニ於テ成ルベク斯ウ云
フモノハ廢メタイト存ジテ居リマス

ベシ知ラシムベカラズノ筆法デ行ケ
バ、コンナモノデモ宜イカモ知レヌ、或
ハ官ノ威信ヲ保ツトカ言フテ成ベクム
ヅカシイコトニシヤウト云フナラ宜イ
カモ知ラヌガ、今日ノ時代ニハ、ソレハ
モウ經過シテ居ル次第デアリマス、是
ハ簡單明瞭ニ、第八條ノ三ニ列舉シテ
シマヘバ、スッカリ明瞭ニナルト云フノ
デアルカラ、此點モ改正出來ヌト言ヘ
バ出來ナイカモ知ラヌガ、是ハ出來ナ
イモノデナイト思フ、サウ云フムヅカ
シイ問題デナイト思フ、ソレカラ次ニ
御伺シタイノハ、先程モ一寸申シマシ
タガ、府縣制ノ第七十八條デアリマス
ガ、是ハ道會法ニモ地方費法ニモ準用
サレテ居ラヌノデアリマスガ、準用サ
レテ居ラヌノハ、要スルニ道制トカ道
法トカ云フヤウナ根本問題ガ解決シナ
イ結果デアアルカトモ思フノデアルガ、
此點ハドウデアアルカ、此七十八條ト云
フモノハ、府縣ノ地方官ノ職務權限ヲ
規定シタノデアアルガ、是モ北海道ヘ準
用スルト云フノハ一向差支ナイト思
フ、唯之ニ類似シタ法文ヲ強ヒテ求メ
マスルト云フト、地方費法ノ第八條ノ
二ニ「北海道長官ハ北海道地方費ノ行
政ヲ擔任ス」ト云フ此簡單ナ文字デア
ルガ、之ニ依テ多分政府ハ、府縣制ノ第
七十八條ノ準用ヲシナクテモ差支ナイト
御答ニナルカモ知ラヌガ、ドウモ此八
條ノ二ダケデハ、如何ニモ満足スルコ
トハ出來ヌヤウナ考ガアルノデアリマ

スガ、此點ニ付テドウ御考ニナツテ居
リマスカ
○潮政府委員 府縣制第七十八條ノ如
キ規定ガ、北海道會法ニモ地方費法ニ
モ準用シテナイノハ、不都合デハナイ
カト云フ御話デアリマスガ、是ハ地方
費法ノ八條ノ二ニ「北海道長官ハ北海
道地方費ノ行政ヲ擔任ス」トアリマス
ノデ、大體差支ナイト存ジテ居リマス、
是等ノ如キハ先程申シマシタ如ク、北
海道ニ關スル是等ノ法規ノ整理ヲ、今
少シク整ヘルト云フコトニナレバ、サ
ウ云フ機會ニハ又考慮スベキ問題ダト
存ジテ居リマス

○潮政府委員 御質問ハ一面カラ拜承
シマス、御尤デアリマス、此準用
ト云フコトハ非常ニ分リニクイコトデ
アリマシテ、出來得ルナラバ準用ハ成
ベク廢メマシテ、諄クハアリマシテモ
全體ヲ明文ニ書クト云フノガ宜イト思
ヒマスガ、北海道地方費法、或ハ道會法
ニ付キマシテ、モウ少シ大キイ改正デ
モ加ヘル、或ハ先程御述ノ統一法デモ
出來ルヤウナ場合ニハ、私共ノ考トシ
テハ是非明文ニ書キタイ位ニ思ッテ居
ルノデアリマス、併シ只今ノハ現行法ト
シテノ御尋ナノデアリマスカラ、ソレ
ノ御答ヲ致シマスガ、今御述ニナリマ
シタ地方費法ノ第二條、第八條ノ三、是
トノ關係ノ如キモ、一見甚ダ迷フヤウ
ニ見エマス、併シ御覽ノ通り、第二條ニ
於キマシテハ北海道地方稅ニ關シテハ
府縣稅ニ關スル規定ヲ準用シテ居ル、
府縣稅ニ關スル事項ハ別ニ規定ガナケ
レバ全部北海道ニ準用スルノダト云フ
大原則ヲ第二條デ定メテ居リマス、府
縣制第百三條ノ一項ハ「府縣稅及其賦
課徵收方法ニ關シテハ」云々トゴザイ
マスニ依テ、地方費法ノ第二條ニ依リ
マシテ府縣制百三條ノ第一項ト云フモ
ノハ直ニ準用致サレマス、又府縣制ノ

第百十一條或ハ百十六條ノ如キモ矢張
府縣稅ニ關スル規定デゴザイマスノ
デ、是ハ特ニ舉ゲナクテモ第二條ニ依
テ當然行キマス、然ルニ府縣制第百三
條ノ二項ニナリマス、直接府縣稅ノ
コトデゴザイマセヌノデ「府縣ハ勅令
ノ定ムル所ニ依リ其ノ費用ヲ市町村ヘ
分賦スルコトヲ得」ト云フ規定デゴザ
イマス、此分賦規定モ結局ハ市町村ノ
稅ノ負擔ニハナリマセウガ、府縣稅デ
ハアリマセヌノデ、百三條ノ二項ハ地
方費法八條ノ三ニ於キマシテ明ニ之ヲ
準用スルト書キ、其他府縣稅ニ關スル
モノハ地方費法ノ第二條ノ規定デ準用
スルト云フ立前ニナツテ居リマス、是ハ
唯現行法ノ說明ヲ申上ゲルノデアリマ
スガ、元來準用ノ爲ニ引張ッテ來ル條文
ナドハ大變分リ難イモノデアリマスガ
ラ、適當ノ機會ニ於テ成ルベク斯ウ云
フモノハ廢メタイト存ジテ居リマス

ベシ知ラシムベカラズノ筆法デ行ケ
バ、コンナモノデモ宜イカモ知レヌ、或
ハ官ノ威信ヲ保ツトカ言フテ成ベクム
ヅカシイコトニシヤウト云フナラ宜イ
カモ知ラヌガ、今日ノ時代ニハ、ソレハ
モウ經過シテ居ル次第デアリマス、是
ハ簡單明瞭ニ、第八條ノ三ニ列舉シテ
シマヘバ、スッカリ明瞭ニナルト云フノ
デアルカラ、此點モ改正出來ヌト言ヘ
バ出來ナイカモ知ラヌガ、是ハ出來ナ
イモノデナイト思フ、サウ云フムヅカ
シイ問題デナイト思フ、ソレカラ次ニ
御伺シタイノハ、先程モ一寸申シマシ
タガ、府縣制ノ第七十八條デアリマス
ガ、是ハ道會法ニモ地方費法ニモ準用
サレテ居ラヌノデアリマスガ、準用サ
レテ居ラヌノハ、要スルニ道制トカ道
法トカ云フヤウナ根本問題ガ解決シナ
イ結果デアアルカトモ思フノデアルガ、
此點ハドウデアアルカ、此七十八條ト云
フモノハ、府縣ノ地方官ノ職務權限ヲ
規定シタノデアアルガ、是モ北海道ヘ準
用スルト云フノハ一向差支ナイト思
フ、唯之ニ類似シタ法文ヲ強ヒテ求メ
マスルト云フト、地方費法ノ第八條ノ
二ニ「北海道長官ハ北海道地方費ノ行
政ヲ擔任ス」ト云フ此簡單ナ文字デア
ルガ、之ニ依テ多分政府ハ、府縣制ノ第
七十八條ノ準用ヲシナクテモ差支ナイト
御答ニナルカモ知ラヌガ、ドウモ此八
條ノ二ダケデハ、如何ニモ満足スルコ
トハ出來ヌヤウナ考ガアルノデアリマ

スガ、此點ニ付テドウ御考ニナツテ居
リマスカ
○潮政府委員 府縣制第七十八條ノ如
キ規定ガ、北海道會法ニモ地方費法ニ
モ準用シテナイノハ、不都合デハナイ
カト云フ御話デアリマスガ、是ハ地方
費法ノ八條ノ二ニ「北海道長官ハ北海
道地方費ノ行政ヲ擔任ス」トアリマス
ノデ、大體差支ナイト存ジテ居リマス、
是等ノ如キハ先程申シマシタ如ク、北
海道ニ關スル是等ノ法規ノ整理ヲ、今
少シク整ヘルト云フコトニナレバ、サ
ウ云フ機會ニハ又考慮スベキ問題ダト
存ジテ居リマス

○松實委員 斯ウ云フ煩雜ナモノハ斯
ウ云フ機會ニ一緒ニシタ方が私ハ宜シ
イト思フ、之ヲ一緒ニシテ準用ノ箇條
ヲ列舉シタカラト云フテ何モ差支ハナ
イト思フ、ソレハ今例ヲ見マシタガ、一
項ハ第二條ニ適用シ、二項以下ハ第八
條ノ三ニ準用スルナドト云フノハ澤山
モナイノデアリマス、五六箇條アルヤ
ウニ見エマスガ、甚ダ斯ウ云フモノハ
煩雜デアアル、之ヲ専門ニ取扱フ人ナラ
宜シイケレドモ、地方ノ人ミナドハ中
中ニハ分ラナイ、昔ノヤウニ由ラシム

第百十一條或ハ百十六條ノ如キモ矢張
府縣稅ニ關スル規定デゴザイマスノ
デ、是ハ特ニ舉ゲナクテモ第二條ニ依
テ當然行キマス、然ルニ府縣制第百三
條ノ二項ニナリマス、直接府縣稅ノ
コトデゴザイマセヌノデ「府縣ハ勅令
ノ定ムル所ニ依リ其ノ費用ヲ市町村ヘ
分賦スルコトヲ得」ト云フ規定デゴザ
イマス、此分賦規定モ結局ハ市町村ノ
稅ノ負擔ニハナリマセウガ、府縣稅デ
ハアリマセヌノデ、百三條ノ二項ハ地
方費法八條ノ三ニ於キマシテ明ニ之ヲ
準用スルト書キ、其他府縣稅ニ關スル
モノハ地方費法ノ第二條ノ規定デ準用
スルト云フ立前ニナツテ居リマス、是ハ
唯現行法ノ說明ヲ申上ゲルノデアリマ
スガ、元來準用ノ爲ニ引張ッテ來ル條文
ナドハ大變分リ難イモノデアリマスガ
ラ、適當ノ機會ニ於テ成ルベク斯ウ云
フモノハ廢メタイト存ジテ居リマス

ベシ知ラシムベカラズノ筆法デ行ケ
バ、コンナモノデモ宜イカモ知レヌ、或
ハ官ノ威信ヲ保ツトカ言フテ成ベクム
ヅカシイコトニシヤウト云フナラ宜イ
カモ知ラヌガ、今日ノ時代ニハ、ソレハ
モウ經過シテ居ル次第デアリマス、是
ハ簡單明瞭ニ、第八條ノ三ニ列舉シテ
シマヘバ、スッカリ明瞭ニナルト云フノ
デアルカラ、此點モ改正出來ヌト言ヘ
バ出來ナイカモ知ラヌガ、是ハ出來ナ
イモノデナイト思フ、サウ云フムヅカ
シイ問題デナイト思フ、ソレカラ次ニ
御伺シタイノハ、先程モ一寸申シマシ
タガ、府縣制ノ第七十八條デアリマス
ガ、是ハ道會法ニモ地方費法ニモ準用
サレテ居ラヌノデアリマスガ、準用サ
レテ居ラヌノハ、要スルニ道制トカ道
法トカ云フヤウナ根本問題ガ解決シナ
イ結果デアアルカトモ思フノデアルガ、
此點ハドウデアアルカ、此七十八條ト云
フモノハ、府縣ノ地方官ノ職務權限ヲ
規定シタノデアアルガ、是モ北海道ヘ準
用スルト云フノハ一向差支ナイト思
フ、唯之ニ類似シタ法文ヲ強ヒテ求メ
マスルト云フト、地方費法ノ第八條ノ
二ニ「北海道長官ハ北海道地方費ノ行
政ヲ擔任ス」ト云フ此簡單ナ文字デア
ルガ、之ニ依テ多分政府ハ、府縣制ノ第
七十八條ノ準用ヲシナクテモ差支ナイト
御答ニナルカモ知ラヌガ、ドウモ此八
條ノ二ダケデハ、如何ニモ満足スルコ
トハ出來ヌヤウナ考ガアルノデアリマ

スガ、此點ニ付テドウ御考ニナツテ居
リマスカ
○潮政府委員 府縣制第七十八條ノ如
キ規定ガ、北海道會法ニモ地方費法ニ
モ準用シテナイノハ、不都合デハナイ
カト云フ御話デアリマスガ、是ハ地方
費法ノ八條ノ二ニ「北海道長官ハ北海
道地方費ノ行政ヲ擔任ス」トアリマス
ノデ、大體差支ナイト存ジテ居リマス、
是等ノ如キハ先程申シマシタ如ク、北
海道ニ關スル是等ノ法規ノ整理ヲ、今
少シク整ヘルト云フコトニナレバ、サ
ウ云フ機會ニハ又考慮スベキ問題ダト
存ジテ居リマス

トノ關係ノ如キモ、一見甚ダ迷フヤウ
ニ見エマス、併シ御覽ノ通り、第二條ニ
於キマシテハ北海道地方稅ニ關シテハ
府縣稅ニ關スル規定ヲ準用シテ居ル、
府縣稅ニ關スル事項ハ別ニ規定ガナケ
レバ全部北海道ニ準用スルノダト云フ
大原則ヲ第二條デ定メテ居リマス、府
縣制第百三條ノ一項ハ「府縣稅及其賦
課徵收方法ニ關シテハ」云々トゴザイ
マスニ依テ、地方費法ノ第二條ニ依リ
マシテ府縣制百三條ノ第一項ト云フモ
ノハ直ニ準用致サレマス、又府縣制ノ

第百十一條或ハ百十六條ノ如キモ矢張
府縣稅ニ關スル規定デゴザイマスノ
デ、是ハ特ニ舉ゲナクテモ第二條ニ依
テ當然行キマス、然ルニ府縣制第百三
條ノ二項ニナリマス、直接府縣稅ノ
コトデゴザイマセヌノデ「府縣ハ勅令
ノ定ムル所ニ依リ其ノ費用ヲ市町村ヘ
分賦スルコトヲ得」ト云フ規定デゴザ
イマス、此分賦規定モ結局ハ市町村ノ
稅ノ負擔ニハナリマセウガ、府縣稅デ
ハアリマセヌノデ、百三條ノ二項ハ地
方費法八條ノ三ニ於キマシテ明ニ之ヲ
準用スルト書キ、其他府縣稅ニ關スル
モノハ地方費法ノ第二條ノ規定デ準用
スルト云フ立前ニナツテ居リマス、是ハ
唯現行法ノ說明ヲ申上ゲルノデアリマ
スガ、元來準用ノ爲ニ引張ッテ來ル條文
ナドハ大變分リ難イモノデアリマスガ
ラ、適當ノ機會ニ於テ成ルベク斯ウ云
フモノハ廢メタイト存ジテ居リマス

ベシ知ラシムベカラズノ筆法デ行ケ
バ、コンナモノデモ宜イカモ知レヌ、或
ハ官ノ威信ヲ保ツトカ言フテ成ベクム
ヅカシイコトニシヤウト云フナラ宜イ
カモ知ラヌガ、今日ノ時代ニハ、ソレハ
モウ經過シテ居ル次第デアリマス、是
ハ簡單明瞭ニ、第八條ノ三ニ列舉シテ
シマヘバ、スッカリ明瞭ニナルト云フノ
デアルカラ、此點モ改正出來ヌト言ヘ
バ出來ナイカモ知ラヌガ、是ハ出來ナ
イモノデナイト思フ、サウ云フムヅカ
シイ問題デナイト思フ、ソレカラ次ニ
御伺シタイノハ、先程モ一寸申シマシ
タガ、府縣制ノ第七十八條デアリマス
ガ、是ハ道會法ニモ地方費法ニモ準用
サレテ居ラヌノデアリマスガ、準用サ
レテ居ラヌノハ、要スルニ道制トカ道
法トカ云フヤウナ根本問題ガ解決シナ
イ結果デアアルカトモ思フノデアルガ、
此點ハドウデアアルカ、此七十八條ト云
フモノハ、府縣ノ地方官ノ職務權限ヲ
規定シタノデアアルガ、是モ北海道ヘ準
用スルト云フノハ一向差支ナイト思
フ、唯之ニ類似シタ法文ヲ強ヒテ求メ
マスルト云フト、地方費法ノ第八條ノ
二ニ「北海道長官ハ北海道地方費ノ行
政ヲ擔任ス」ト云フ此簡單ナ文字デア
ルガ、之ニ依テ多分政府ハ、府縣制ノ第
七十八條ノ準用ヲシナクテモ差支ナイト
御答ニナルカモ知ラヌガ、ドウモ此八
條ノ二ダケデハ、如何ニモ満足スルコ
トハ出來ヌヤウナ考ガアルノデアリマ

スガ、此點ニ付テドウ御考ニナツテ居
リマスカ
○潮政府委員 府縣制第七十八條ノ如
キ規定ガ、北海道會法ニモ地方費法ニ
モ準用シテナイノハ、不都合デハナイ
カト云フ御話デアリマスガ、是ハ地方
費法ノ八條ノ二ニ「北海道長官ハ北海
道地方費ノ行政ヲ擔任ス」トアリマス
ノデ、大體差支ナイト存ジテ居リマス、
是等ノ如キハ先程申シマシタ如ク、北
海道ニ關スル是等ノ法規ノ整理ヲ、今
少シク整ヘルト云フコトニナレバ、サ
ウ云フ機會ニハ又考慮スベキ問題ダト
存ジテ居リマス

ガ、北海道へ行ッタガ爲ニ、二年間選舉權ノ停止ヲ食フト云フノト、事實同ジコトニナルノデアリマスガ、是ハモウ少シ法文ヲ變ヘテ、生活ノ根據ヲ有シテ、其所ニ定住シテ居ル者ハ、二年經タヌデモ選舉權ヲ與ヘルト云フコトガ當然デアラウト思ヒマスガ、此點ニ付テ政府ハドウ考ヘラレマスカ

スル立前カラ行カナイト、地方制度トシテ適當デナイト思フノデアリマス、ソレ等ノ點ニ關シマシテハ、特ニ北海道ニ限リマシテ、之ヲ一年トカ云フヤウナコトニシテ、内地ノ公民ノ條件ト異ッタ條件ヲ執ルト云フコトハ、寧ろ適當デハナイト斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

コトハ、甚ダ私ハ當局ノ是ハ寧ろ落度デアルトマデ申シタイト思フノデアリマス、若シ此點ニ付テ、更ニ御所見ガアルナラバ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラ是ハ餘計ナ話ダガ、昨日大口君ガ住所住居ノ關係ヲ御質問ニナッテ、ドウモ説明モ要領ヲ得ナカッタと思ヒマシタガ、府縣ノ町村制若クハ市制ニハ住民トアルガ、北海道ノモ北海道ノ住民トシタナラバ、昨日大口君ノ申サレタヤウナ疑問ハ起ラヌト思ヒマスガ、是ハ序ナガラ申上ゲテ置ク次第デアリマス、ソレカラ次ニハ、是ハ北海道特有ノモノデハナイガ、寧ろ北海道ニ餘計ナ事ガアルト思フノハ、此投票ノ分會ノコトデアリマス、投票分會ヲ設クルコトヲ得トアリマスガ、先ヅ第一ニ御尋シタイノハ、町村デ選舉名簿ト云フモノガ出來テ、サウシテ、其中ニ投票分區ト云フモノヲ設ケテ選舉名簿ト云フモノヲ分ツコトガ出來ルトカ、私ハ現ニ聞イタノニハサウ云フコトハ出來ナイ、最初ニ投票分區ト云フモノガ出來テ、ソレニ從ッテ投票名簿ト云フモノヲ調製シナケレバナラヌ、アトデ名簿ヲ分ツコトニスル譯ニイカヌト云フコトヲ伺ッタノデアルガ、此點ヲモ伺ヒタイ、ソレカラ御承知ノ通り北海道デハ一町村デモ小サイ縣ヨリモマダ大キイモノガアリマス、サウ云フヤウナ所ガ澤山アルノデアリマスカラ、投票分區ト云フモノガ是迄法令ニハアッタヤウデア

リマスケレドモ、北海道ニハ實施サレナカッタ、今度選舉權ヲ擴張シテサウシテ多數ノ有權者ガ出來ルコトニナリマスレバ、ドウシテモ此五里六里若クハ十何里ト云フ遠方カラ投票ニ來ナケレバナラヌコトニナリマスレバ、折角得タ投票ノ權利ヲ棄權スル、或ハ投票ニ來マシテモ其爲ニ二晩位泊ラナケレバ家ニ歸レヌト云フ地方ガアリマスカラ、是ハ特ニ北海道バカリデナイカモ知レマセヌガ、殊ニ北海道ニサウ云フ事實ガ多イト思ヒマスガ、政府ニ於テハ投票分區ヲ設クルト云フコトノ規定ヲサレタ以上ハ、寧ろ徹底的ニ只今申シマシタ十數里モアルヤウナ方面ハ少クトモ、其日ニ歸ルコトノ出來ル程度マデノ投票分區ヲ設クルト云フ御考ガアリマスカ、若シナイト云フナラバサウ云フ風ノ處置ヲ執ッテ戴カナケレバナラヌト思ヒマス

○潮政府委員 道會法第三條ノ此選舉權被選舉權ニ關スルコトデ、二年ガ長過ギルデヤナイカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ内地ノ方ニ於キマシテモ、詰リ府縣會議員ハ市町村公民デアルノデアリマスカラ、矢張是ハ二年ト云フコトニナリマスルガ、北海道ハ今御述ノヤウニ、移住者ガ第二ノ故郷トシテ移住シ、生活ノ本據ヲ構ヘテ居レバ、二年經タヌデモ宜カラウト云フ御話デアリマスケレドモ、其點ノミヲ考ヘマスケレバ、或ハサウカモ知レマセヌガ、又一方カラ考ヘマスケレト、サウ云フ人バカリデハナイ、移住ヲシテ又轉々スルト云フ事實モ可ナリ少クナイ、内地デ選舉權ヲ持ッテ居ッタ者ガ、北海道へ行ッテ失フヤウナコトニナルノハ不都合ト見ルカ見ナイカ、ソレハ内地ニ於キマシテモ、甲町村ニ二年居ッテ公民權ヲ持ッテ居ッタ者ガ、他ノ府縣ヘ移轉スレバ、其人ハ能力ハ變ラナクテモ、矢張公民權ヲ失フト云フ事實ガアル、矢張自治制ト云フ上カラ申シマスレバ、相當ノ年數ハ定着シテ、土着シテ、其土地ヲ愛護

○松實委員 ドウモ今ノ御説明ハ甚ダ承服スルコトハ出來マセヌ、餘リ論ズルト意見ノ相違ニナリマセウガ、北海道ト府縣トハマルデ趣ヲ異ニシテ居ル、先程カラ私ガ御尋スルヤウニ、道會法ト地方費法ヲ一緒ニシテ、北海道制トカ或ハ道會法ガ出來ナイノモ、矢張サウ云フ所ニアラウト思フ、斯ウ云フ新開地ニ對シテハ特例ヲ設ケテ宜イ、何モ府縣ト同一ニシナケレバナラヌト云フ理由ハ毫モナイト思フ、御承知ノ通り町村制ノ如キハ全然違フノデアリマスカウ云フ上カラ考ヘマスケレト、此三條ノ資格、二年ノ制限ト云フモノハ、出稼労働者ノ如キ、單ナル一時的ノ工夫トカ、或ハ仕事ガ其處ニ出來タカラ行クト云フヤウナ者トハ趣ガ違フ、寧ろソレ以上ニ此必要ガアル、二年三年出稼労働者ヲシテ居ッテモ、其町村若クハ北海道ノ自治ノ上ニ於テハ、何等痛痒ヲ感ジナイノデアリマスルケレドモ、此住民ト云フモノハ、直ニ痛痒ヲ感ズル譯デアリマス、ソレト趣ガ私ハ異ルト思フ、之ヲドウモ一緒ニシタト云フ

○潮政府委員 投票行使ノ權利ノ上カラ申シマスレバ、今御述ニナリマシタ通り是ハ單ニ北海道バカリノ問題デゴザイマセヌ、内地ニ於キマシテモ有權者ガ殖エマスルシ、投票區域ヲ分ケルト云フコトガ、將來ハ今日ヨリモヨリ以上ニ必要ニナリマス、北海道ニ於キマシテハ御述ベノヤウナ事情モアリマスカラ、投票區ヲ分ケテ簡易ニ投票サセラル途ヲ講ジナケレバナラヌ、北海道ニ於テハ北海道長官ガ特別ニ考慮シテ、投票權ノ行使ニ差支ナイヤウナ投票區

ナラヌト思ヒマス

○潮政府委員 道會法第三條ノ此選舉權被選舉權ニ關スルコトデ、二年ガ長過ギルデヤナイカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ内地ノ方ニ於キマシテモ、詰リ府縣會議員ハ市町村公民デアルノデアリマスカラ、矢張是ハ二年ト云フコトニナリマスルガ、北海道ハ今御述ノヤウニ、移住者ガ第二ノ故郷トシテ移住シ、生活ノ本據ヲ構ヘテ居レバ、二年經タヌデモ宜カラウト云フ御話デアリマスケレドモ、其點ノミヲ考ヘマスケレバ、或ハサウカモ知レマセヌガ、又一方カラ考ヘマスケレト、サウ云フ人バカリデハナイ、移住ヲシテ又轉々スルト云フ事實モ可ナリ少クナイ、内地デ選舉權ヲ持ッテ居ッタ者ガ、北海道へ行ッテ失フヤウナコトニナルノハ不都合ト見ルカ見ナイカ、ソレハ内地ニ於キマシテモ、甲町村ニ二年居ッテ公民權ヲ持ッテ居ッタ者ガ、他ノ府縣ヘ移轉スレバ、其人ハ能力ハ變ラナクテモ、矢張公民權ヲ失フト云フ事實ガアル、矢張自治制ト云フ上カラ申シマスレバ、相當ノ年數ハ定着シテ、土着シテ、其土地ヲ愛護

○松實委員 ドウモ今ノ御説明ハ甚ダ承服スルコトハ出來マセヌ、餘リ論ズルト意見ノ相違ニナリマセウガ、北海道ト府縣トハマルデ趣ヲ異ニシテ居ル、先程カラ私ガ御尋スルヤウニ、道會法ト地方費法ヲ一緒ニシテ、北海道制トカ或ハ道會法ガ出來ナイノモ、矢張サウ云フ所ニアラウト思フ、斯ウ云フ新開地ニ對シテハ特例ヲ設ケテ宜イ、何モ府縣ト同一ニシナケレバナラヌト云フ理由ハ毫モナイト思フ、御承知ノ通り町村制ノ如キハ全然違フノデアリマスカウ云フ上カラ考ヘマスケレト、此三條ノ資格、二年ノ制限ト云フモノハ、出稼労働者ノ如キ、單ナル一時的ノ工夫トカ、或ハ仕事ガ其處ニ出來タカラ行クト云フヤウナ者トハ趣ガ違フ、寧ろソレ以上ニ此必要ガアル、二年三年出稼労働者ヲシテ居ッテモ、其町村若クハ北海道ノ自治ノ上ニ於テハ、何等痛痒ヲ感ジナイノデアリマスルケレドモ、此住民ト云フモノハ、直ニ痛痒ヲ感ズル譯デアリマス、ソレト趣ガ私ハ異ルト思フ、之ヲドウモ一緒ニシタト云フ

○潮政府委員 投票行使ノ權利ノ上カラ申シマスレバ、今御述ニナリマシタ通り是ハ單ニ北海道バカリノ問題デゴザイマセヌ、内地ニ於キマシテモ有權者ガ殖エマスルシ、投票區域ヲ分ケルト云フコトガ、將來ハ今日ヨリモヨリ以上ニ必要ニナリマス、北海道ニ於キマシテハ御述ベノヤウナ事情モアリマスカラ、投票區ヲ分ケテ簡易ニ投票サセラル途ヲ講ジナケレバナラヌ、北海道ニ於テハ北海道長官ガ特別ニ考慮シテ、投票權ノ行使ニ差支ナイヤウナ投票區

ナラヌト思ヒマス

ヲ設ケル積リデ仍テ不便ヲ除カレマ
ス、名簿ノ事ニ付テハ何時カ御話ガア
リマシタ通りデアリマシテ、現ニ府縣
制ニ付キマシテハ命令ガ出テ居リマ
ス、投票區ヲ分ケル前ニ、選舉名簿ハ別
ニシテ、先ニ極メテサウシテ名簿ヲ後
カラ送ッテヤリマス

○松實委員 次ニハ此間モ何方カ一寸
質問ガアリマシタガ、是モ一般的ノモ
ノデアアルガ、殊ニ北海道ニ多イト思フ
ガ、選舉事務所ノ數及選舉運動費ノ多
少又選舉事務員ノ數ト云フモノニ付テ
御伺シタイノデアリマスガ、例ヘバ府

縣ニモアリマセウト思ヒマスガ、北海
道ニハ道會議員ヲ一人選舉スルノデハ
ナイ、私ノ住居シテ居ル所ノ空知管内
ノ如キハ七人モ道會議員ヲ選舉スル、
斯ウ云フ場合ニ於テ、運動費ヲ——衆

議院ノハ勿論均一ニ制定サレテ居リマ
スルガ、大キイ選舉區ハアノ筆法デヤ
ルト云フト——事務所ノ如キモ又運動
費ノ如キモ、アノ筆法デ行クト、ドウシ
テモ定員ノ一人ヤ二人選出スル所ナラ

バ宜シイガ、七人モ八人モ選出スル、所
謂或ル意味カラ言ヘバ大選舉區デアリ
マスガ、大選舉區ニ對シテハ小選舉區、小
サイ一人カ二人ヲ選出スル區域ト同一ニ

一律一體ノ規定ヲ以テ、衆議院議員選
舉法ノ如クシタナラバ、非常ニ多數ヲ
選出スル所ハ困難ヲ來スト思ヒマス、
是ハ意見ニナリマスガ、寧ロ私ハ他方
議會ノ選舉ハ小選舉區ヲ執ッタ方ガ宜

イト思ヒマスガ、是ハ意見ノ相違ダカ
ラ申シマセヌガ、唯此選舉費選舉事務
所ノ數、運動員ノ數ト云フモノハ、勅令
ニ依テ定メルト云フコトデアリマス
ガ、大體此改正案ヲ制定シタ時分ニハ、
如何ナル程度迄ドウ云フ御考デアルカ
ト云フコトハ、豫メ御分リニナッテ居ラ
ウト思ヒマス、此間何方カノ政府委員

以外ノ人カラノ御話ダケデハ、北海道
ノ實情ニ適セヌノデアリマスカラ、此
點ニ付テ更ニ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒ
マス

○潮政府委員 此選舉事務所選舉事務
員或ハ選舉運動ノ費用、此點ニ關スル
御尋ハ、地方局ノ當局ノ者カラ大體御
話ヲ致シマシタ、其御答モ只今松實サ

シノ御問ニナリマシタヤウニ、土地ノ
事情ニ依リマシテ一律一體ニ參ラスト
云フコトハ勅令デ決メマス、北海道ノ
如キハ内地ト事情ガ相違致シテ居リマ

セウカラ、勅令ノ制定ノ際ニ適當ニ考
慮致シマシテ適當ナル方法ヲ案出致シ
マス積リデアリマスガ、マダ數字のニ
御説明ヲ申上ゲル程ニ決マッテ居リマ
セヌ、此點ハ御了承ヲ願ッテ置キマス

村制ノ改正ヲシナケレバナラスト云フ
コトヲ考ヘラレテ、原内閣ノ時代カラ
調査ヲ致シテ居ルト私ハ聞イテ居リマ
ス、然ルニ今同ノ此改正案ガ提出サレ
ルノデアリマスガ、勿論先刻カラ伺ヘ
バ單ニ選舉權擴張ノ爲ニ改正案ヲ出シ
タノデアアル、一般的ニ考慮シテ居ラス

ノデアルト云フ御話デアリマシタガ、
併シ現在ノ北海道ノ町村制其モノデサ
ヘモ、府縣ノ町村制トハ餘程劣ッテ居
ト申シマセウカ、住民ノ選舉權其他ニ

付テ劣ッテ居ルノデアリマスガ、ソレヲ
改正シナイデ、今度ハ又府縣ノ方ノ町
村制ト云フモノガ改正サレルト云フコ
トニナルト、益府縣ノ町村制ト北海道

ノ町村制トハ距離ガ遠クナル、例ヘバ
最初ハ十歩デアッタモノガ二十歩トナ
リ、五十歩デアッタモノガ百歩ニナル、
俗ニ言フ五十歩百歩トハ全ク違ッテ來

ルヤウニナルノデアアルガ、是ハドウシ
テ速ニ改正シナイノデアアルカ、何デモ
一昨年邊リハ出ルデアラウト云フ話モ
聞イテ居リマシタガ、ドウ云フ實情ガ

アルカ、ドウモ町村制ノ不備ノ點ヲ指
摘スレバ殆ド所謂枚舉スルニ違アラヌ
ト云フ譯デアアルガ、ソレヲ指摘シナク
テモ内務當局ニ於テハ十分御承知デア

ラウト思ヒマスカラ、一々指摘ハシマ
セヌ、殊ニ二級町村制ノ如キハ、會社ナ
ドデ重役ヲ選舉スルヤウニ委任投票デ
ヤル、サウシテ先ニ方々カラ運動サレ

テ委任狀ヲ何枚モ渡シテ先ニ這入ッ
者ガ勝ヲ占メ、後ニ來タ者ハ省カレルト
云フヤウナ譯デ、實ニ混亂ヲ極メテ居

ルノデアリマス、元ハ碌ニ選舉ノ競争
ト云フモノハナカッタガ、今ハ中ミソ
ナモノデハナイ、非常ニ激烈デ寧ロ代
議士選舉以上ニ激烈デアアル、競争スル

場合ニハサウ云フ醜態ガ百出スル譯デ
アル、之ヲドウシテ速ニ改正シナイカ、
今期ヲ待タナイデ去年ナリ一昨年ナリ
——現内閣ハ一昨年ハドウカ知ラス

メテ居ルノデアリマスガ、少クトモ地方制度ノ改正ガ實現セラレレバ、之ニ準ジテ適當ナ改正ハ必ズヤ一級町村制ニ加ヘル積リデアリマス、只今ノ御示シニナッタヤウナ二級町村ニ於ケル委任投票ノ如キ、是等ハ今考ヘテモ餘リ適當デナイト思ヒマス、斯ウ云フコトヲ二級町村制ノ改正ノ際ニハ削除スルコトニナツテ普通ノ投票ノ方法ニ依ルコトニナラウト考ヘテ居リマス、唯何故出サヌカト云フ御話デアリマスガ、御承知ノ通り一級町村制ニ級町村制ハ勅令デ參リマスノデ、先ヅ法律ヲ御決メテ願ッテ、ソレカラ後ニ勅令ノ内容ニ於テ一級町村制ニ適當ノ改正ヲ試ミタイト思ッテ居リマス、恐ラクサウ長ク御待タセヲ致サズニ今回ハ適當ノ改正ガ出來ルト思ヒマス

○松實委員 勅令デアリマスカラ、サウスルト無論議會ニ關係ハナイ、サウスルト少クトモ今年、何レ夏頃ニハ改正スルコトニナリマセウ、ドウカサウ希望致シテ置キマス、ソレカラ是ハ選舉權ノ擴張トハ反對ナ質問ノヤウニナルカモ知ラヌガ、斯ウ云フ事實ガアッタト云フコトヲ耳ニシテ居ルノデ伺ッテ見タイノデアルガ、選舉權ノ擴張ニ依テ現在殆ド戸主ト云フモノハ總テ選舉權ヲ得タ、大正九年ノ改正ニ依テ大分選舉權ハ擴張サレタ、所デ或ル町村ノ如キハ新シキ選舉權ヲ得タ者ガ、詰リ謂ハバ二流三流ノ者ガ選舉權ヲ澤山得タ

ノデアル、從來其町村ノ實力ヲ握ッテ居ッタ者ハ、ドチラカト云フト富豪階級デアアル、今度ハ選舉權擴張ノ結果ニ依テ、人民階級ト云ヘバ語弊ガアルガ、何ト云ッテ宜イカ、要スルニ二流三流ドロノ者ガ選舉權ヲ得タ其結果トシテ、從來ハ少數ガ多數ヲ壓迫スルヤウナ政治デアリマシタガ、今度ハ其反動トシテ多數ガ少數ヲ壓迫スルヤウニナツテ、富豪ノ戸數割ナドヲウント高ク取ッテ、サウシテ町村會ナドデヤッタ、ソレガ爲ニ町村ニ居ル所ノ富豪、有力者ハ迎モ此處ニ居ッテハ税金ニ堪ヘラレナイト云フコトデ他ニ轉住シタ他ニ轉住シタ後ハ所謂二流三流ノ者ハ數ハ大キイケレドモ負擔力ハ少イ、實力ハ少イト云フ爲ニ、其町村ハ非常ニ困ッタト云フコトヲ耳ニシタコトモアルガ、サウ云フ弊ハ當局ニ於テ認メテ居ラナイノデアリマスカラ、今回一層擴張スルト云フコトニナル、若シ其弊ガ多少從來デモアッタトスレバ、益其弊ガ大キクナリハシマイカト思セマスガ、若シサウ云フコトデアレバ、之ニ對シテ何等カノ考ヲ運ラサナケレバナラヌト云フ考デ居ルノデアアルガ、其邊ニ付テ一利一害ハ相伴フモノデアリマスガ、サウ云フ實例ガアッタデアラウカナカラウカ、若シアッタトスレバドウ云フ考デ居ルカト云フコトヲ伺ヒタイ

○潮政府委員 選舉權ヲ擴張シマシタ結果、在來ノ模様ト町村ノ模様ガ變ッテ

參リマシテ從來ハ少數ノ人ノ意思デ町村ノコトガ決マッタノガ、今度ハ却テ多數ノ人ノ意思ノ方ガ強クナツテ來テ、爲ニ少數ノ富豪ハ遂ニ居堪ヘラレズシテ、或ハ他ノ都會地ナドニ轉任スルト云フヤウナ事實ガアルコトヲ政府ハ知ッテ居ルカト云フ御尋デアリマスガ、場所ニ依リマシテ折々サウ云フ事實ノアルコトヲ耳ニ致サヌデハゴザイマセヌ、是ハ其事實ダケヲ見マスレバ、一面カラハ甚ダ面白クナイ現象デアリマシテ、多數ノ人ガ少數ノ人ニ戸數割ヲウント掛ケテ、遂ニ居堪ラナクスルト云フコトハ是ハ甚ダ適當デナイトコトデアル富豪ト言ハズ下層ノ人ト言ハズ、適當ニ負擔シ適當ニ評議シテ行クベキ筋ノモノト思ヒマスガ、大局カラ考ヘレバ其事實ハ惡ウゴザイマスケレドモ、從來少數ノ者デ町村ノ意思ヲ決定シタノガ、多數ノ意思ガ其處ニ加ッテ來ルト云フコトハ選舉權擴張ノ當然ノ結果デアアル、ソレガナケレバ選舉權ヲ擴張スル效果モ非常ニ少イ、成ベク差支ナイ限リハ町村民ノ多數ノ者ノ意思ヲ聽イテ、サウシテ決定スルガ宜シイノデ、所ニ依リマシテサウ云フ特殊ナ望マシカラザル結果ガアリマシテモ、是ハ大局カラ見レバ矢張選舉權ヲ擴張シテ多數ノ意思ヲ代表サセルト云フコトハ已ムヲ得ナイ、是ガ必要デ選舉權ヲ擴張スルノデアリマス、今御述ベノヤウニ丁度富豪ガ他ニ轉住ハシタモノ、後ニ

殘ッタ者ハ非常ニ困難シタ、却テ困難致シタト云フコトモ聞イテ居リマスルノデ、是ハ矢張私共ハ過渡時代ニ於キマシテ、一時多數ノ人ガサウ云フコトヲ考ヘマシテモ、サウ云フ事實ガ起ッテ來マスレバ、結局ハ町村ノ爲ニハナラヌ、追々是ハ落付イテ來ルコト考ヘルノデアリマス、一時斯様ナ變則ガ來ルカラト云ッテ、之ニ對スル對策トシマシテハ、唯選舉權ノ擴張ト云フコトハ少數富豪ノ人ヲ虐メルベキ趣意ノモノデハナイト云フコトノ理解ヲ能ク求メテ行ク、ソレヨリ外ニ適當ノ方法ハナイ、或ハ法制ノ上カラ申シマシテ、何カ此間ニ處スル途ガアルトハ思ハレナイ、ソレハ中々ムヅカシクナリマス、結局富豪ト言ハズ中以下ノ人ト言ハズ、是等ノ人々ニ正シク諒解ヲサセテ、選舉權ノ擴張ト云フコトヲ善用シテ呉レル外ハナイ、是ハ一時多少迷フ者ガアリマシテモ、必ズヤ將來相當ノ所ニ落付クコトト考ヘマス、又落付カセナケレバナラヌ、ソレハ自治教育其他ノ方面カラ行キマシテ、サウ云フコトニ指導ヲ致サケレバナラヌト存ジテ居リマス、今回擴張致シマストシマシテモ、決シテ自治ノ大局カラ申シマスレバ、是ハ私結果ガ惡クナイ、必ズ少シ長イ間ヲ達觀シテ行クナラバ、屹度好イ結果ガ得ラレルコトト確信ヲ持ッテ居ル

○松實委員 私モ一ツ伺ヒタイ、府縣會ハ半數以上出席スルニ非レバ開會ス

ルコトヲ得ズ、斯ウ云フノデアリマスガ、衆議院ノ方デハ三分ノ一以上出席スレバ開會ガ出來ルヤウニナツテ居ルト思ヒマス、所デ實例ヲ舉ゲマシテ申シタ方ガ分リ易イカト思ヒマスガ、私ノ方デアリマスカラ道會ニ就テ言ヒマスガ、通常道會ヲ召集サレテ、半數以上ハ確ニ出席シテ開會ハシタノデアアル、開會ハシタガ其後ニナツテ一人二人ノ缺員ガアル爲ニ、半數以上——半數ニ達シナイ爲ニ其議會ヲ開カレヌト云フ場合ガ、吾ミ地方議會ニ多年居ッテ苦キ經驗ヲ嘗メテ居ル、ソコデ私ノ御尋致シタイト云フノハ、開會ヲ一旦告グタナラバ、三十日ノ期間ガ通常道會ハアリマスガ、其間ハ假令半數ノ定員ニ達シナイデモ、假ニ衆議院ノ如ク三分ノ一ト云フモノノ定員ニ達シテモ開會出來得ルト云フヤウナ規定ヲ拵ヘル必要ガアルト、私ハ苦キ經驗ニ依テ考ヘテ居ルノデアアルガ、サウ致シマスト斯ウ云フ風ニナル、例ヘバ北海道會ハ五十五名、其中過半數ト申シマス二十

ノデアリマス、實際ニ於テハ——斯ウ云フコトヲ云フトヤコシイガ、條文ヲ改正シタ方ガ宜シイト思フ、ドウ云フ風ニ改正シタラ其條文ガ實際ニ適合出來ルカト云ヘバ、斯ウ云フ風ニナルト思フ、三分ノ一ニ達スレバ開會スルコトガ出來ル、開會ヲシテカラ例ヘバ議事ノ進行上三分ノ一アレバ其議事ヲ進行シテ行ケル、併シ其時ニ過半數ト云フコトニナルト、議事上ノ可否ヲ決スル場合モアルガ、實際アルトスレバ斯ウ云フ少數ナ人ニ依テ——十人位ノ人ニ依テ議事ガ決定サレル譯デアアルカラ、ソレデハ面白クナイカラ、ソコデ其場合ニ於テハ三分ノ二以上ノ同意ヲ得タナラバ議事ガ決定スル、斯ウ云フ風ニシタナラバ、矢張十五人ノ數ニ依テ其議事ガ左右出來ル譯ニナルノデアアルカラシテ、實際ニ於テハ法文ハ一寸ヤコシイカモ知レナイガ、一二箇條加ヘルト云フト、此改正ハ何等面倒ナルコトナクシテ、私ハ出來ルト思ヒマスガ、サウ云フコトニ内務當局ニハ考ハゴザイマセヌカ、實際ニ何等カ不都合ヲ生ジタトカ、或ハ又サウ云フ方面ニ就テノ御考ヲシタコトハナイノデアアラウカ、私ハ公ニハ此問題ハ現ハレテ來ヌケレドモ、ドウモ府縣デモ私共ノ苦イ經驗ノ如ク惱ミツツアル點ガアリハシナイカ、其場合ニ三分ノ一以上デ議事ヲ開ク、サウシテ四分ノ三ノ同意ヲ得レバ議事ヲ決定スルコトガ出來ル、

斯ウ風ニシタナラバ實際ノ十五人ナラバ十五人、其數ハ實際ノ數ト云フモノハ相違ハナイ、議事ヲドン——進行シテ行ケルト云フ便宜ヲ得ルノデアアルカラ、之ニ就テハ私多年考ヘテ居ッタコトデアアルガ、政府當局ハドウ御考ニナツテ居ルカ

三ト云フコトニスルト十五人ニナルカモ知レマセヌ、其數ハ最後ニ決ヲ探ルトキニハ十五人トナル、只今マデノ政府ノ考ヘテ居リマス所デハ、兎ニ角大切ナ會議ナンダカラ、一應或ル程度ノ數ノ人ガ集ッテ會議ヲ開クコトニ致シマスコトガ適當デハアルマイカト云フ考デ、此儘ニナツテ居リマス、是デサウ不都合ヲ來ストモ認メテ居リマセヌ、北海道ノヤウニ地域ノ廣イ所デハ偶サウ云フ苦キ御經驗モ起リマセウガ、今日ノ所デハマア半數集ッテ會議ヲ開ク、愈會議ガ進行サレタ場合ニ過半數——贊否ガ分レテ、贊成ノ方ガ一票デモ多クナケレバ事ヲ決メルコトハムヅカシイ、外國ノ制度ヲ見マスト云フト、私ハ直接能ク調べタ譯デアアリマセヌガ、例ヘバ日本ノヤウニ議長ノ採決權ヲ全ク認メテ居ナイ所モアリマ

ス、併ナガラ御示シノ數デ考ヘマシテモ五十五人ノ過半數ハ二十八人デアリマス、二十八人デアリマスガ、ソレノ過半數ガカラ十五人アレバ事ガ決マルト云フコトデアアリマスガ、御示シノ案ニ依リマシテモドウカト思フノハ、三分ノ一デ會議ヲ開カケレバナラヌト云フコトニナルト、二十八人集ッテ會議ヲ開カケレバナラヌ、三分ノ二デ可決スルコトニナレバ十二人デ事ガ決マル、其數ハ色ミアリマセウ、或ハ四分ノ

○潮政府委員 衆議院ノ方ハ三分ノ一デ開會ガ出來ル云々、地方制度ノ方ノ聯絡ニ付キマシテハ、餘程考ヘナイト即座ニ只今御答ハ出來マセヌガ、地方制度ノ方ハ仰セノ通り半數以上デナケレバ開會ガ出來マセヌ、會議ノ決ハ過半數ト云フコトニ多年決マッテ居ル、思フニ是ハ府縣會ノ議事ハ何レモ重要ナ事ヲ會議スルノデアリマスカラ、或ル程度ノ數ガ出席シナケレバナラヌト云フコトハ是ハ當然ノ話デアリマス、ソレハ半數ニシマスカ、或ハ御述ノ如ク三分ノ一ニシマスカト云フコトハ、或ル意味カラ見レバ程度ノ問題デアリマス、併ナガラ御示シノ數デ考ヘマシテモ五十五人ノ過半數ハ二十八人デアリマス、二十八人デアリマスガ、ソレノ過半數ガカラ十五人アレバ事ガ決マルト云フコトデアアリマスガ、御示シノ案ニ依リマシテモドウカト思フノハ、三分ノ一デ會議ヲ開カケレバナラヌト云フコトニナルト、二十八人集ッテ會議ヲ開カケレバナラヌ、三分ノ二デ可決スルコトニナレバ十二人デ事ガ決マル、其數ハ色ミアリマセウ、或ハ四分ノ

○松實委員 先程三分ノ二ト申シマシタノハ四分ノ三ト云フコトニ訂正致シ

得レバ議事ヲ決定スルコトガ出來ル、

マス、私ノ言フノハ開會ノ式ヲ舉ゲタ
後ノ話、開會式ノトキニハ所謂長官ガ
出席シテ開會ヲ命ジ成立シタト云フ、
所ガ是ハ半數デ宜インダガ、其後ニド
ウモ困ルコトハ「一人カ足ラヌ爲ニ其爭
奪戰ヲスルトカ」見苦シイコトガアル
ガ、餘リ此處デ實例ヲ申上ゲル必要モ
ナイガ、多年私共ハソレデ苦シンダコ
トガアル、デアアルカラシテ——是モ差支
ナイト云フコトデアアルガ、尙ホ政府ニ
於テモサウ云フコトハ表向ニ現ハレテ
來ナイカモ知レヌガ、開會ヲ三十日間
ナラ三十日間ノ中ニ其議事ヲ進行スル
トキニ、サウ云フ場合々々ニ依テ除外
例ヲ設ケル必要ガアル、斯ウ考ヘルノ
デアアリマスガ、是ハ御參考迄ニ申添ヘ
テ置キマス

○志村委員 私ノ御尋シタイコトハ既
ニ同僚ノ諸君カラ述ベラレテ居リマス
ガ、多少意味モ違ヒマスノデ、形式ハ重
複ニナリマスガ、御答ヲ願ヒタイ、第一
ハ選舉權ニ關スルコトデアリマス、衆議
院議員選舉法ニ依リマス、住居ノ制
限ガ一年トナッテ居リ、今回ノ改正法ニ
依レバ府縣ハ二年トナッテ居リマスガ、
其住居ノ制限ヲ一年ト二年ト區別ヲシ
タ理由ガ、ドウモハッキリ分ラヌ、潮サ
ンノ御答デハ要スルニ市町村ニ於キマ
シテハ、定着、土着或ハ愛郷ト云フコト
ニ非常ニ重キヲ置カレテ居ルヤウデア
リマスケレドモ、一年ト二年トハ僅カ
一年間ノ年限ノ差デ、其間ニ非常ナ諸

觀念ノ差ガアルトハ、ドウシテモ會得
ガ出來ナイノデアリマス、殊ニ地方ニ
參レバ一年住居ヲシテ居ル者ハ、ソレ
ガ二年トナリ三年トナリ、遂ニ永住ス
ルト云フコトハ一般ノ例ニナッテ居リ
マス、唯市ナドニ於キマシテハ、官吏ノ
移動トカ、或ハ教員ノ移動、其他相當動
キハアリマスケレドモ、町村ニ參レバ
稀ニ新シク家ヲ持ツ者ガアルダケデ、
ソレハ將來ニ互テ引續キ二年ナリ三年
ナリ住ンデ行クト云フコトハ殆ド事實
デアアル、ソレ故ニ地方ノ住居年限ノ制
限モ一年ト云フコトニシタナラバ、選
舉人名簿ヲ作製スル上ニ於テ、町村役
場ナドモ非常ナ便宜ガアルノデアリマ
ス、此便利ノミデナク名簿ノ確定ト云
フコトガ非常ニ仕易イノデアリマス、
隨テ選舉人名簿カラ起ル疑義ト云フモ
ノガ能ク研究サレマシテ、訴訟ノ弊害
モ除キ得ルト信ジマス、是ハ市町村ノ
事務簡捷ノ上カラ見テ洵ニ好マシイコ
トデアルト考ヘマス、是ハ市町村ハ是
非二年デナケレバナラヌト云フ絶對的
ノ理由デモアルナラバ其理由ヲ伺ヒタ
イ

○潮政府委員 此點ニ付キマシテハ毎
度御答ヲ申上ゲマシタ通り、今志村サ
ンモ御示シニナルヤウナ理由カラデア
リマス、成程一年ト二年ノ間ニ、愛郷ノ
念トカ、土着ノ觀念トカ云フコトガ違
フカ違ハヌカ、是ハ中ニ計數的ニ證明
ヲ致スコトハムヅカシイ、成程二年ト

一年デハ年數ニスレバ僅カニ半分ノ差
デアリマス、ケレドモ地方制度ノ觀念
カラ申セバ最モ重大ナ點デアリマス、
勿論一年ニスレバ名簿調製ナドノ點ニ
於キマシテ非常ナ便宜ニナルノデアリ
マスガ、併ナガラ事務ノ簡捷、名簿ノ作
製ト云フモノハ寧ロ末ノコトデアリマ
シテ、矢張本ヲ申セバ市町村ハ固ヨリ
愛着ノ思想、隣保相扶ノ思想ノ厚イ所
ノ人ト云フ觀念デ立ッテ行カナケレバ
ナラヌ、其點カラ申シテ一年ト二年ト
ハ年限ニ於テ餘リ相違ハナイデアリマ
セウケレトモ、隨分人ノ出入ノ激シイ
所ガ、小サイ町等ニ於キマシテモアル
コトデゴザイマス、サウ云フ所ニ於キ
マシテハ、一年ト二年デ餘程數ニ開キ
ガ出テ參リマスノデ、此點ヲ撤廢致ス
ト云フコトニナリマスレバ一層急激ナ
ル變化ニナリマスノデ、此點ダケハ是
非共御認メ願ヒタイノデアリマス

○志村委員 只今二年ヲ一年ニシマス
コトハ非常ニ急激ナ變化ニナルト申サ
レマシタガ、既ニ今マデノ種々ナル制
限ヲ撤廢シタ今日ニ於キマシテハ、強
チ二年ヲ一年ニ短縮シマシテモ、ソレ
程急激ナ變化ニハナルマイト私ハ考ヘ
ルノデアリマス、從來ノ選舉資格ニ依
リマスレバ、僅ニ三百萬カ四百萬ノ人
デアッタガ、今回ノ選舉資格ニ依リマス
レバ千二百萬位ニナリマス、尙ホ又政
府カラ提出サレマシタ參考材料ニ依リ
マシテモ、大正十四年四月調デ二年ト

シテ千二百五十萬位ニナッテ居リマス
ガ、之ニ依テハソレ程急激ニ有權者ガ
殖エルトハ思ハレヌノデアリマス、居
住一年ノ者ニ公民權ヲ與ヘテハ斯ウ云
フ弊害ガアル、斯ウ云フ缺陷ガアルト
云フコトガ具體的ニナッテ居レバ兎ニ
角、唯漠然ト二年ナラズ宜シイ、一年デ
ハ早カラウト云フ御考デアアルナラバ、
ソレハ寧ロ地方ト中央トヲ一率一體ニ
シテ、總テノ事務ノ簡潔ヲ圖リ、又政治
的訓練或ハ政治的能力ト申ス如キコト
モ、地方ノ小サナ範圍ニ於テ、市町村公
民トシテ完全ノ訓練ヲ經タ者ヲ以テ中
央ニ及ボスト云フトガ順序デアラウト
思フ、一體衆議院議員ノ選舉法ヲ改正
スルナラバ、先ヅ地方ノ根柢ヲ固メテ
後ニヤルコトガ順序デハナカラウカト
考ヘルノデアリマスガ、ソレハ色々ノ都
合ニ依リマシテ、中央ノ方ガ其處ニ出
來タ以上ハ、今ハ已ムヲ得ズソレニ準
據シテ行ク方ガ寧ロ合理的デハナカラ
ウカ、既ニ選舉法ノ擴張ガ斯ノ如ク寧
ロ急激ニヤラレタ以上ハ、今茲ニ一年
二年ノ區別ヲ固執スル理由ハ甚ダ薄弱
デハナイカト考ヘマスガ、尙ホ一應御
尋シテ置キマス

○潮政府委員 唯一年二年ノコトヲ爭
ヒマスレバ衆議院ノ方ニ合セルガ極メ
テ簡單明瞭デゴザイマス、併シ繰返シ
テ申シマスヤウニ私共ハ地方ノ制度ニ
シテモ矢張二年位ハ必要デアルト考ヘ
テ居ルノデアリマス、然ラバ之ヲ二年

ニシ一年ニスルニ具體的ノ何カ理由ガアルカト云フ趣意ノ御尋モアリマシタガ、斯ウ云フコトハ甚ダ具體的ノ事實ヲ以テ申上ゲルコトハムツカシイ、例ヘバ出入頻繁ナル村ガアリマシテモ、ソレハ特殊ノ村ヲ押ヘマシテ御目ニ懸ケレバ、ソレダケノ事デ、ソレ以上ニ進ンデ一年ナラバ斯ウ云フ具體ノ弊害ガナルト云フコトガ中ミ容易ニ御諒解ヲ得ルヤウニ説明ハ出來マセヌ、要スルニ現行法ガ兎ニ角、矢張隣保相扶ノ關係カラ二年ト云フコトヲ支持シテ居ル以上ハ、一面ニ於キマシテハ等級選舉ノ撤廢ヲ致シタノデアルカラ、其他ノ選舉權ヲ改正ヲ致シマススキハ、少ク

トモ此年限ダケハ舊法ヲ存置シテ置イタ方ガ、市町村ノ關係ニ於テ適當カト云フ觀念ノ問題デアラウト思フノデアリマス

○志村委員 其次ニ御尋致シマスノハ、被選舉權ノ擴張デアリマスガ、是ハ他カラモ色ミ聞カレテ居リマスノデ、私ノ聽カントスル所ハ其一部デアリマス、例ノ請負デアリマス、單ニ請負ト申シマスル意義ハ、所謂見積書ヲ出シテ時ヲ期シ、數ヲ期シ、サウシテ納入ヲ契約スルコトガ請負デアリマスルカ、或ハ又事業ノ性質ガ繼續的デアル、具體的ニ云ヘバ土木請負、建築請負、サウ云フモノヲ狭ク請負ト申スノデアリマスルガ、請負ノ意義ヲ承リタイ

○潮政府委員 此請負ノ意義ハ先日モ

御質問デアリマシテ御答ヲ致シテ置キマシタガ、普通ノ請負ハ無論デアリマスルガ、販賣ニ致シマシテモ只今御話ノヤウナ繼續的トカ、或ハ定期的ニ納メルトカ云フモノニナレバ、矢張請負ニ這入ルモノト解釋シテ居ルノデアリマス、唯一度物品ノ納入ヲ致シタト云フヤウナモノハ、ソレハ請負ニハナリマセヌ

○志村委員 サウスルト請負者ト云フモノガ、今回所謂被選舉權ハナイコトニナッテ居リマスガ、彼ノ父兄其他今マデ議事ノ進行上、或ハ市町村ノ行政ノ進行上、色ミ懸念サレテ居ッタ其總テノモノガ取去ラレタ中ニ、單リ請負ノミ被選舉權ヲ有セズト云フコトニナッテ居リマスガ、ソレハ請負者ニ對シテ人間ニ非ザル差別待遇ヲスルヤウナ結果ニナリマスルガ、ソレニ付テ既ニ色ミ

ノ質問ガアリマシタカラ、詳シキコトハ申シマセヌガ、之ヲ反對ニ請負者ハ被選舉權ヲ有セズトアリマスルコトヲ、府縣並ニ市町村會議員ハ其關係區域内ニ於テ請負ヲ爲スコトヲ得ズ、逆ニ斯ウ云フ規定ハ出來ナイモノデアリマセウカ、其點ヲ一應御伺シテ置キマス

○潮政府委員 逆ニ規定ヲ致シマシテ

ガ請負ヲ始メレバ直グ失格スルコトニナリマスカラ、大體同ジコトニ歸著スルト思ヒマス、法文ノ精神ハ被選舉權ガナイト云フコトニナリマスカラ、實質ニ於テハ一致シテ來ルノデハナイカト思ヒマス

○志村委員 其次ニハ自治機關ノ問題デアリマスガ、是モ前ニ御伺ガアッタヤウデアリマス、參事會員ノ任期ハ二年ト云フコトニナッテ居リマスガ、元々參事會ノ任期ハ四年デアッタノヲ一年ニ直シタノデ、一年ニ直シタ上デソレデ面白クナイト云フコトナラバ、元ノ四年ニ引直スガ順當デハナカラウカ、其理由ヲ伺ヒタイ、尙參事會員ト云フモノハ議員ノ中カラ出スノデアリマスカラ、議員ノ任期ト一致スベキモノデハナカラウカ、サウシテ四年ヲ任期ト云フコトニシマスレバ、所謂其議員ノ中

デ技倆ノアル者、識見ノアル者ガ出テ參リマスカラ、參事員ノ素質ヲ向上スルト云フ上ニ付テ非常ナ利益ガアラウト思フノデアリマス、尙ホ從來ノ四年ヲ一年ニ短縮シマシタ主タル理由ハ參事員ノ爭奪ノ煩ヲ防ガシテ爲ニシタコトト思ヒマス、併ナガラ其當時ト今トデハ非常ニ人氣モ變ッテ居リマスルデ、昔ノ如ク——約十年位前デゴザイマセウ、其時分ノ如ク今更參事會員ノ爭奪ニ流血ノ慘ヲ見ルヤウナ事ハ殆ド無カラウト思ヒマスルノデ、是ハインッ參事會員ノ素質ヲ向上スルト云フ點カラ云

ヒマシテモ、一年デイカナケレバ元ノ四年ニ引戻スト云フコトガ却テ理由ガアルノデハナカラウカ、折衷ノ二年ト云フコトハ何等根據ノナイ事デハナカラウカト思ヒマスガ、御意見ハ如何デアリマスカ

○潮政府委員 參事會ノ任期ニ付キマシテモ幾度カ御答ヲ致シテ居リマス、之ヲ四年カラ一年ニ致サレマシタノハ確カ原内務大臣ノ時デアッタカト思フノデアリマス、非常ニ原サンノ強イ御主張デアッタコトヲ私記憶シテ居リマス、其時ノ主ナル理由ハ只今仰セノ中ニモアリマシタガ、其外ニ四年トシテ置イテモ、政治的ノ實際カラ申セバドウモ所謂私約交代ナドト云フコトガ實際行ハレテ、隨分四年ノ間ニ更ル人モ多クアリマスシ、元々參事會ト云フモノハ矢張府縣會市會ノ意思ヲ反映スル所デナクテハナラヌ、勢力ノアルト云フ言葉ヲ用キマスト甚ダ不穩當デゴザイマスケレドモ、多數ノ黨ハ多數ノ人ヲ出シ、少數ノ黨ハ少數ノ人ヲ出セルト云フコトガ政治的ノ有意義ナ所デア

ル、勢ヒ四年ト云フコトニナレバ、一年二年經ツ内ニハ各派ノ關係モ異動ヲ生ジテ來ル、サウ云フ事カラ見テモ年限ハ短縮スル方ガ宜イノダト云フコトデ、是ガ一年ニナッタ理由デアルト思フノデアリマス、ソレハ四年ニモ利益ハゴザイマス、併シ今申上ゲタヤウナ弊

モナイトハ申サレナイ、ソレデ結局先

ヅ一年デヤッテ見ヤウト云フコトニナ
リマシタ、所ガドウモ一年ニスルト云
フト、或ハ折角參事會ヲ通ツタ案デモ、
府縣會ニ於テ參事會ノ意思ト云フモノ
ガドウモ尊重サレナイ傾ガアルシ、又
年々之ヲ改選スルト云フコトニ付テ尠
カラザル煩瑣ナ事ガ起ツテ來ル、ソレモ
煩瑣ダケナラバ尙ホ忍ブベシト致シマ
シテモ、サウ云フ事ガ府縣ノ行政ノ上
ニ、或ハ市ノ行政ノ上ニ面白カラザル
影響ヲ及ボスコトニナルノダカラ、ド
ウモ少クトモ府縣參事會ノ一年ト云フ
コトハ短カ過ギルト云フ議論ガ起ツテ
參リマシタノデ、然ラバ四年ニ之ヲ延
バスカト云ヘバ、ドウモ四年ニスルト
又前ノ改正シタ時ノヤウナ舊態ニ復シ
テシマフ、ソコニ更ニ弊害ガ起ツテ來
ル、固ヨリ之ヲ二年ト云フコトニ付キ
マシテハ、是ハ程度ノ問題デゴザイマ
スカラ、折衷ト仰シヤイマシタガ、折衷
ト申サバ折衷デアアルガ、先ヅ二年位ニ
シテ置イタナラバ宜イデアラウ、之ガ
爲ニ所謂私的交代ガナクナル、選舉ノ
爭ガナクナルト云フコトハ御請合ハ出
來マセヌガ、先ヅ二年ニシテ置イタナ
ラバ宜イデアラウ、地方ノ意見ナドモ
聽イテ見タガ、先ヅ二年位ニシテ經驗
ヲ積ンデ見タラドウカト意見ガ多イノ
デス、市ノ方ニ付キマシテモ今申上ゲ
ルヤウニ所謂私的ノ交代ナドハ二年位
デ行ハレルコトガアルノデス、之ハ法
制ノ上デ認メル譯ニハ參リマセヌガ、

事實ニ於テサウ云フコトガ起ツテ來テ
居ルカラ、府縣ノ方ヲ二年ニ致シマス
レバ、市參事會モ二年位ニ下ゲタ方ガ
所謂相折衷シテ丁度宜イ所デアラウト
云フ考ニ外ナラヌノデス

○志村委員 今一ツハ地方自治權ノ擴
張デアリマスガ、其中デ地方稅ノ制限
ニ關スル制限外課稅ノコトデアリマ
ス、地方稅ノ中ニ制限外課稅ニ對シマ
シテ內務大藏兩大臣ノ許可ヲ受クルコ
トニナツテ居リマスルガ、其許可ヲ受ケ
マス制限外課稅ノ根柢トナル事項
ハ、第一ガ內務、大藏兩大臣ノ許可ヲ
受ケテ起シタル負債ノ元利償還ノ爲
メ費用ヲ要スルトキ、第二ガ非常ノ災
害ニ依リ復舊工事ノ爲メ費用ヲ要スル
場合、第三ハ水利ノ爲メ費用ヲ要スル
場合、第四ガ傳染病豫防ノ爲メ費用ヲ
要スルトキ、斯ウ四項アリマス、此四項
ハ何レヲ見マシテモ已ムヲ得ザル事項
デアリマス、其場合ニ而モ是ハ緊急費
用ヲ要スルノデアリマスカラ、內務、大
藏兩大臣ノ許可ヲ受クル爲ニ幾多ノ時
日ヲ要シ、サウシテ此仕事ヲスルノニ
非常ニ其機ヲ逸スルコトガ度々アリマ
ス、此點ニ付テノ許可ヲ廢シ、或ハ其何
レカ一ツニ減ズト云フ御考ハアリマセ
ヌカ

○潮政府委員 地方稅制限外課稅ノ御
質問デアリマスルガ、是ハ內務、大藏
兩大臣ノ許可ヲ法律ニ於テハ必ズ得ナ
ケレバナラスト云フコトニ決メテアリ

マス、ソレカラ勅令ニ讓リマシテ或ル
程度ノ許可ハ府縣知事ガ之ヲ致スコト
ニ委任シテゴザイマス、併シ此所ガ非
常ニムヅカシイ所デゴザイマシテ、內
務、大藏、兩大臣ニ總テヲ持ツテ來ルト
云フコトニナリマスレバ、其許可ヲ受
ケマス市町村ヤ府縣ト云フモノハ時
日ヲ要シマスルカラ迷惑ヲ感ズルノデ
アリマセウ、併ナガラ去リトテ之ヲ府
縣ニ委任スルトカ、或ハ不要許可マデ
モ致ストカ云フコトニナリマスレバ、
今度ハソレヲ負擔スル側ノ者カラ云フ
ト、ドシドシ簡易ニ制限外ノ課稅ガサ
レルト云フコトニナツテ、是亦面白クナ
イ結果ヲ來スノデアリマス、寧ロ制限
外課稅ニ付キマシテハ全然廢メテシマ
ヘト云フ議論モ有力ナル經濟學者、財
政學者等ノ間ニ起ツテ居ルノデゴザイ
マシテ、今此際更ニ此制限外課稅ニ關
スル權限ヲ大ニ地方ニ擴大ヲ致シマシ
テ、或ベク自由ニヤラセルト云フ方針
ハ採リタクナイ、併シ地方ノ迷惑ト云
フコトハ是ハ十分考ヘナケレバナラナ
イ、內、藏、兩大臣ニ於テ是ノ許可ヲ決
スル場合ニ於テ善イモノハ善イ、惡イ
モノハ惡イト云フコトヲ決メルノデア
リマスケレドモ、所謂此四ツノ項ニ舉
ゲテアリマス事件ト云フモノハ已ムヲ
得ヌ事件デアリマスカラ、是等ニ付テ
ハ努メテ簡易ニ、且ツ敏速ニ許可ヲ事
實ニ於テ致シテ居ルノデアリマス、併
シナガラ此目的ノ爲ニ制限外課稅ヲ爲

シテ參リマシテモ、實ハ他ノ豫算等ヲ
總テ調ベテ見マシテ、他ニ弛ミガアッテ
制限外課稅ヲ必ズシモシナクテモ宜イ
場合ニハ、制限外課稅ナドヲ致シテ參
リマシテモ、是ハ矢張財政ノ上カラ見
マシテ阻止ト云ウテハ言葉ガ惡ウゴザ
イマスルガ、再考ヲ促シテソレヲ止メ
サセルトカ、或ハソレヲ低ク致サセル
トカ致サナケレバナラナイ、制限外課
稅ニ付テヨリ以上緩カナル方針ハ採リ
タクナイト存ジテ居リマス、併シ事務
管掌上ハ迅速ニ簡略ニ處理スルコトニ
ナツテ居ルノデアリマス

○志村委員 今一ツ最後ニ起債ノ場合
デアリマスルガ、政府委員ノ述ベラレ
タコトニ付テ制限外ノ課稅ヲ自由ニ府
縣知事ニ委任スルナラバ、殆ド制限ナ
ク課稅スルト云フ虞レガアルト申サレ
マシタケレドモ、ソレハ制限外課稅ノ
中ニ又制限ガアツテ、現在デモ百分ノ十
二ト云フ制限外課稅ノ範圍ニ決メラレ
テアリマスカラ、ソレガ無制限ニ課稅
サレルト云フ場合ハナイト思ツテ居リ
マス、唯後段ニ述ベラレタ、他ニ財源ガ
アルニモ拘ラズソレヲ制限外課稅ノ中
ニ見込ム、是ハ御尤デアリマス、其點ニ
對シマシデハ、又或ハ他ニ何等カ監督
シテ行ク方法モ——愈々此認可ガ要ラ
ナイト云フコトニナレバ其監督ノ方法
ハ考究シナケレバナラスト思フ、ソレ
ハ考ヘテ居リマス、其次ニ起債ノ場合
デアリマスガ、起債ノ場合ニハ同ジク

主務大臣ノ許可ヲ受クルコトニナッテ居リマス、是ハ制限外ノ課税ト違ッテ起債ノ内容ト云フモノガ繁多デアリマスカラ、直ニ之ヲ不要認可主義ニセヨト云フ譯デアリマセヌガ、少クトモ其起債ヲ要望スル地方ニ於キマシテ、縣會ガ滿場一致デ之ヲ要望シ、サウシテ其決議ノ狀態ガ全ク縣民全部ノ輿論デアル、要望デアルト認メラルル場合ニ於テモ、而モ尙且ツ主務省ノ御都合ニ依リマシテ其決議ガ實行サレズニ、認可サレズニ一年モ二年モ、長キハ二年半モ引摺ラレルト云フコトガ過去ノ實例ニ於テ多々アリマシガ、ソレハ甚ダ遺憾デアルト思フノデアリマス、縣民ノ輿論ト云フモノガ全ク無視サルル形ニナリマスルノデ、其決議ノ狀態ニ依リマシテハ其許可ノ手續ヲ特ニ簡略ニスルト云フ御意見ハアリマセヌカ

○潮政府委員 只今ノ御質問ニ御答スル前ニ、私ノ言葉ノ補足ヲ致シテ置キマス、制限外課税ノトキニ百分ノ十二ハ無論勅令デ今日委任シテゴザイマスカラ、知事限リデアレマス、其他ノモノデモ百分ノ五十迄ハ委任シテアリマシガ、本省ニ出テ參リマシタトキニ、注意ヲ致シテ調ベテ見ルト財源ガ他ニ有ルト云フヤウナコトモ實際アリマシタノデ、町村ノ方デモ府縣ノ方デモ見込ノ違ヒガアリマス、ソコデ實際或ハ非常災害ニ依ル復舊工事ト申シマシテモ、市町村當局ガ此事業ハ非常ニ災害ノ復

舊ダト思ヒマシテモ、尙ホ此方ノ眼デ見レバ普通ノ修繕費デアリ、普通ノ工事デヤナイカト云フヤウナコトモナイデハナイ、是ハ決シテ地方當局ガ不注意ダトカ、惡意ダトカ云フコトハ毛頭ゴザイマセヌガ、眼ヲ換ヘ見レバ解釋ノ相違ガ出ルノデアリマスカラ、ソコラノ關係カラ制限外ニ或ル程度ノ課税ヲスルトキニハ矢張内藏兩大臣ガ相當ニ監督ヲ致サナケレバナルマイカト思ッテ居リマス、ソレカラ起債ノ點モ大體左様デゴザイマシテ、今日最モ必要ナ小學校ノ建築費デアリマスカラ、或ハ府縣ノ基金カラ借入レマス町村債、斯ウ云フモノヲ數箇ノ事項ヲ決メマシテ、既ニ府縣知事ノ許可ニ委セテアリマス、ソレ以上ノ起債ト云フコトニナリマスルト金額モ非常ニ大キクナリマス、又目的ノ上カラ言ッテモ審査ヲ致ス必要ガアルノデゴザイマシテ、是ハ同様ニ他ノ財源等モ顧慮致シマシテ、内藏兩大臣ガ許可ヲ決スルノ外ハナイト思フノデアリマス、固ヨリ縣會ガ滿場一致デ可決サレ、市町村ガ滿場一致デ可決サレタモノニ對シテハ、ソレニ相當ノ敬意ヲ拂ヒ、其便宜ト云フコトニ付テモ十分斟酌ヲ致シマスケレドモ、サリトテ縣會ガ可決サレテ知事ガ提出シテ參リマシテモ、オイソレト云ウテ許否ヲ決スル譯ニハ參リマセヌ、殊ニ昨今財政緊縮ノ時代デアリマスカラ、今ハ其點ハ餘リ擴メル積リハゴザイマ

セヌガ、併シソレ等ノ點ニ付キマシテハ、必要ノ範圍ニ於テ追々之ヲ改正シテ、地方ニモ委任シタイト存ジテ居リマスルガ、只今御質問ノヤウニ、十分ニ必要ナル便宜ヲ圖ルト云フ程度ニハ今直ニハ參リ兼ネルノデアリマス

○志村委員 市長ノ裁可ノ形式ニ付キマシテモ、以前ニ多々御質問ガアリマシタガ、當局ノ御答デハ市長ノ裁可ト云フコトハ、所謂監督權ノ發動ノ如ク御答ニナリマシタガ、是ハ寧ロ市長ヲ優遇スルト云フ意味デハナカラウカト考ヘルノデアリマスルガ、其意味ニ於キマシテ、町村長ノ認可ニ對シテモ何等カノ方法ニ依テ、實際ノ推薦者ヲ優遇スルト云フコトガ、町村自治ノ發達ヲ促進スル上ニ於テ、所謂適當ナル指導者ヲ得ルト云フ上ニ於テ、非常ニ效果ガアルト思ヒマスルノデ、議員ガ選舉シタ者ヲ一々御裁可ヲ受ケルコトガ惡イト申スノデアリマセヌケレドモ、御裁可ヲ受ケル方法ハ是レ市長ヲ優遇スル途デアルト私ハ考ヘマスルノデ、其御裁可ト云フコトヲ廢メテ、市長ノ外ニ町村長ヲモソレニ一緒ニシテ、以テ市町村長ヲ優遇スル他ニ何等カノ方法ヲ講ジテ行クト云フ御考ガアルカ、ソレニ付テノ御意見ヲ伺ヒタイ

○潮政府委員 市町村長ヲ他ニ何等カノ方法ヲ以テ優遇シタナラバドウカト云フコトハ、昨日大口君カラモ御意見ガアリマシテ、只今ノ御質問ノ御趣意

モソレト同一ノヤウニ承ッタノデアリマシテ、私モ其御趣旨ニ付キマシテハ何等ノ異存ノアル筈ハナク、出來ルダケ國トシテモ、市町村長ノ地位ノ向上ヲ圖リ、又其勞ニ酬ユルト云フヤウナ事カラシテ、他ニ適當ノ優遇ノ方法ガアレバ致シタイトハ萬々考ヘテ居ルノデアリマスルガ、昨日御答ヲ申上ゲマシタヤウニ、物質上ノ優遇ヲシヤウトシテモ、公共團體ノ財政モ、國ノ財政モ、中々之ヲ容レマセヌノデ精神上ノ優遇トシテハ種々ナル方法モアリマセウ、例ヘバ藍綬褒章ヲ戴クト云フヤウナコトモアリマセウ、又定期的ニ叙勳ノ途モ開カレテ居リマスルケレドモ、是ハ私共カラ申セバ、市町村長ニ對シテモ今少シク優遇ノ方法ヲ擴大シテ貫ヒタイト望ンデハ居リマスルガ、何分ニモ斯ノ如キ榮典ノ事柄ハ大權事項デアリマスルノデ、政府カラ申上ゲルコトハ慎重ベキコトデアリマシテ、殊ニ私共カラ斯々ニスルト云フヤウニ申上ゲマスルコトハ慎重ベキ筋合ノモノト存ジマスガ、是等優遇ノ方法ニ付キマシテハ、昨年來相當ノ努力ヲ致シテ居リマシテ、今後ニ於キマシテモ有ユル方面カラ優遇ノ途ヲ講ズルト云フ點ニ付テハ、出來ルダケ努メタイト存ジテ居リマスガ、只今具體的ノ方法ヲ御答辯申上ゲルコトノ出來ナイノハ洵ニ殘念デアリマスガ、左様ナ次第デアリスカラ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○近藤委員 先刻志村君カラ御質問ニナリマシタ請負ノコトデアリマスガ、是ハ他ノ委員諸君カラモ屢御尋ガアッタコトガアリマスルガ、實ハ先刻ノ局長ノ御答辯ガ、私トシテハ甚ダ要領ヲ得ナカッタデアリマシテ、請負トハ民法上ノ請負ヲ意味シテ居ルモノデアリマセウカ、又府縣制、市町村制ニ於テ特ニ請負ナルモノノ法律的ノ定義ヲ與ヘテ居ルノデアリマセウカ、其點ヲ明確ニ御伺ヒ致シマス

○潮政府委員 唯普通ニ請負ト申セバ、從來内務省ナドハ選舉法ニ關シマシテハ民法上ノ請負契約ト解シテ居リマスケレドモ、行政裁判所ヤ司法裁判所ハソレヨリモ廣ク解セラレト云フコトモアリ得ルノデアリマス、例ヘバ舊イ規則デゴザイマスルカラ今日ハ如何ニナルカ分リマセスケレドモ、郡制ノ解釋其他ニ於キマシテモ、請負關係ヲ判決デ定メテ居リマス、所謂請負ハ、普通ニ請負ト稱スルモノハ總テ之ヲ包含スルモノト解シ、苟モ請負ノ存スル以上、請負ノ繼續的ナルト、繼續的ナラザルトハ問ハザル趣旨ニシテ、殊ニ地方制度ハ別デアリマスケレドモ、司法裁判所等ニ於テハ非常ニ廣ク解シ居ルノデ、是ハ申上ゲルマデモナク御承知デアリマセウ、吾ミガ實買ト見ルモノデモ、結局爭トナッテ司法裁判所ニ參リマス、其判決ハ廣義ニ解スルト云フ結果ニナッテシマフ

○近藤委員 サウシマス物品販賣業デモ、ソレニ對シテ請負契約ヲスルコトガ、屢アルノデアリマスガ、此條文デ見マス、府縣若クハ市町村ガ公認スル所ノ物品ヲ販賣スル者ハ、何レモ選舉權ガナイ場合ガ屢アルト思フ、ソレヲ一度ヤ二度デハ請負ト云フコトハ出來ナイト云フヤウナ先刻ノ御説明デアッタヤウデアリマスルガ、物ニ依テハ一年一度位ノ請負契約デ、巨額ノ品物ヲ買入レル場合ガ屢アルノデアリマス、一度ヤ二度ト云フ意味ハ年ニ一度ヤ二度ト云フ意味デアリマセウカ、又ハ一箇月ニ一度ヤ二度ト云フ意味デアリマセウカ、其邊ノコトヲ明確ニ御答ヲ願ヒタイノデアリマス、例ヘバ政府ニ於テ一箇年分ノ石炭等ヲ買入レルト云フヤウナコトデ、年々之ヲ繼續的ニ同一人カラ契約ニ依テ購入スルト云フヤウナ場合モアリマセウガ、其邊ノ御解釋ハ如何様ニ御取扱ヒニナッテ居ルノデアリマセウカ、其點ニ付テ伺ヒタイ

○潮政府委員 ドノ物ガ請負ニ該當スルカ否ヤト云フコトヲ、一箇年ニ一度カ一箇月ニ一度カト云フヤウナコトヲ以テ定メルコトハ、是ハムヅカシイト思ヒマス、問題ニナリマシタ具體的ノ事實ヲ捉ヘテ之ヲ認定スルヨリ外ハナイ、只今御質問ノ一年分ヲ一度ニ納メルト云フヤウナモノデモ、請負契約ガ出來テ居テスルナラバ、請負ノ中ニ這

入ルノデハナイカ、繼續的ニヤルトカ、定期的ニヤルト云フナラバ請負ト認メラレルト思ヒマスケレドモ、單純ニ二度物品ヲ納メテ、代金ヲ取ルト云フ如キダケノコトデハ、普通ノ賣買デハナイカト思ヒマスデ、斯様ナ問題ハ具體的ノ問題ニ付テ定メルヨリ外ナク、單ニ一々ノ事實ニ付テ直ニ申上ゲルコトハ非常ニ困難デアルト思ヒマスルシ、總テノ問題ハ一二回ノ答辯ヲ以テ満足ヲ得ラレマスルヤウナコトハ出來ナイノデヤナイカト思ヒマス

○近藤委員 サウシマス未ダ一回モ市ナリ町村或ハ府縣ノ爲ニ請負ヲヤッタコトノナイ請負業者ナルモノガアルト假定シテ、例ヘバ土木建築ヲ請負業者ノ如キ——是等ハ一二年前ニハヤッタコトモアルガ、其後ハ既ニ請負ヲ完了シテ、報酬ヲ得テシマッタト云フヤウナ場合ニハ、是等ハ何等選舉權ニ對シテハ差支ナイト云フ御解釋デスカ、或ハ又陰ニ工事ヲヤッテ居ルト云フヤウナ場合ハ、是ハ無論イカスト云フ御解釋デアリマセウガ、選舉ノ前日マデニ其請負業ヲ終ッテシマッタ、或ハ一年前ニ請負ヲシタコトガアルト云フヤウナ者ニ對シテハ、ドウ云フ御解釋ニナッテ居リマスカ

反對ニ丁度行政判例ガアリマスガ、請負ヲ爲ス者トハ町村ニ對シ請負契約ニ依リ現ニ該契約ノ目的トスル行爲ヲ爲スヘキ義務ヲ負擔スル者ヲ指シタノダト言ッテアリマスケレドモ、其趣旨デアラウト思ヒマス、工事中ハ勿論、其義務ヲ負擔シテ居ル間ハイケナイノデ、ソレガ完了致シマシタモノニ付テハ、云々スベキモノデハナイト思ヒマス

○潮政府委員 是ハ全國ニ唯一箇村ゴザイマス、神奈川縣ノ蘆ノ湯村ガ、確カ現在戸數僅カ八戸、人口三十六人、公民數ガ六人ト云フヤウナモノガアリマス、是ハ現在ゴザイマスケレドモ、サウ云フ所デハ一々選舉ヲシテ、町村會ヲ構成シナクテモ、村ノ總會デアレバ差支ゴザイマセヌ、他ニハゴザイマセヌ

○近藤委員 市町村制ノ改正案中、選舉ニ關スル部分ハ、大體衆議院議員選舉規則ヲ根據ト爲サッテ居ラレルヤウデアリマスガ、然ルニモ拘ラズ、或ハ府縣制ヲ準用シ、或ハ衆議院議員選舉規則ヲ準用シテ居ルト云フヤウニ、一定シテ居ラヌヤウニ、考ヘラレマス、此點ハ衆議院ト、町村、府縣トハ各異ル所モアルト思ヒマスガ、大體ガ衆議院

議員ノ選舉規則ヲ準用シテ居ルノデア
ルカラ、特ニ此府縣制ヲ準用シナクテ
モ、衆議員ノ選舉規則ヲ準用シテ差支
ナイト思ヒマス、唯候補者ノ豫納スベ
キ、供託スベキ金額等ノ差異ノコトデ、
法律ノ體裁ヲ具備シテ居ルヤウニ考ヘ
ラレマスガ、何故ニ斯ウ云フ風ナ方式
ヲ御探リニナリマシタカ、何カ法律上
ノ根據ガアルノデアリマセウカ、ソレ
カラ市町村ノ議員ノ候補者ガ、供託金
ヲ爲シタ場合ニ於テ、ソレガ供託金ノ
沒收ニ關シテハ、衆議院議員選舉法ニ
依レバ、國家ガ之ヲ沒收スル、府縣制ニ
於テハ、府縣會議員ノ供託金ヲ沒收ス
ル場合ニハ、府縣ノ收入ニ歸スルト云
フコトニナッテ居ルガ、市町村ニ於テ
ハ、其沒收サルベキ金額ガ、矢張府縣ニ
歸屬スルコトニナッテ居ルガ、何故ニ是
ハ市町村ニ歸屬スルヤウナ御規定ニ爲
サラヌノデアリマスカ

○潮政府委員 只今第一ノ御尋ノ點
ハ、立法技術ニ關スル御尋ト思ヒマス、
同ジ内容ヲ持ッテ居ルトスレバ、何故ニ
或モノハ衆議員議員ノ選舉法ヲ準用
シ、或モノハ府縣制ヲ準用スルカト云
フ御尋デアリマシタガ、是ハ申サバ立
法ノ技術ニ屬スル點デ、何方ヲドウシ
テモ内容ニ於テ變リハナイト思ヒマ
ス、併ナガラ罰則ノ如キ、既ニ衆議院ノ
ヲ其儘市町村制ニモ、府縣制ニモ準用
シテ居ルモノハ議論ハアリマセヌガ、
候補者ノコトナドニ付テハ、府縣制ニ

初メテ明文ヲ用ヒタモノデアリマス、
茲ニ衆議院ノト府縣制ノト兩方アルト
キニハ、市町村制ト府縣制トハ、兄弟分
ノ關係ニアルノデ、何方ヲ採ルカト云
ヘバ府縣制ヲ準用シタ方ガ適當デアラ
ウト云フコトデヤッタノデアリマス、斯
樣ニシタ爲ニ、法律上ノ實質ニハ何等
影響ハゴザイマセヌ、府縣制ニ於テモ、
衆議院ノ方ヲ用ヒテ居ル場合ニハ、矢
張市町村ノ方デモ、衆議院ノ方ノ規定
ヲ使ッタ方ガ宜イト云フ、斯ウ云フ見込
デアリマス、供託金ニ付テハ大分議論
ガアリマシタ、或ハ國ニ歸屬サセルノ
ガ相當デハナイカト云フ議論モアリマ
ス、併シ法律デ以テ何處ニ歸屬スルカ
ト云フコトヲ御決メテ願ヘバ、府縣ノ
モ同ジク自治體デアル公共團體ノ選舉
デアルカラ、其供託金ノ歸屬ヲ決メル
場合ニ、府縣トシテモ、強チ不都合ハナ
カラウト思フ、或ハ選舉ノ理論カラ申
シマスレバ、公共團體ノコトデアッテ
モ、國ノ事務デアルト云フヤウナ議論
モアリマシタガ、併シ法律デ御決メテ
願ヘバ、假ニドウ議論ハ致シマシテモ、
府縣團體ノ選舉ガカラ、府縣ニ歸屬サ
シタ方ガ宜カラウト云フノデ、サウ決
メタノデアリマス、市制ノ方ニ於テハ、
同ジ市ニ歸屬スル意味ナノデアリマ
ス、準用デゴザイマスカラ、是ガ府縣ニ
入ルトハ思ッテ居リマセヌ

○近藤委員 市制ニ於テハ、市ハ人口
三四萬ノ小サナ都市、及幾百萬ト云フ

ヤウナ都市、斯様ナ非常ナル懸隔ガア
リマスガ、ソレヲ同一ノ規則ニ依テ實
施シテ行カウト云フコトハ、困難ナ事
柄デアッテ、是ハ當局モ既ニ御氣付ノヤ
ウデアリマスガ、東京市ノ如キ都市ニ
對シテハ、都府案ヲ御出シニナルト云
フヤウナ御話ガアッタヤウデアリマス
ガ、尙ホ今日マデ御提案ニナッテ居ラヌ
ヤウデアリマス、是ハ此議會ニ御出シ
ニナルノデアリマセウカ、又ハ御出シ
ニナラヌ御考デアリマセウカ、出スト
致シマスレバ、何時頃御出シニナルカ、
其邊ヲ明確ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマ
ス、ソレカラ今日出來テ居リマス此案
ガ、例ヘバ市制ニ付テ御伺ヒシマスレ
バ、是ガ兩院ヲ通過シタトキニハ、之ヲ
公布致スマデハ、凡ソ何時頃マデニ出
セル御見込デアアルカ、ソレヲ伺ヒタイ
ト思ヒマス

○潮政府委員 都制案ニ付キマシテ
ハ、多年ノ沿革モアリマスノデ、政府ト
致シマシテモ、東京市ノ現狀ニ鑑ミマ
シテハ、之ニ相當スル特別ノ制度ヲ立
テタイト云フコトハ前々カラ希望致シ
テ居リマス、出來得ベクンバ本期議會
ニ御審議ヲ願ヒタイト云フ希望ヲ持ッ
テ目下審議ヲ致シテ居リマス、其時期
ニ付キマシテハマダ明確ニ御答ヲスル
コトハ困難デアリマス、ソレカラ公布
ノ見込ハ兩院御通過ヲ願ヒマシタ上
ハ、成ベク急イデ公布致シタイト存ジ
マスクレドモ、御覽ノ通り命令ニ依ッテ

決メルベキ事項モ相當ゴザイマスノ
デ、是等ノ命令ナリ其他ノ手續ガ整ヒ
マシテカラデナイト、公布ガ出來マセ
ヌ、速ニ公布ハ致シトスガ、今大凡何月
頃ト云フコトハ申上ゲ兼マス

○近藤委員 此東京市ノ都制案ニ付テ
ハ提出スル考デアルト云フ御話デアリ
マスガ、一體ドンナ順序ニ進ンデ居ラ
レルノデアリマセウカ、例ヘバ條文ガ
出來テ法制局ノ手ニ移ッテ居ル、凡ソ法
制局ハ何時頃脱稿スル見込デアアル、サ
ウナレバ本議會ニ間ニ合フ考デアルト
カナイトカ、モウ少シ詳細ニ御伺致シ
タイ

○潮政府委員 政府部内ノ事務ノ進行
ノ程度ニ付テノ御尋デゴザイマスガ、
折角デゴザイマスカラ御答致シマス
ガ、都制ニ付キマシテハ種々ノ案ヲ立
テマシテ審議ヲ進メテ居リマスクレド
モ、中々各方面ノ御満足ヲ相當ニ得ル
ト云フ案ハムヅカシイノデ、近頃ニ至
リマシテモ或ハ市ノ方面、府ノ方面、其
他ニ於テ中々御論議ガアル、サウ云フ
御論議ハ政府ト致シマシテハ一應皆研
究ヲ致サナケレバナラヌ、傾聽ヲ致サ
ナケレバナリマセヌカラ、マダ内務省
ハ濟ンデ居リマセヌ

○高島委員 私ハ最早大體ノ質問ハ皆
サンノ質問應答ニ依テ拜承致シマシタ
カラ止メマスルガ、唯一ツ御伺致シタ
イコトガアルノデアリマス、ソレハ婦
人參政權ノコトデアリマスガ、婦人ノ

參政要望ハ時代ノ要求デアリマシテ、早晩是ガ要求ヲ容レナケレバナラナイモノト、私共ハ信ジテ居ルモノデアリマス、今回ノ府縣制、町村制ノ改正ノ場合ニ際シテ、政府ノ御所見ハ昨日十屋君ノ御質問ニ對シテ略分ッテ居ルノデアリマス、私ハ此機會ニ於テ下級團體ノ市町村ニ於ケル所ノ選舉權デアリマシガ、所得調査委員並ニ營業稅ノ調査委員ト同様ニ、婦人ニモ市町村ダケノ選舉權ヲ許ス方ガ宜イト考ヘテ居ルモノデアリマスガ、此戸主ニ對シテモ許スト云フ御考ガ政府ニ於テ未ダ御持ニナッテ居ラスカドウカ、此點ヲ伺ッテ置キマス

○潮政府委員 婦人ノ參政權ニ付キマシテハ、此點モ繰返シ御答ヲ致シテ居リマスガ、只今御引ニナリマシタ例トシテ、所得稅調査或ハ營業稅ノ調査ノ事例ヲ御引ニナリマシタガ、是ハ所得稅ナリ營業稅ト云フモノハ、所得稅ヲ納メル人、或ハ營業稅ヲ納メル人ト云フコトヲ根據トシテ、假ニ婦人ガアリマスレバ、其婦人ガ選舉サレマスガ、直ニ其問題ヲ移シテ以テ一般ノ選舉法ニ應用ガ出來ルカドウカト云フコトハ非常ニ議論ガアルノデ、然ラバ戸主ニ對シテドウカト云フ御說モアリマスガ、戸主ニ對シテ選舉權ヲ與ヘルト云フコトモ、是ハ一ツノ主義デアリマシテ是ハ婦人ニ限ラズ男子デサヘモ非常ニ議論ガアルコトデ、結局男子ノ選舉權ハ

戸主デアリマスカラ、ソレト同様ニ今矢張女戸主ニ對シテ選舉權ヲ與ヘルト云フ考ハ持ッテ居リマセヌ、主ニ戸主ト云ウテモ一家ノ經理ト公務ニ參與スルト云フコトト必ズ一致シマセヌカ故ニ、政府トシテハ戸主ナルガ故ニ女子ニ與ヘテモ宜イト云フ決定ヲ致シテ居リマセヌ、併シ婦人參政權ノ將來ニ付テハ、此様ナ御論モ必ズ一ツノ研究ノ題目トナルトハ信ジテ居リマス

○高島委員 水利組合法改正案ノ第三十三條デアリマスガ、第三十三條ニ今度ハ但書ヲ加ヘルコトニ改正案ガナッテ居リマス、此但書ノ場合即チ府縣知事ガ指定セラレル所ノ官吏ノ範圍ヲ認メルト云フノデアリマスガ、是ハドウ云フ官吏ヲ指定サレル御考デアリマスカ

○潮政府委員 水利組合法ノ第三十三條ノコトニ付キマシテハ、申上ゲルマデモゴザイマセヌ、郡役所廢止ノ結果デゴザイマス、斯ウ云フ特別ノ事情アル水利組合ガアルダラウト思ヒマス、其場合ニハ已ムヲ得マセヌカラ管理者ヲ指定致シマスガ、其管理タルヤ矢張從來ノ郡長ガ管理シテ居ッタ事ニ對シテ、ソレヨリモ成績ヲ落シテハ困リマスカラ、矢張實際カラ申上ゲマスナラバ、或ハ府縣ニ居リマスル事務官ト云フ程度ノモノデアラウト思ヒマス、併シ高等官ニ限ルトハ申上ゲ兼ねマス、組合ノ大小ニ依リマシテ一律ニハ申上

デ兼ねマスケレドモ、大體ハ高等官ト事務官アタリガ、指定セラレルコトト存ジテ居リマス

○高島委員 只今ノ政府委員ノ御答辯デ能ク分リマシタ、私モサウ考ヘテ居ルノデアリマスガ、地方事務官ノ中ノ一人ヲ御指定ニナルモノデナイカト思ッテ居ルノデアリマスガ、サウナリマスト從來ノ郡長ハ其郡ニ居リマシテ

能ク町村組合ノ事情ヲ承知致シテ居ルカラ非常ニ便利デアッタノデアリマシガ、今度縣ノ事務官ノ中ノ一人ヲシテ指定サレル場合ニハ不便ガ少クナイト思フノデアリマス、即チ組合ト密接ノ關係ヲ有スル者ニアラザル者ガ管理ヲスルト云フコトニナルト云フト、非常ニ差支ヲ生ズル場合ガ多イダラウト考ヘルノデアリマスガ、サウ云フ場合ニハ此指定サレタ官吏ノ下ニ主事ト云フヤウナ者ヲ置クト云フ御考ガ有ルカ無イカ、此點ヲ一ツ伺ヒマス

○潮政府委員 御心配ノ點ハ御尤デハアリマスガ、併シ是ハ大體郡役所廢止ノ大キイ問題ト同ジコトニナル考ヘデ

アリマシテ、水利組合ニ限ラズ、町村ノ管理ニ致シマシテモ、サウ云フ御意見ノアル向モゴザイマスカラ、將來地方事務官ヲ増員致シマシテモ、實際ハ從來ノ各方面デ擔當致サセテ居ルヤウニ、地方事務ニ通曉サセテ行キタイト思ヒマス、水利組合ノ管理者ヲ決メマスカ場合モ、矢張其地方ノ事ニ通ジテ居

ル人ヲ指定サセルヤウニ仕向ケテ行カナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、去リトテソレヲ防グ方法トシマシテ此官吏ノ下ニ主事其他ノ職員ヲ置クコトニナリマスレバ、自ラ組合員ガ増加致シマス、其點ニ付テ今補助機關ヲ置クコトハ考ヘテ居リマセヌ、置カズトモ相當ニヤッテ參ラレルト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○高島委員 官吏ガ管理者ニナッタ場合ノ費用デアリマスガ、其費用ヲ組合ガ矢張負擔スルコトニナッテ居リマシガ、其費用ハ官吏ガ管理者タル場合ニ國庫デ支辨スルカ又ハ補助スルト云フヤウナ御考ハナイカドウカ伺ヒマス

○潮政府委員 ドウモ事務ニ當リマス者ハ官吏デゴザイマスケレドモ、其事務其モノハ組合ノ事務ナノデアリマスカラ、之ニ要スル費用ヲ國庫ガ負擔スルコトハ面白クナイ、或ハ又之ニ補助ヲ與ヘヤウト致シマシテモ、國庫ガ補助スルコトハ餘程ムヅカシイト思ヒマス

○大口委員 議事ノ進行デ一言申シタイ、私ハ總體ノ問題デ一二ノ質問ガ留保シテアリマス、ソレハ政務官ガ御出ニナラナカッタ結果デアリマスガ、出來得ベクンバ私ハ洵ニ一二ノ簡單ナ問題デアリマスガ、重要ナ事ト考ヘマスカラ御繰合セテ願ヒマシテ内務大臣ノ御出席ヲ煩シタイト思ヒマス、委員長カラ然ルベク御取計ヒテ願ヒマス

○荒川委員 長ソレデハ大體質問ハ一通リ終リマシタ、午後一時半カラ更ニ逐條ノ質問ニ入リタイト思ヒマス、既ニ大體ノ上ニ於キマシテ四日ニ互リ御熱心ナ質問應答ガアリマシタガ、尙ホ只今ノ大口君ノヤウナ御希望ガアル、ソレモ箇條ノ中ニ於キマシテ質問ガアリマスレバ、各派ニ於テ其質問ノ通告者ヲ御纏メニナリマシテ午後一時半ニハ直ニ始メラルルヤウニ御準備ヲ願ヒマス、是デ休憩致シマス

午後零時三十三分休憩

午後一時五十八分開議

○荒川委員長 是ヨリ午前ニ引續イテ、府縣制中改正法律案外六件ノ委員會ヲ開キマス、各案ノ審議ニ移リマス、此際御報告ヲ致スコトガ一ツアリマス、理事高橋熊次郎君辭任ニナリマシタ、理事ハ委員長ノ指名ト云フコトニナツテ居リマスノデ、當席ヨリ赤間嘉之吉君ヲ指名致シマス、大口君ヨリ内務大臣ノ出席ヲ求メテ、特ニ御聞キシタイト云フコトガアリマス、其旨ハ大臣ニ通ジテ置キマシタノデ、出來得ルダケ都合ヲ致シマシテ出席ヲ致シタイト云フコトデアリマス、其時期ハ只今決マリマセヌガ、——是ヨリ各案ノ審議ヲ續行致シマシテ、大臣ノ出席ノ都合デ大口君ノ御質問ヲ御紹介致スコトニ致シマス、此各案ノ質問ハ、先ズ府縣制ヲ一括シテ議ニ附シタイト思ヒマス、

左様御承知ヲ願ヒマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○荒川委員長 高木正年君

○高木委員 私ハ潮局長ニ御尋シタ

イ、外デハアリマセヌケレドモ、現行ノ府縣參事會ニ提供サレマス訴訟ニ對スル審查ニ對シテハ、期間ノ制限ガナイノデ、前ノ選舉ニ起ツタ事件ガ、其選舉ニ當選シタ縣會議員ガ四年ヲ經過シテ、其最後ニ至ルマデ、其訴訟ノ審查ガ終了セズニ居ルト云フ事ガアル、其事ニ付キ何等法制上ニ救済ノ條項ガアリマスカ、又今度改正ニナリマシタ案ニ付テ、豫メ何等カノ考慮ガ拂ハレテアツタノデアアルカ、其點ヲ御尋シタイ

○潮政府委員 府縣參事會ノ審查ガ大變手間取リマシテ、其解決ノ遷延致スコトハ洵ニ遺憾ト思ヒマス、大體高木

サンノ御述ノ趣旨ト同様ナ意味ニ於テ、府縣制ニ新ニ第二百二十八條ノ二ヲ加ヘマシテ、市制等ニモ同様ナ條項ヲ加ヘ、縣參事會ガ訴願ヲ受理致シマシタトキハ、其日ヨリ三箇月以内ニ之ヲ裁決シナケレバナラスト云フ事ニシタ、是ハ一面カラ申セバ、府縣參事會ノ權限ヲ拘束スルヤウニ思ハレマスケレドモ、餘リ自由ニ放任シマス事ハ、實際ニ上困リマスノデ、サウ云フ規定ヲ設ケマシタ、將來ハ此範圍ニ於テ、御心配ノヤウナコトハ起リマスマイカト思ヒマス

○高木委員 承知致シマシタ

○荒川委員長 次ハ山本慎平君

○山本委員 此前ノ質問ノトキニ、私

ハ具體的ニ申上ゲルコトヲシナカッタノデアリマスガ、地方ノ團體ノ生活者ノ一番困難トシテ居リ、困ツテ居ル點ハ、知事ト——詰リ中央ノ役人ト、自治體ノ首腦者ノ知事トノ間ニ生ジタ矛盾衝突ニ關シテ、種々ノ弊害ガアル、此事ニ付テ潮サンハ何等矛盾ヲ見ナイト云フコトデアッタガ、私ハ法制上ニ矛盾アルト申スノデハナイ、私ノ言フノハ中央ノ派遣官吏ノ爲ニ、知事ナル者ハ、自治體ソレ自身ノ事ヲ考ヘルヨリ先ニ、先ヅ中央ノ事ヲ考ヘ、役人トシテノ立場ヨリ此自治體ノ問題ヲ考ヘルノハ、是ハ已ムヲ得ナイ情勢デアラウト思フガ、何時デモ自治體ノ問題ニ付テ、地方ト中央トノ方針ガ一致シテ居レバ宜シウゴザイマスガ、動モスレバ、隨分矛盾衝突ヲ來シマシテ、植原議員ガ此前ニ、知事公選ノ事ニ付テ御話ガアリマシタトキ、私諄イカラ申上ゲナカッタノデアリマスガ、知事ガ地方ニ任命サレマスト、必ズ任命サレタ爲ニ、自分ノ存在ヲ明カニスベク、種々ナル問題ヲ企テ、サウシテ、一年カ一年三箇月位デ何處ヘカ行ツテシマフ、サウ云フ場合ニ、意思ノ繼續性ガナイデハナイカト云フコトヲ申上ゲタノニ、意思ノ繼續性ヲ議決權ノ繼續性ト解シ、ソレハ府縣會ガアルデハナイカト云フ事デアッタ、成程議決機關ヲ府縣會ガ持ツテ居ルデアリマ

セウガ執行上ノ意思機關ハ、府縣會ニハナイ、ソレヲ知事ガ自治團體ノ役人トシテノ立場ヨリ始終更迭サレルカラ、執行上ノ機關トシテハ、殆ド繼續性ヲ缺イテ居ル、ト云フ事實ハ頗々トシテ起ツテ居ルノデアリマス、之ガ爲ニ縣ト云フ自治團體ハ、極メテ内容ノ貧弱ナル、生命力ノナイ、マルデ分權ノ實ノ無イ、薄弱ナル自治體トナツテ居ル、此自治ノ内容ヲ進メテ強メルニハ、何トカ茲ニ方法ヲ發見シナケレバナラナイ、而シテ此自治體ノ意思ノ繼續性、執行機關ノ意思ノ繼續性ヲ持タスニハ、ドウシテモ參事會ヲ四年制ニスルト云フコトガ、議論ニナリマスケレドモ、一番宜カッタノデアリマス、所ガソレヲ一番最初ハ一年ト云フコトヲヤリ、サウシテ其一年ガイケナクテ、之ヲ二年ニ引直スト云フ、宙ブラリンノ態度ヲ執ツテ居ラレマス、此議論ヲ進メマスレバ知事公選論ニ行クノデアアルガ、知事公選ガ暫クイケナイナラバ、出來ルダケ參事會ト云フモノノ權限ヲ増シ、任期ヲ延長シ其處ニ執行の意思ノ中心ヲ置クト云フ程デナクとも、或ル執行の意思ノ繼續性ヲ縣參事會ニ與ヘルト云フコトヲ、御考ニハナラナカッタカドウカ、實際此點ガ府縣制ノ上ニ於ケル、非常ナ府縣民ノ困タ點デアアルノデアリマス、隨テ常ニ此問題ガ到ル處ニ起ルノデアリマスガ、餘リ貧弱ナル府縣制ノ自治内容デアリマス、殆ド府縣稅

ト云フ税金ヲ取ラレツツ、其金ハ國家ノ役人ガ勝手ニ執行シテ——勝手ト云フ言葉ハ少シ言過ギルカ知レマセヌガ、兎ニ角執行機關トシテ自分デ自由ニ、自治事務ヲ役人的ニ裁量シテ參リマス、ソコデ種々ナ惱ミヲ持ツノデアリマスガ、知事公選デ行ク途中ニ於テ、何等カサウ云フ缺點ヲ補フ機關ヲ御考ニナツタコトハナイノデアアルカ、斯ウ云フコトヲ伺ッテ置クノデアリマス、モウ一遍此點ニ付テ御話ヲ願ヒタイノデアリマス

○潮政府委員 私ハ山本サンノ御趣意ヲ履違ヘテ居ッタノデアリマス、隨テ御答ガ徹底シナカッタと思ヒマスガ、私共モ仰セノ通りニ、或場合ニ於キマシテ、例ヘバ知事ガ變リマスル場合ニハ、新シキ事業ヲ致シマスルノニ、前ノ人トハ或ハ方針ガ變ルト云フコトモアリマス、是ハ人ガ變レバ自ラサウ云フコトモ出來テ來マスケレドモ、サウ云フコトノ爲ニ府縣民ニ迷惑ヲ掛ケルコトガアツテハナラナイ、ト種々同僚トモ話ヲシテ居ル、政府トシテモ訓戒ハ加ヘラレテ居ルノデアリマスガ、一言デ申シマスレバ、假ニ縣治ノ職ニ就イテモ、徒ニ功ヲ急イデ仕事ヲ無闇ニヤルベキ筋合ノモノデハナイ、斯ウ云フ風ニ御互モ爲シ、政府モ戒メテ居リマスガ、場合ニ依リマシテハ、新シキ眼デ縣治ヲスル場合ハ、斯ウ云フコトヲスルガ至當ダト云フ判斷ノ下ニ、手ヲ着ケルコト

ガアルノデアリマス、隨テ其人ガヤメレバ、其事業ガ其儘遂行サレナイ場合モ、事實ニ於テ往々見ルコトデアリマスサウ云フ點カラ考ヘマスレバ、山本サンノ言ハレマス、意思ノ繼續性ト云フコトモ、ソレヲ意思ノ繼續トスレバ、斷絶スルコトモ、中斷スルコトモアルノデアリマス、之ヲ救済スルニハ、何等カノ方法ヲ案出スルト致シマシテ、知事公選ガ最モ適當ダト云フ御話デアリマスガ、知事ノ公選ハ、只今ノ程度デハマダ此際考ヘテ居リマセヌ、知事ノ公選デ行ク前提トシテ、更ニ參事會ノ選定云々ト云フコトニナレバ、兎ニ角デアリマスガ、公選論ハ今考ヘテ居リマセヌ、隨テソレハ別ニシテ、參事會員ノ任期等モ長クシテ、其意味ニ於テ縣民意思ノ繼續性ヲ持タセタラドウカト云フノガ、最後ノ御尋ノ御趣意デアリマス、是モ四年ヲ一年ニ變ヘヤウト云フコトハ、惡制デモ、惡例デモナイノデアリマス、當時ノ事情カラ申セバ、四年ニ懲リテ一年ニサレタノデアルト思ヒマス、當時ノ立法者ガ、決シテ惡例ヲ貽サレタモノデナイト信ジマスケレドモ、併シ是ハ人事デ、人ノスル事デアリマスカラ、實際一年ニ引直シテヤッテ見テ、經過ヲ見ルト、ドウモ之ニ伴フ弊害ガアルカラ、扱之ヲ改正シナケレバナラス、ソレヲ繼續性ヲ帶ビサセル爲メ四年ニスルト云フコトデアリマスガ、果シテ四年ニシテ、山本サンノ仰シヤ

ル御趣意ニ一致スルカドウカ、是モ疑念ヲ持タナケレバナラス、或ハ紛爭ヲ徒ニ起スコトガアツテハ、却テ縣治ノ上ニ面白クゴザイマセヌ、ソレカラ又四年ト云フコトニナレバ、縣會ノ大勢ト云フモノハ、乗移ッテ來ナイト云フコトモアリマシテ、此點ガ不徹底デアルト仰シヤレバ、何モ二年ト云フコトニ何等の確ナル數學的論據ハゴザイマセヌガ、四年ニシテモ困ル、一年ニシテ又弊ガアルト云フ以上ハ、種々地方ノ御意見モ伺ッテ見ルガ、先ヅ是ハ二年ニ落付ケテ實行シテ見テ行ッタラドウカト云フ考デ、此際之ヲ二年トスル、其意味ニ於テ幾分カ繼續性ガアルカラ御満足ハ得ラレマスマイガ、此程度デヤッテ行クヨリ外ナイト思ヒマス

○山本委員 四年ヲ一年トサレタノニハ、慥カ色々黨弊ガアツテ、有ユル方面デ參事會ノ選舉ニ、盛ニ爭ガ起リ、其弊害ニ顧ミラレテ一年制ニサレタト云フコトハ、當時普ク傳ハッタ所ノヤウデアリマス、併ナガラ多數即チ善、多數「エコール」善、ト云フ形式ニ據ッタ多數制度ヲ執ッタ以上、其處ニ黨弊ノ起ルコトハ仕方ガナイ、多數ト云フコトガ善事ヲスルト云フ見地カラ行ケバ、是ハ黨弊ガアツテモ仕方ガナイ、ソレガ爲ニ四年ヲ一年ニシ、更ニ又二年ニ變ヘタト云フコトハ、何レニシテモドウモ右願左阿ガ多過ギヤシナイカト考ヘマス、併シソレハ議論ニナリマスカラヤメマ

スガ、一寸御言葉ノ中ニ、色々希望ガナイカラトカ、アルカラトカ云フ御話ガアリマシタガ、内務省ナドヘ、希望ヤ條件ナド持ッテ參ルモノハ、比較的内務省ニ近イ方ガ來ラレルノデ、本當ノ純粹ノ農村ノ聲ハ、割合内務省ナドニハ到著シ難イト思ヒマス、到著スルモノハ比較的少數ナ内務省ニ近イモノデアッテ、ソレガ何時デモ善良ナモノバカリトハドウシテモ言ハレナイノデ、此所ニ間違ガ起リ易イノデアリマス、此點ニ付テ、今日ハ少シ餘計デアリマスガ、稅制委員會ノトキニ、自治團體ニ一番困ッテ居ル二ツノ惱ミヲ申シマシタ、其一ツハ町村稅中ノ戶數割デアアル、町村稅中ノ戶數割ト云フモノハ、内務省ノ賦課徵收規則ノ勅令ノ中デ、今度ハ多分家屋割一割ヲ除キマスカラ、見立割五割、所得割五割、サウナルト全ク無標準ノ賦課方法ガ其半バニ達スルノデアリマス、今迄ト雖モ非常ナ苦情ノ種トナツテ居ルノガ、更ニ一割ノ見立割ヲ殖スト云フコトニナリ、益戶數割ノ弊害ヲ増加シマス、而シテ其金額ガ少イカト云フト、サウデナイト、町村稅ト云フ一番目ニ見エテ直接負擔ノ金額ノ多イ、其町村稅ノ八割以上ヲ占メル所ノ戶數割、ソレヲ殆ド腰ダメデ徵收セラレルト云フコトハ、稅制上ノ非常ナ缺點デアルト云フコトヲ御聞キシタ所ガ、田中政府委員ノ御言葉デハ、殆ド戶數割ニ對スル苦情ヲ餘リ聞カナイカラ、此

戸數割ハ理想的ノモノト思ッテ居ルト云フヤウナコトデアリマシタ、内務省ニ苦情ヲ持込ム者ガナイカラ、戸數割ハ缺點ガナイト云フヤウナ御考デハ甚ダ遺憾デアリマス、單ニ内務省ニ苦情ガ来ナイト云フコトデ種々御發案ヲナサルト、不十分ナモノガ現ハレルノデハナイカト考ヘマス、是ハ私ノ希望デア、御注意ト申シテハ失禮カモ知レマセヌケレドモ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ置クコトガ必要カト思ッテ申上ゲテ置クノデアリマス、是カラ後ハ議論ニナリマスカラ、主トシテ私ハ其點ヲ伺ヒタカッタノデアリマス、私ノ質問ハ是デ打切りマス

○潮政府委員 只今ノ御答ヲ致ス點モナイカト思ッテ控ヘテ居リマシタ、御注意ノ點ハ十分ニ諒承致シマシタ、併シ仰セノ通り官廳ニ居リマスト聞エマス聲ハ、其官廳ニ動モスレバ接近スル者ノミノ聲ガ聞エテ、其他ノモノハ聞エザルノデ、ソレニ依テ仕事ヲスルト間違ガ起ルト云フコトハ餘程注意致サナケレバナリマセヌ、尙ホ一府地方ノ聲ナドモ忌憚ナク仰シヤッテ下サルコトヲ希望致シマス

○荒川委員長 一寸申シマスガ、只今ノヤウナ總體ノ質問モ必ズシモ御止メハ致シマセヌガ、此際ハ條文ノ審議中デアリマスカラ、ドウゾ條文ニ關スル御質疑ヲシテ下サッテ、ソレカラ尙ホ今ノヤウナ問題ガアリマスレバ、後デ時

間ノ都合デ御紹介致スコトニ致シマスカラ、滿場御注意ヲ願ヒマス、——工藤鐵男君

○工藤委員 私モ三四箇所御伺致シマス、先ヅ第八條デスガ、第八條ノ補選選舉ヲ三箇月以内ニ行フト云フノデスガ、是ハ御承知ノ通り衆議院ノ方ハ今度三箇月ヲ一箇月ニ改メタヤウナ譯デアリマスガ、是ハ衆議院ノ方デ改正シタ理由ハ、選舉期間ガ長イト云フコトハ兎角費用モ多クナリ、弊害モ多イト云フノデスガ、府縣會ノ方ハ三箇月ト云フ現行ノ制度ヲ維持シテ居ルノハ、總テノ選舉ニ於テ費用其他無益ナル時間ヲ費スト云フコトヲ防グ爲カラ、期間ヲ短クスルト云フコトナラバ、是モ少シ改正シタラドウカト云フ考デアリマスガ、如何デアリマスカ

○荒川委員長 一寸此際御諮リ致シマスガ、條文ノ細カイ事ニ付キマシテハ、先ニ石原書記官ヲ説明員トシテ説明ヲ求メマシタガ、尙ホ狹間事務官ニモ時ニ政府委員ニ代ッテ説明シテ貰フコトニ致シタイト思ヒマス、豫メ滿場ノ承認ヲ乞ウテ置キマス

「異議ナシト呼フ者アリ」

○潮政府委員 只今ノ工藤サンノ御尋ハ一應御尤デゴザイマス、成ベク選舉期間ヲ短ク致ス方ガ適當ト思ヒマシタケレドモ、府縣制ニ於テハ「府縣會議員中議員ヲ生シタルトキハ」ト云フノデ

テ居ルノデ、而モ現行法ガ三箇月位ノ裕取リハ取ッテヤッテ居リマスカラ、是ヨリ少シモ縮メラレヌト云フコトハアリマセヌケレドモ、大體三箇月トシテ置イテ宜カラウト云フコトデアリマス、衆議院ノ方ハ衆議院議長ノ通知ト云フコトガアルカラ、短縮シテアリマスケレドモ、府縣制ノ方ハ起算點ガ早イ爲ニ大體三箇月ガ宜カラウト云フノデ決定シタ次第デアリマス

○工藤委員 第十三條ノ「選舉ノ期日前二十日」ト云フコトガアリマスガ、告示ヲシテカラデナケレバ事務所ノコトヤ又選舉運動ニ對スル手配ナドハ、其時カラデナケレバ發生シナイコトニナルノデアリマスカ

○潮政府委員 大體其通りデゴザイマシテ選舉ノ期日前二十日デアリマシテ、其告示ガアリマシテカラ議員候補者ノ届出等ガアリマシテ、ソレカラデナケレバ選舉運動等ニモ着手スルト云フ譯ニハ參ラヌコトニナリマス

○工藤委員 ソレデハ第十三條ノ三デスガ、候補者ハ届出ヲ爲シテサウシテ一人ニ付テ二百圓、又ハ之ニ相當スル額面ノ證券ヲ供託スル、衆議院ノ方ハ二千圓デアッタガ、之ハドウ云フ所カラ割出シタノカ、私共ハ了解シ兼ねテ居タノデスガ、今度二百圓トシテ、丁度十分ノ一デアリマスガ、之ニハ何カ根據ガアリマセウカ、私共ハ斯ウ云フモノヲ拵ヘルノニハ何カ根據ガナケレバナ

ラナイト考ヘマスガ、之ハ例ヘバ斯ウ云フ規定ヲ設ケルト云フノハ要スルニ或ハ賣名ノ爲トカ或ハ泡沫候補者ヲ防グト云フコトモ有力ナ一ツノ理由デアラウト思フ、サウシテ責任アル候補者ヲ舉ゲルト云フ意味デアラウト思フ、サウスルト玆ニ供託金ヲ要スルト云フコトデアレバ、大體ノ最少限度ニ於ケル選舉ノ費用ト云フモノカラ割出サナケレバイカスト思フ、選舉ノ費用カラ割出シテ矢張運動員ノ數、或ハ事務所ノ費用、最小限度ニ於ケル運動費等ヲ充シ得ル最低ノ金額ト云フヤウナモノガ略標準ニナラナケレバナラヌト思ヒマス、ソレカラ次ニ議員候補者ノ得票數、其選舉區ノ配當議員數ヲ以テ有效投票ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ十分

ノ一ニ至ラナイ場合ニハ、其供給金ヲ沒收スルト云フコトハ何カ之ニ若シ適當ナ根據ガアレバ宜シ、然ラザレバ餘リ酷ニ失シテ居リハシナイカト思ヒマス、先達一寸伺ヒマシタ所ニ依レバ選舉ノ費用ハ略五千圓位ト見テ宜カラウト云フ御話デアッタ衆議院議員ノ選舉ノ費用ガ約一萬二千圓ト云フ點カラ見テ格別ノ違ヒガナイト云ヘバ、二百圓ト云フノハ私ハ少シ少ナイヤウナ感心ジガ致シマスガ之ニ對スル根據ヲ承リタイ

○潮政府委員 今工藤サンノ御述ノヤウニ選舉運動ノ費用ト此供託金ノ金額トハ私ハ對照ノ例ニナラヌト思ヒマ

ス、衆議院ノガ一萬二千圓デ二千圓ニシ
タ、一萬二千圓ト二千圓ニ關係ガ無イ
ト思ヒマス、二千圓ト極メマシテモ千
圓ガ適當ダト云フ御説ガアリ、或ハ三
千圓ガ適當ダト云フ御説ガアル、結局
二千圓ガ適當デナイカト思ッテ極メマ
シタダケノ話デアリマス、此度之ヲ二
百圓ト極メマシタノモ先ヅ衆議院ノ一
割位デ宜カラウ、先日モ安過ルト云フ
御説ガゴザイマシタガ、安過ギルノモ
高過ギルノモ根據ガナイ、大體認定デア
リマス、又府縣ノ運動費ガ約ソ五千圓
ト云フコトヲ書記官カラ申上ゲマシ
タ、強ヒテソレト聯絡ヲ取ッテ二百圓ヲ

説明申上ゲマシテモ理由ニナリマセ
ヌ、事實ノ所ヲ露骨ニ申上ゲマス、先
ヅ衆議院ノ一割位ガ適當デアラウト云
フ所カラ極メマシタ
○工藤委員 ソレカラ 第五十三條デ
ス、是ハ議長ノ決議權ノ採決權トノ二
重行使ノ問題ガ往々從來モアッタヤウ
デアリマス、府縣會ノ議事ハ過半數ヲ
以テ決シテ、サウシテ同數ノ場合ニ於
テ議長ガ決スル、今度議長ハ職務ヲ行
フ場合ニ於テモ之ガ爲ニ議員トシテ議
決ニ加ハル權能ヲ失ハナイト云フコト
ニ改正セラルミノデアリマス、惟フニ
二重權行使ニ付テノ種々ナル疑問ガ
起ッテ訴訟トナリ、現ニ昨年一月行政裁
判所デ爭ヲ續ケテ居ッテ青森市會ノ問
題モアリマスガ、是ハ從來議長ハ議長
トシテノ職務ヲ行ヒ、サウシテ其議席

ニ於テ更ニ其議決權ヲ行ッテ場合ニ於
テ、二重權ヲ行使スルコトニ異議ガ起ッ
タ爲デアラウト思ハルミガ如何デアリ
マスカ
○潮政府委員 此問題ハ別ニ新シイ問
題デハゴザイマセヌノデ、御承知デモ
アリマセウガ、内務省カ從來カラ此權
限ヲ認メテ居ッテ行政裁判所ハ認メマ
セヌ、兩者解釋ヲ異ニシテ居ッテ構ヒマ
セヌケレドモ、ソレガ爲ニ迷惑ヲスル
モノハ縣ナリ市町村デアリマス、甚ダ
困難ヲ感ジマスコトハ明ニ承知致シマ
シタ、斯ウ致シテ置キマスレバ行政裁
判所ト雖モ此法文ノ解釋ヲスルニハ明
ニ此方ニ參リマス、從來説ガ違ッテ地方
ニ迷惑ヲ掛ケルノヲ防止スルノデアリ
マス、先達ノ議場ノハ二重投票ヲ認メ
タト云フ問題ニ關係ガ無カッタノデア
リマス

○荒川委員長 一寸工藤君ニモ皆サン
ニモ申シマスガ、大口君ヨリ此地方制
度改善ニ付テノ大體ノ質問ヲ特ニ内務
大臣ニ致シタイト云フコトデ、内務大
臣特ニ又差繰ッテ今御出席ニナリマシ
タカラ、工藤君ノ質問ヲ暫ク御待チテ
願ヒマス
○工藤委員 モウ一箇條デス
○荒川委員長 ドウカ後ニ願ヒマス、
大口君
○大口委員 ソレデ委員長ノ御指揮ノ
通り私ガ内務大臣ニ對シマスル大體ノ
質問ヲ致シマス、逐條質問ハ工藤君ノ

後ニ於テ致シマス、私ガ先ヅ内務大臣
リ承リタイノハ、或ハ寧ロ總理大臣ニ
承ルノガ適當カト存ジマスガ、是ハ先
日來既ニ同僚ノ諸君ヨリ質問ニナッテ
居リマスケレドモ、私ハマダ要領ヲ得
テ居ラヌト思ヒマスカラ、此際政府ノ
根本方針ヲ承ッテ置ク必要ガアルト感
ジマシテ御出席ヲ御願ヒシタ次第デア
リマス、私共ガ只今見ル所デハ地方自
治體、府縣ニ致シマシテモ、市町村ニ致
シマシテモ、頗ル財政上ノ困難ヲ感ジ
テ居ル事實ガアリマス、是ハ勿論政府
デモ御認メニナッテ居ルコトニ思フノ
デアリマスガ、其中デドウ云フ費用ヲ
最モ多ク使ッテ居ルカト云ベバ、府縣ハ
申ス迄モナク土木費ガ多イ、市町村ハ
教育費、此教育費ニ對シマシテハ義務
教育費ニ於テ既ニ國庫負擔金モ増サレ
ル事實ガアリマスガ、此市町村ニ於テモ
矢張之ニ續イテ土木費ナドガ多イ、
其外此自治事務ニ對シテ次第々々ニ土
地ノ發達ニ伴ッテ費用ヲ増サネバナラ
ヌコトガアルノデアリマスカラ、何分
之ニ困難ヲ致ス、其困難ヲスル原因ハ
何處ニ在ルカト云ヘバ、國ノ方ガ盛ニ
此地方自治ニ種々ナル事務ヲ委任ヲス
ル、或ハ管掌セシムル、此數ガ洵ニ殖エ
ル、一議會毎ニ法律勅令ガ出ル毎ニ、地
方ノ事務ハ増加スルバカリ、ソレデ本
年來地方事務ノ仕事ハ自治事務ガ根本
ニナラナクテハナラヌ筈デアルガ、或
ハ國家ノ委任上、或ハ國家ノ管掌上、之

ガ爲ニ殆ド自治體ガ忙殺サレル、殊ニ
市町村ト云フモノニナリマスルト、國
ノ管掌事務ト云フモノガ實ニ煩雜ヲ極
メル、先ヅ第一ニ戶籍事務ニ致シテモ、
或ハ衛生ニ關スル事ニ致シテモ、殊ニ
甚シキニ至ルト法律家ナドハ財政上ノ
國家ノ委任ト稱シテ居ルノデアアルガ、
仕事ハ國家ガ全部ヤッテ金ヲ出シテ費
用ヲ支拂フ事ダケヲ市町村ニ委任シテ
居ル、是ハ國家ノ一分子デ已ムヲ得ナ
イ所カ知リマセヌガ、仕事ハ國家ガヤ
ッテ費用ダケ自治體ガ之ヲ支拂フベク
國家カラ委任サレテ居ル、洵ニ自治體
トスレバ厄介ナ仕事デアリマス、サ
云フ風ニ段々此事務ノ殖エマスルト云
フコトハ、洵ニ市町村ノ惱ミノ本ニナッ
テ居リマス、甚ダ地方ノ發展ヲ妨ゲル
本ニナッテ居リマス、ソレデアリマスル
カラ國政事務ヲ執ル代價トシテ、總テ
ニ對シテモット交付金デモ吳レナイカ
ト云フ議論ガ出テ居ル次第デアリマス、
所ガ私ガ之ニ對シテ特ニ大臣ノ御出席
ヲ御願ヒシタ所以ハ、地方局長ガ露骨ニ
御話ニナルノデ、誠ニ宜イコトト思ッテ
同情シテ居リマスカラ、私モ露骨ニ申
上ゲマスガ、是ハ内務當局ニ言ッテモ駄
目デス、何故駄目カト言ヘバ、内務當局
ハ何時モ私共ト同意見デアアル、私共地
方自治ノコトデ困難ヲ懇ヘルト、總テ
ノ役所ノ中デ内務省ノ地方局ハ、地方
自治體ニ最モ同情ヲ持チ、肩ヲ持ッテ居
テ、地方自治體ノ爲ニ能ク分ッテ吳レ

○荒川委員長 一寸工藤君ニモ皆サン
ニモ申シマスガ、大口君ヨリ此地方制
度改善ニ付テノ大體ノ質問ヲ特ニ内務
大臣ニ致シタイト云フコトデ、内務大
臣特ニ又差繰ッテ今御出席ニナリマシ
タカラ、工藤君ノ質問ヲ暫ク御待チテ
願ヒマス
○工藤委員 モウ一箇條デス
○荒川委員長 ドウカ後ニ願ヒマス、
大口君
○大口委員 ソレデ委員長ノ御指揮ノ
通り私ガ内務大臣ニ對シマスル大體ノ
質問ヲ致シマス、逐條質問ハ工藤君ノ

後ニ於テ致シマス、私ガ先ヅ内務大臣
リ承リタイノハ、或ハ寧ロ總理大臣ニ
承ルノガ適當カト存ジマスガ、是ハ先
日來既ニ同僚ノ諸君ヨリ質問ニナッテ
居リマスケレドモ、私ハマダ要領ヲ得
テ居ラヌト思ヒマスカラ、此際政府ノ
根本方針ヲ承ッテ置ク必要ガアルト感
ジマシテ御出席ヲ御願ヒシタ次第デア
リマス、私共ガ只今見ル所デハ地方自
治體、府縣ニ致シマシテモ、市町村ニ致
シマシテモ、頗ル財政上ノ困難ヲ感ジ
テ居ル事實ガアリマス、是ハ勿論政府
デモ御認メニナッテ居ルコトニ思フノ
デアリマスガ、其中デドウ云フ費用ヲ
最モ多ク使ッテ居ルカト云ベバ、府縣ハ
申ス迄モナク土木費ガ多イ、市町村ハ
教育費、此教育費ニ對シマシテハ義務
教育費ニ於テ既ニ國庫負擔金モ増サレ
ル事實ガアリマスガ、此市町村ニ於テモ
矢張之ニ續イテ土木費ナドガ多イ、
其外此自治事務ニ對シテ次第々々ニ土
地ノ發達ニ伴ッテ費用ヲ増サネバナラ
ヌコトガアルノデアリマスカラ、何分
之ニ困難ヲ致ス、其困難ヲスル原因ハ
何處ニ在ルカト云ヘバ、國ノ方ガ盛ニ
此地方自治ニ種々ナル事務ヲ委任ヲス
ル、或ハ管掌セシムル、此數ガ洵ニ殖エ
ル、一議會毎ニ法律勅令ガ出ル毎ニ、地
方ノ事務ハ増加スルバカリ、ソレデ本
年來地方事務ノ仕事ハ自治事務ガ根本
ニナラナクテハナラヌ筈デアルガ、或
ハ國家ノ委任上、或ハ國家ノ管掌上、之

ガ爲ニ殆ド自治體ガ忙殺サレル、殊ニ
市町村ト云フモノニナリマスルト、國
ノ管掌事務ト云フモノガ實ニ煩雜ヲ極
メル、先ヅ第一ニ戶籍事務ニ致シテモ、
或ハ衛生ニ關スル事ニ致シテモ、殊ニ
甚シキニ至ルト法律家ナドハ財政上ノ
國家ノ委任ト稱シテ居ルノデアアルガ、
仕事ハ國家ガ全部ヤッテ金ヲ出シテ費
用ヲ支拂フ事ダケヲ市町村ニ委任シテ
居ル、是ハ國家ノ一分子デ已ムヲ得ナ
イ所カ知リマセヌガ、仕事ハ國家ガヤ
ッテ費用ダケ自治體ガ之ヲ支拂フベク
國家カラ委任サレテ居ル、洵ニ自治體
トスレバ厄介ナ仕事デアリマス、サ
云フ風ニ段々此事務ノ殖エマスルト云
フコトハ、洵ニ市町村ノ惱ミノ本ニナッ
テ居リマス、甚ダ地方ノ發展ヲ妨ゲル
本ニナッテ居リマス、ソレデアリマスル
カラ國政事務ヲ執ル代價トシテ、總テ
ニ對シテモット交付金デモ吳レナイカ
ト云フ議論ガ出テ居ル次第デアリマス、
所ガ私ガ之ニ對シテ特ニ大臣ノ御出席
ヲ御願ヒシタ所以ハ、地方局長ガ露骨ニ
御話ニナルノデ、誠ニ宜イコトト思ッテ
同情シテ居リマスカラ、私モ露骨ニ申
上ゲマスガ、是ハ内務當局ニ言ッテモ駄
目デス、何故駄目カト言ヘバ、内務當局
ハ何時モ私共ト同意見デアアル、私共地
方自治ノコトデ困難ヲ懇ヘルト、總テ
ノ役所ノ中デ内務省ノ地方局ハ、地方
自治體ニ最モ同情ヲ持チ、肩ヲ持ッテ居
テ、地方自治體ノ爲ニ能ク分ッテ吳レ

ル、能ク分ツテ吳レルノハ地方局デア
ル、デスカラ何時モ地方局ヲ頼リニシ
テ行クノデアリマス、一通リハ理窟モ
言ハレルガ、能ク辯明シテ、筋ガ立テバ
之ニ向ッテカヲ入レテ吳レル、其他ノ役
所デハ悉ク政府ノ都合ノ方カラ考ヘラ
レテ地方ノ都合ハ考ヘテ下サラナイト
云フノガ今日マデノ實狀デアルヤウニ
私ハ感ジテ居リマス、例ヘバ大藏省ノ
如キハ國稅ヲ取ルコトニ付テハ中ニ御
研究ニナル、國稅ヲ取ルコトハ都合好
ク御考ニナルガ、地方ノコトハ考ヘテ
吳レナイ、其點デ地方ノ自治體ト同様
ニ地方局モ御困リニナッテ居ル、デスカ
ラ私共ハ今度ノ稅制整理案ニハ心ノ中
デハ地方局ニ同情シテ居ル、何トナレ
バ府縣稅ノ戶數割ヲ廢メラレテ、其代
リニ戶數割ヲ起シタ、是ハ家屋稅ト戶
數割ト名ヲ變ヘタダケノコトデアアル、
之ヲ細カク論ズレバ私ノ議論ガ立ツト
思フガ、兎モ角財源ヲ國カラ與ヘナイ
カラ、地方局トシテモヤリ様ガナイ、此
前稅制整理ノ時ニ現ハレマシタ問題ノ
如キモ、實ハ私ハ內務省ニハ同情ヲ致
シテ居ル、大藏省ガ國ノ財政ノ總テヲ
ヤッテ居ルノデアアルカラ、內務省トシテ
モ困ッテ居ル、此惱ミガ政府ノ中ニモア
ル、地方自治ノ惱ミガ中ニ救ハレナイ
原因ハ、私ハ其處ニ在ルト思フ、私ハ多
年地方自治ニ關係ヲシテ居ッテ能ク其
苦ミヲ存ジテ居リマス、ソコデ議會ニ
於テ此問題ヲ論ジテ見ルト、相手ニナ

ルノハ何時モ內務省ノ方デアアル、內務
省ノ方ハ何時モ私共ト同意見デアアルカ
ラ、議論ハ直グニ片付キマスガ、愈之ヲ
實行スル場合ニ政府ニ申立テルト、各
省ニ於テモ、地方自治體ヲ絕對ニ顧ミ
ナイト云フ譯デハナイデセウガ、政府
ノ都合ノ好イ様ニト考ヘルカラ、其尻
ハ必ズ地方ニ持ッテ來ラレテ、地方ガ困
難ヲスル、一例ヲ舉ゲテ見ルト今申シ
タ道路、是ハ內務省ノ管轄デハアリマ
スガ、地方局ニハ關係ガアリマセヌ、道
路ノ中デモ國道ノ如キハ全部國デアル
ベキ仕事デアッテ、府縣ニヤラセルト云
フコトハ道理ニ合ハナイ、ソコデ先年
道路法ガ敷カレ、道路會議ガ設ケラレ、
サウシテ吾々モ長ク道路會議ニ關係ヲ
シテ居ッタ、道路ガ完全ニナラナケレ
バ、ドウシテモ交通ハ良クナラナイ、鐵
道モアリマスガ、今日ノ如ク自動車ノ
發達シテ來タ時代ニ於テハ一面ニ於テ
道路ノ完成ヲ期サナケレバナラヌト云
フノデ、先ツ國道ニ對シテ相當ノ金ヲ
國家ガ出シテ、府縣ニ援助ヲ與ヘル、或
ハ府縣道、市道、町村道等デアッテモ、重
要ナルモノニハ適當ノ方法デ援助シ
テ、道路ノ完成ヲ圖ラウト云フノデ、御
承知ノ通り一定ノ年限ヲ定メテ、毎年
二千萬圓デアリマスガ、國債ヲ起シ、之
ニ依テ道路完成ノ方法ヲ立テヤウト云
フノデ、所謂十年計畫ガ出來タ、サウシ
テ府縣ニ於テモ、市町村ニ於テモ相當
ノ設備ヲシカケルト、國デハ又行政整

理財政整理ト云フコトカラシテ、忽チ
國ノ道路計畫ヲ或ル程度ニ繰延ベル、
或ハ中止スルト云フヤウナコトニナッ
タ、其結果ハドウナルカト云フト、府縣
デハ捨テ置ケナイカラ府縣費ヲ以テヤ
ラナケレバナラヌ、所デ又府縣ノ經濟
ガ困ッテ來ルト市町村デハ之ヲ捨テ置
クコトガ出來ナイ、直接人民ニ接シテ
居ル、下級公共團體ハ、ドウシテモ捨テ
置ケナイカラ、市町村費ガ殖エテ來ル、
元來國デアルベキモノガ、廻リ廻ッテ市
町村ガヤッテ行カナケレバナラヌト云
フ現狀ニナッテ居ル、是ナドガ現ニ實際
ノ問題ニナッテ居ル、學校ノ問題モサウ
デアル、政府ノ都合ノ好イヤウ、又政府
ノ形ヲ調ヘル爲ニ、其費用ハ府縣ニ轉
嫁サレル、府縣ガ困ッテ來ルト今度ハ其
下級團體ニ轉嫁サレル、政府ハ之ヲ顧
ミナイデハナイ、結局顧ミ得ラレナイ
ノカモ知レマセヌガ、私共地方自治ヲ
思フ上カラ言フト誠ニ遺憾ヲ感ズル、
ソレ故ニ斯ウ云フコトハ內閣デ統一サ
レテ、地方自治團體ノコトモ各省ニ互
リ各大臣ノ頭ニ入レテ戴イテ、各省ガ
國ノ事務ヲ思フト同時ニ、地方ノ事務
モ思フヤウニシナケレバイカヌト思
フ、所ガドウモ今日デハ內務省、殊ニ地
方局ダケハ思ヒ遣リガアルガ、大藏省
ナドデハ誠ニ思ヒ遣リガ少イト云フコ
トヲ痛切ニ感ズル、幸ヒ今日ハ總理大
臣ガ內務大臣ヲ御兼ネニナッテ居ラレ
マスカラ、此邊ニ對シテ深ク御考慮ヲ

願ヒタイ、又如何様ニ現內閣ハ此地方
ノ自治ニ向ッテ考ヘテ居ラレルカ、之ヲ
一ツ確メテ置キタイ、其爲ニ御出ヲ願ッ
タ次第デアリマス
○若槻國務大臣 只今大口君ノ御質問
ハ御尤デアリマス、一方ニ仕事ヲ命ジ
テ置イテ、一方ニ財源ヲ與ヘナイ、ソレ
デハ困ルデヤナイカト、其通りデアリ
マス、サウナリマスガ、何分日本ノヤウ
ナ急激ニ進歩シタ國、サウシテ、今日デ
ハ世界ノ一等國ノ位地ヲ保ッテ居ル、其
一等國タルノ地位ヲ保ツニハ總テノ設
備ヲ相當ニシテ行カナケレバナラヌト
云フ事情ガアル、他ノ國ノヤウニ長イ
間ニ段々設備ヲ整ヘテ進歩シテ來タ國
トハ違ヒマス、此急速ニ進歩シタ國ガ、
他ノ國ト同ジ様ニ頭ヲ揃ヘテ行カウト
云フノデアアルカラ、ソコデ一時ニ澤山
ノ費用ヲ要スル、ソレナラ國力ガソレ
ダケ充實シテ、幾ラデモ要求ニ應ズル
コトガ出來ルカト云フト、サウハ行カ
ナイ、國力ガソレ程ニ發達スルマデニ
ハ相當ノ時日ヲ要スル、左レバトテ國
ノ地位ヲ保ツ爲ニハ、サウ長イ間待ッテ
居ル譯ニ行カヌ、隨テ差急イデ色ミナ
コトニ手ヲ着ケテ行カナケレバナラ
ヌ、サウスルト一方ニハ財源ガ十分デ
ナイ、他ノ一方ニ仕事ハ是非ヤッテ行カ
ナケレバナラヌ、斯ウ云フ事情ノアル
國ニ於テハ、ドウモ御尤ノ御意見デア
テモ、御尤ノ通りニ行ッテ居ラヌノデア
リマス、ソレ故ニ先程カラ仰セニナル

如ク、内務省ニ於テハ或ハ地方局ニ於テハ、何カ府縣ナリ市町村ノ事務ヲ殖ヤサウトスルヤウナ法制デモ立テヤウトスレバ、ソレハ困ル、ソレヲヤルナラバヤルダケノ豫算デモ取ツテヤルナラ宜イガ、ソレガナケレバ困ルト云フ意見ヲ、私就任以來何遍モ聞イテ居ルノデアリマス、ソコデ地方局ノ意見ノ通リニスルコトニナルト、必要ナル法制ヲ立テルコトハ止メ、仕事ヲスルコトヲ止メナケレバナラヌ、サウスルト又國ノ進歩ノ爲ニ必要ナコトヲ遅ラセナケレバナラヌ、一方ヲ立テルト他ノ一方ガイケナイ、一方ガ宜ケレバ、他ノ一方ガ困ルト云フコトニナル、是ハ急ニ世界ニ於ケル一等國ノ地位ヲ得テ、ソレ相當ノ設備ヲシテ行カナケレバナラヌ國ニナッタ日本ノ國情トシテハ、ドウモ已ムヲ得ナイコトデヤナイカト思ヒマス、ソレヲ悉ク整ヘテ行カウトスレバ、暫ク施設ヲ見合ハスノ外ハナイ、施設ヲ見合ハスト云フナラバ、一等國トシテノ地位ヲ保ツテ行クコトガ出來ヌ、斯ウ云フ誠ニ困ッタ「デレンマ」ノ間ニ立ッテ居ルヤウナ事情ガアリマスカラ、其處ニ至ッテ思フヤウニ地方ニ財源ヲ與ヘズシテ、矢張仕事ヲ命ジテ行ク、但シサウ致シマシタ所ガ、其仕事ノ結果ハ、ソレナラ地方ニ於テ利益ヲ受ケナイカト云フト、大體ハ皆ソレデ地方ガ利益ヲ受ケルコトデアリマス、隨テ若干負擔ノ方ハ増加シテモ、

此事ヲ實行シタラ宜カラウト云フヤウナ、今御尋ニナッタヤウナコトハ——此道路ノ如キモ二千萬圓ノ公債ヲ募ツテヤルコトニナッタト云フコトデアリマスガ、併シ其當時ハ公債ハ可ナリ多額ヲ發行シテモ、經濟界ハソレガ爲ニ壓迫ヲ受ケヌノミナラズ、政府デ公債ヲ募集シテ、民間ニ餘ッテ居ル金ヲ吸收シテ、通貨ヲ收縮スル方ガ却テ宜カラウト云フヤウナ時代デアリマシタノデ、其時代ニハ年々二千萬圓ノ公債ヲ募集シテ道路ノ改修ヲスルト云フコトガ、其年ニ限ッテナラバ行ハレナイ事ハナイ時デアリマシタ、ソレデ其一年ニ限ッテハ、洵ニ適切ナル計畫デアッタと思ヒマスガ、倅ソレヲ十年ナリ二十年ノ計畫ニシテ置クト、經濟界ニハ消長ガアルモノデアリマスカラ、其不況ノ來ッタ時ニハ思フヤウニ公債ノ募集ガ出來ヌ、ソレヲ強ヒテ募集スレバ、經濟界ハ壓迫ヲ受ケテ、其他ノ點ニ於テ不良ナ結果ヲ來スノデ、之ヲ直サナケレバナラヌ、サウスレバ公債ノ發行額ヲ減ジナケレバナラヌ、減ズレバ道路改修ノ財源ヲ出スコトガ出來ヌ、ソコデ一旦決メテ居ッタ道路ヲ幾ラカ繰延ヲシナケレバナラヌト云フヤウナコトヲシナケレバナラヌ、ソレヲ繰延ベマスノニモ、相當ナル理由ガアルノデアリマス、要スルニ出來ルダケノコトヲヤッタ、此國ノ地位ヲ保ツダケノ施設ヲ成ベク速ニ完成スルト云フ、ソレガ爲ニハ何處カ

ニ幾分道理上カラ言ッテハ無理ガアッテモ、ソレガ即チ國ヲ發達サス基デアルト云フナラバ、之ヲヤルト云フコトデ今日マデ進ンデ居ルノデアリマス、或ハ金ニ付テ其時ノ事情ヲ斟酌シ過ギテ居ルト云フヤウナコトガアルカモ知レマセヌ、ソコ等ハ先ヅ幾ラカノ調節ヲシナケレバナリマセヌケレドモ、大只君ノ如ク自治體ノ爲ニ考ヘテ、今日ノヤウナ事デモ非常ニ困ッテ居ルデハナイカト云フコトハ御尤デアリマス、ソレナラバ、ソレニ財源ヲ與ヘルコトガ出來ルカ、ソレガ事實ニ於テ出來ヌノデアリマス、ソレヲ與ヘナイデ、何等仕事ヲシナイカト云フト、其處デアリマス、ソレニハ色ニナ關係ガアリマスノデ、丁度御質問ニナリマシタヤウナ、洵ニ今日ハ何ト言ヒマスカ、全體ガ整ハヌヤウナ狀態デ、國政ナリ、自治體ノ行政ガ進ンデ居ルト申シテ宜シイカト思ヒマスガ、之ヲ匡正スルコトハ理論ニ於テ洵ニ結構デアリマスガ、事實ニ於テドウモ適切ニ匡正スルト云フコトガ行ハレ惡イノデアリマス、道理ニ於テハ御質問ノ點ハ如何ニモ御尤デアリマスガ、又事情ドウシテモ其道理ノ通りニ行ハレナイト、斯ウ申上ゲタノデアリマス、唯茲ニ附加ヘテ申上ゲタイノハ、地方ニ財源ヲ相當ニ與フルガ爲ニハ、此官ノ持ッテ居リマス營造物ニ、地方ガ稅ヲ掛ケテ、税金ヲ取ルコトガ出來ルヤウニスルカ、然ラザレバ其營造物ト

似寄ッタモノヲ民間ノ者ガ持ッテ居レバ、課稅ニ依テ得ラルベキ位ナ金額ヲ、國ノ方カラ市町村ニ補助トカ、助成トカ、何等カノ形ニ於テ之ヲ給與スルト云フヤウナ手段ヲ講ズルコトガ出來タナラバ、今大口君ノ御述ニナル點ノ若干ノ所ヲ匡正スルコトガ出來ヤウト思ヒマシテ、是ハ多年内務省ニハサウ云フ考モゴザイマシタ、私ガ就職シテカラ後モ、毎年ノ如ク豫算ニ於テ之ヲ要求シテ居ルノデアリマス、所ガ中ニ一般ノ財政ノ關係カラ之ヲ認メテ貰フコトガ出來マセヌ、又今度ノ地方制度ノ改正ヲスルニ付テモ、内務省トシテハ此官ノ營造物ナドニ對シテハ、自治體ニ、之ニ對スル金ヲ與ヘルコトガ出來ルト云フヤウナ規定ヲ設ケタカッタノデアリマス、ケレドモ是モ亦一方ニソレヲ設ケレバ、ソレニ對スル政府ノ豫算ガ必ズ出ナケレバナリマセヌカラ、財政當局トシテハ承認ガ出來ナイノデ、サウ云フ法制ヲ作ラレテハ困ルト云フノデ、中ニ其處ニ到ラヌノデアリマス、私共ハ事實サウ云フ點ニ於テ、出來ルナラバ何カ豫算ノ歲出ノ關係デ、之ヲ補助トカ何トカ云フヤウナ關係デモ之ヲ救済シマスカ、然ラザレバ自治體ノ課稅ト云フ方ノ側デ之ヲ救済シマスカ、方法、形ハ異ッテモ、何トカサウ云フ途カラ自治體ノ財源ヲ得セシムルヤウニシタイト思ッテ居ルノデアリマス、是ハ機會ノアル毎ニ内務ノ當局トシテハ主張スル考デアリマスノデ、今日財政上ニ

餘裕ヲ生ジテ居ルコトデアリマシタナ
ラバ、大口君ノ述ベラレル點ノ全部デ
ハアリマセヌガ、若干ノモノハ救済セ
ラレルダラウト思ヒマス、併シ是モド
ウモ直グ之ヲ實行スル積リデアルトハ
申上兼ネマス、此二年バカリ豫算ニ於
テ要求致シ、其改正ノ規定ヲ設ケテ、其
改正ニ同意ヲ求メタノデアリマスガ、
ドウモ財政計畫ヲ立テ手一杯ノ仕方
ヲシテ居ルノデ、今日サウ云フコトガ
出來ヌト云フコトニナツテ、洵ニ遺憾千
萬デアリマスケレドモ、今申ス如ク法
案ノ上ニ現ハスコトガ出來ナカタヤ
ウナ次第デアリマスカラ、此先キモ何
時ニナツテ之ヲ必ズ實行スルト云フコ
トヲ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、之
ニ對シテ努力スルト云フコトダケハ申
トゲテ置クノデアリマス、出來ルナラ
バ課税ノ形ニ於テカ、或ハ補助金ノ形
ニ於テカ、何トカ公共團體ニ今少シ財
源ヲ與ヘルコトノ出來ルヤウニ致シタ
イト云フ希望ヲ持ッテ居ル次第デアリ
マス

○大口委員 御懇篤ナル御説明デアリ
マシテ、略總理大臣並内務大臣トシテ
ノ御意見モ私ハ了解致シマシタガ、只
今ノ内閣ト言ハズ、歴代ノ内閣ニ、私共
ガ此事ヲ御話シマス、内務大臣ハ殆
ド皆御同意ニナリマスガ、所ガソレガ
ドウデアアルカト申スト、今モ御言葉ノ
中ニアリマシタヤウニ、大藏省ガ聞カ
ナイト云フヤウナコトデ、ドウモ自治

體ト云フモノガ、ドノ位苦ンデ居ルカ
ト云フコトヲ、大藏省當局ナドハ了解シ
テ居ラレナイカノヤウニ私ハ考ヘルノ
デアリマス、ソレ故ニ幸ニ内務大臣ハ
總理大臣ヲ御兼ネニナツテ居リマスカ
ラ、總理大臣ガ其御考ヲ以テ内閣ニ御
臨ミ下サレナレバ、吾々ノ目的ハ追ミ
ニハ達セラレルデアラウト云フコトヲ
考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレニ付
テ尙ホ私ハ總理大臣ニ伺ヒタイノデア
リマスガ、昨日モ一寸私ハ當局ニ伺ッ
テ、御意見ノ大要ハ拜承致シタノデア
リマスガ、私共ガ常ニ遺憾トスルノハ、
市町村長ニ對スル國家ノ待遇デアリマ
ス、是ガ私共ガ常ニ考ヘテ居ル點デア
リマスガ、何故今此市町村長ト云フモ
ノガ、比較的人ヲ得ルニ苦シムノデア
ルカト云フト、私共自ラ經驗シタ所ニ
依ルト、一面ニ於テハ只今財政ノ非常
ナ苦痛ヲ感ジル、此苦痛ノ財政ヲ何ト
カシテ市町村長ハ切抜ケナケレバナラ
ヌ、上カラハウント押付ケラレル、下カ
ラハ民權ガ擴張シテ來テ押ヘラレル、
兩方カラ壓迫サレル、此間ニ至ッテハ官
權ト云フモノハ持ッテ居ナイ、官吏ハ官
權ヲ持ッテ之ニ臨ムノデアリマスカラ、
如何ニ立憲政治トハ言ヒマシテモ、國
家ノ權利ヲ以テ當ルノデアリマスカ
ラ、餘程ヤリ宜イノデアリマスガ、此自
治事務ニ當ル者ハ殆ドソレガナイ、ソ
コデ上カラハ監督官廳ト稱シテ色々命
令ヲ訓令ヤ、隨分細カイ事マデ知事ハ

訓令ヲ發シテ押ヘラレル、下カラハ民
權ガ擴張サレテ民間ノ意見ハ無論容レ
ナクチヤナラヌ、其間ニ立ッテ非常ニ苦
シム、然ラバ何カ精神的ノ慰安ガ得ラ
レルカト云フト、寔ニ詰ラヌモノデ、町
村長ハ郡長ガ監督スルノデアアルカラ、
監督官廳ノ方ガ一段上ノヤウニ見ラレ
テ、郡長以下ニ取扱ハレル、昨日申上ゲ
タヤウニ叙勳ノ途ガ開カレテモ恐ラク
町村長ガ郡長ヨリ上ノ恩典ニハ浴セナ
イ、又市長ハ府縣知事ノ監督ヲ受ケル
ト云フコトカラ何デモ知事以下ニ見ラ
レテ、飯ヲ食フニモ市長ヲ勤メル御蔭
デ何時モ知事ガ床ノ間ニ坐ッテ、其下ニ
坐ラナケレバナラヌト云フヤウナ實情
モ今日マデハ生ジテ居ル、ソコデ市長
ニ幾ラ叙勳ノ御沙汰ガアルニシテモ、
恐ラク知事ダケノ叙勳ハ得ラレマイ、
サウ云フ有様デ居ッテハドウシテモ地
方自治ガ尊イトカ、地方自治ガ國家ノ
基礎ダトカ云ッテモ、眞ニ地方自治團體
ノ尊敬ヲ受ケテ、地方自治體ヲ治メ得
ルダケノ實力ノアル者ハ此衝ニ當ラナ
イ、之ヲ私ハ平素遺憾トスル、人ガナイ
ト云フガアリマス、ソレナラバ叙勳ノ
御沙汰デモ御奏請ヲ願ッテ、エライ上デ
モ望ム意思デアアルカト云フト、私ハサ
ウデハナイ、却テソレハイカヌ、コンナ
コトヲ申スノハ如何デアリマスガ、全
國ノ市長會議ニハ私ハ十回以上モ臨ン
デ居リマスガ、私ハ常ニ其會議ナドデ
之ニ反對シテ居ル、叙勳叙位ノ御沙汰ヲ

御願スルニハ反對デアアル、幾ラ良イモ
ノヲ貰ッテモ大臣ノヤウナ良イモノヲ
貰ヘル氣遣ハナイカラ、自治體ノ役人
ヲシタ者デナケレバ貰ヘナイ、特殊ナ
モノヲ貰ヘルヤウニスルガ宜イ、官吏
デモイカヌ、外ノ者デモイカヌ、自治其
モノニ盡瘁シタ者ニ對シテ國家ガ一ノ
特殊ノモノヲ與ヘル、サウシテ國家ガ
表彰スルト云フコトデナケレバイケナ
イト思フ、斯ウ考ヘテ居ルガ、此市町村
長ヲ國家ガ優遇スルコトニ付テ御考ヘ
ニナツテ居ルト云フコトハ、昨日一寸大
體伺ッタノデアリマスガ、總理大臣トシ
テ更ニドウ云フ御考ヲ持ッテ居リマセ
ウカ、幸ヒ此際伺ヒ置キマスコトハ、地
方自治發達ノ爲ニ相當力アルコトト信
ジマスカラ、御答辯ヲ願ヘレバ結構デ
アリマス

者ニ向ッテハ、成ベク國家ニ於テ之ヲ表彰セラルルコトニ相成ルノガ宜シカラウト考ヘテ居ルノデアリマス、今御尋ガアリマシタカラ更ニ一應其方面ニ注意ヲ致シマシテ、モット適切ナルコトガアルナラバ考究スルコトニ致シマス、唯御話ニナッタ一般ノ功勞者ニ與ヘル表彰ト特別ニ、自治體ノ功勞者ニハ特別ノモノヲ作ッテ與ヘルヤウニシタ方ガ宜シイト云フ御意見ハ、是ハ私今直ニ其是非ヲ彼此批評スルノデアアリマセヌガ、唯國家ノ榮譽ナルモノハサウ色々ナ形ニ於テ現ハサズシテ、成ベク同ジヤウナ形ニ於テ何人ニ向ッテモ功勞アル人ニハ同ジヤウナ形デ之ヲ表彰セラルルト云フノガ、却テ制度トシテハ宜クハナイカト思ヒマスガ、併シ一方カラ云フト役人ノ功勞者ト自治體ノ功勞者ト區別ノアルガ、一層其方ノ側ノ勵ミニナッテ宜シイト云フヤウナコトモ、或ハ考慮スベキデアアルカモ知レマセヌ、是ハ私ハ只今ノ所デハ何方ガ宜シイトモマダ自分ノ考ハ定リマセヌ、御説ガアリマシタ故ニ其事モ考慮ノ中ニ入レテ考究致スコトニシタイト思ヒマス、要スルニ町村長ノ待遇ヲ好クスル、之ニ對シテ國家カラ相當其地位ヲ認承スルヤウナコトニセナケレバナラヌト云フ御趣旨ハ、全然私モ同感デアアルノデアリマス

○大口委員 モウ二ツバカリ承リタイ、續イテ承リタイノハ、是モ同僚諸君カラ頻ニ質問ガアリ、應答ガアリマシタガ、私トシテハマダ要領ヲ得テ居ラヌヤウニ思ヒマスカラ、此際内務大臣ニ伺ヒタイノデアリマス、ソレハ府縣ノ原案執行ノ問題デアリマスガ、ドウモ原案執行ト云フコトヲ最初府縣制ニ設ケラレマシタ當時ハ、今日程極端ト申シテハ語弊ガアリマセウガ、サウ激シク原案執行ト云フコトガ用ヒラルベキモノデナイト吾々ハ信ジテ居ッタノデアアル、是ハ餘程稀有ナコトデ、萬々已ムヲ得ザル場合ニ行ハルル所ノモノデアラウト考ヘテ居ッタノデアリマスガ、近年ハ大分度數モ激シクナリ、數モ激シクナッテ參ッヤウデアアル、所ガ私ハ見樣ガ少シ違フノデ、觀察スル方面ガ少シク違フノデアッテ、是ハ知事ガ原案執行ヲ強テ政府ノ方ニ願ッテ、政府ガ之ニ盛ニ許可ヲ與ヘラルルト云フヨリモ、斯ウ云フ場合モアリハシナイカ、府縣會ト云フモノガ既ニ是ハ原案執行デ行ケルモノデアアルト云フコトヲ豫想シテ、ドウセ原案執行ニナルモノデアアルカラト云フ所カラ、二派ナリ三派ナリアレバ、其派ガ銘々都合ノコトヲ好イ爭ッテシマッテ、銘々ノ立場ノ好イヤウナ爭フシテシマッテ、原案ハ假令通ラナクラモ、決議セズニ終ッテモ、原案執行ニナルカラ宜イト云フノデ、却テソレガ爲ニ府縣會ノ政爭ト云フカ、黨爭ト云フカ、ソレガ激シクナルヤウナ情勢ヲ一面ニ認メザルヲ得ナイデハナイカ

ト思フ、即チ眞面目ニ爭ッテ其結果遂ニ是ガ否決ニナッテ其否決ニナッタ結果ガ公益ノ上ニ惡イカラト云フノデ、原案執行ヲセラルルニ非ズシテ、只今申シタヤウナ事情ヲ認メザルヲ得ザル場合ガ全國ノ府縣會ノ上ニ屢アルヤウニ私ハ感ズル、ソレハ此原案執行ト云フモノガ容易ク出來ルト云フコトヲ見越シタ結果デアリマスカラ、一面ニ於テ知事ガ自分ノ出シタモノガ通ラナケレバ、原案執行デ押付ケルト云フ此弊害モアルニ違ヒナイ、是モ伏在シテ居ルガ、一面デハ只今ノヤウナ議會會其モノニモ此原案執行ヲ見越シテ起ル所ノ弊害モアルカラ、今日ノ如キ場合ニハ此原案執行ト云フ箇條ヲ一層削ッテシマッタナラバ、却テ府縣會ト云フヤウナヨノヲ眞面目ニナリハシナイカト私ハ考ヘル節ガアルノデアリマスガ、之ニ對スル内務大臣ノ御見解ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○若槻國務大臣 原案執行ガ例外デアリマスコトハ御説ノ通りデアリマス、例外規定デアリマスガ故ニ容易ニ適用スベキモノデナイト云フコトモ、是ハ申上ゲルマデモアリマセヌ、唯事實ニ於テ原案執行ヲ致ス場合モアリマス、致サザルベカラザル場合モアリマス、是モ私ハ甚ダ遺憾トスルノデアリマス、是ハ何レ長官ト府縣會トノ見ラレル所ノ差違カラ起ルノデアアルケレドモ、其間ニハドウモ黨派ノ關係カラシテ、幾分判斷ヲ事情ノ爲ニ枉ゲタ決議ガ、アルト云フコトガ原案ヲ執行セナケレバナラヌ所ノ主ナ原因ト私ハ認メテ居ルノデアリマス、從前ノ事ハ能ク存ジマセヌガ、私ノ就職シタ以後ニ於テモ原案執行ノ上申ガアリマシテ、之ヲ許シタモノハ可ナリアルノデアリマス、其中ニハ縣會デ全然決議セラレナイモノモアリマシタ、又中ニハ私ノ認メテ相當デアアルト思フ原案ニ對シテソレガ容レラレナイデアアルモノガアリマス、又ソレガ甚シク變更セラレテ、其變更セラレタ通りデハ實行シテ行クト云フコトガ地方ノ利益ニハ大ニ反スルト認メラレルモノモアリマス、ト云フヤウナ次第デアリマシテ、是ノ多イコトハ私ハ甚ダ遺憾ノコトデアラウト思ヒマス、斯様ナ事ハ成ベク少ナイコトヲ望ムノデアリマスガ、既往ノ實績カラ見マシテ、全然削ッタラソンナラドウカ、サウナッタラ私ハ餘程實際ニ不適合ナルモノガ方々ニ現ハレテ來ルヤウニナリハシナイカ、アレバ原案執行ヲ頼ミニシテ、態々偏頗ナ決議ヲスルト云フ御觀察モ、若干サウ云フ場合モアルデアラウト思ヒマス、ソレヨリハ私ハ縣會ノ決議ガ事情ノ爲ニ適切ヲ缺イテ居ルト云フコトガ、是マデ私ノ關係シテ居ル所デハ實際多イト思ヒマス、多年此規定ヲ存シテ居ルノヲ茲ニ之ヲ削ッテシマフト云フコトハ、サウ一般ノ利益トシテハ取ラナイノデアリマ

ス
○大口委員 是デ私ハ内務大臣ニ對スル質問ハ止シマス、アトハ後ニ又順番ガ參ッテカラ御尋ヲ致シマス

○荒川委員長 只今松實君ト土屋君トガ簡單ニ若槻大臣ニ承リタイト希望ノ申出デガアリマシタカラ、大臣モ亦滿場諸君モ御承知ヲ願ヒマス——松實君○松實委員 私ハ先刻政府委員カラ伺ッタノデアリマスガ、ドウモ少シク自分ノ胸ニ落チンコトガアリマスカラ、内務大臣ノ御出席ヲ幸ニ質問ヲ許サレタイノデアリマス、其事ハ北海道々制ト申シマス、北海道ニ何故ニ府縣制ト同ジヤウナ北海道制ト云フヤウナ制度ヲ御制定ニナラヌカ、斯ウ云フコトデアリマス、御承知ノ如ク北海道ニハ北海道會法及北海道地方費法ト云フ二ツノ法律ガアリマシテ、サウシテソレヲ併セテ行キマス、府縣制ト稍同ジヤウナモノニナリマスケレドモ、又多少趣ノ變ッタ點モアルノデアリマス、今ヤ北海道ハ道會議員ノ數ガ五十五名ノ多キニ達シテ居ル、又豫算ノ如キモ一千餘萬圓ヲ超エテ居ル、又衆議院議員モ來ルベキ改正ノ選舉法ニ依リマス、二十名ニ達スルト云フヤウナコトデ、相當發達モシテ居ル、文化モ向上シテ居ル、廳立學校トシテ中學校始メ師範學校、高等女學校、工業學校、商業學校、商船學校併セテ四十餘校モアル、私今統計ハ持ッテ居リマセヌガ、ソレ位ニ達シテ

居ル、又益人口モ増加シ、又實力ニ於テモ既ニ北海道ノ大正十三年度ノ總收入ハ生産總額ノ如キハ五億餘萬圓ニモ達シテ居ルト云フヤウナ風ニ、著々今日ハ北海道ノ拓殖ハ進ンデ來テ居ル、又實力ニ於テモ——各町村各市ノ實力ニ於テモ、決シテ府縣市若クハ町村ニ讓ラナイヤウニナッテ來タト私ハ思フ、ソコニ於テ先刻モ何故ニ北海道制トカ、北海道法ト云フヤウナモノヲ制定ニナラヌカト云フ御尋ヲシタノデアリマシタガ、必ズシモ私ガ申上ゲタノガ原因デハナイガ、多ク私思フニ今國家ノ國費事業ヲ澤山ヤッテ居ル、北海道ヲ開發スル爲ニ國費事業ヲ澤山ヤッテ居ルカラ、マダ北海道ガ一人前ニナラヌカラ、故ニ先ッ此程度デ宜カラウト云フヤウナ風ニ考ヘテ居ルヤウニ思フ、併シ此地方費ノ關係カラ云フト、國庫カラ特別ニ補給シテ貰ッテ居ラス、補助シテ貰ッテ居ルト云フヤウナコトハシテ居ラス、一千餘萬圓ノ豫算ヲ持ッテ居リマスケレドモ、悉ク地方ノ負擔デアリマス、サウ云フヤウニ考ヘテ見マスルト、北海道ニ純粹ノ獨立即チ自治ヲ許サヌト云フコトデ、ドウシテモ私ハ此進シタル北海道トシテ甚ダ不都合ダと思ヒマス、ソレデ何故ニ此道制ヲ制定セラレナイカト云フコトト、モウ一ツハソレト稍似タコトデアリマスガ、北海道ノ町村制ト云フモノハ勅令ニ依テ規定サレルコトニナッテ居ル、是モ何故ニ法

律ニ依テ之ヲ規定シナイカ、此北海道ノ町村制ト云フモノハ非常ニソレハ一々指摘ハ致シマセヌ、時間ガナイカラ指摘ハ致シマセヌケレドモ、時代錯誤、時代ニ遅レテ居ルコトノ甚シイト云フコトハ内務當局能ク御承知ノコトデアリマス、何故ニ之ヲ早く今回ノ如キニ御提案ニナラヌカト云ヘバ、勅令デアラカト云フ、御尤デアリマス、勅令デアレバ議會ニ諮ル必要ハ勿論ナイケレドモ、若シ法律ニ依テ規定サレテ居ルモノナラバ、今回ノ如キモ共ニ之ヲ議會ニ諮ラナケレバナラス、先ノ現在ノ法規デサヘモ、町村制デサヘモ遅レテ居ルノニ、況ヤ又今度遅レル、先ニ五十歩遅レテ居ッタモノガ今度百歩ニナリ、二百歩遅レルト云フヤウナ形ニナル、是等ハ法律ニ依テ規定セラレヌ結果デアルト存ジテ居ルガ、是等ニ就テドウ御考ニナッテ居ルカ、先刻モ道制ノコトニ付テハ政府當局ニ就テ伺ッタガ要領ヲ得マセヌ、町村制ノコトハ大臣ガ御出席ニナリマシタカラ一ツ伺ヒマス

○若槻國務大臣 北海道ノ現制ハ御尋ニナリマス通り、幾ラカ變態ノ狀態ニアルノデアリマス、地方費法ト云フヤウナ地方費ト云フヤウナモノヲ何カ法人格ノヤウナモノニシテ、規定ヲ設ケテ居ルト云フコトハ、是ハドウシテモ稍變態デアルト申サナケレバナラスノデアリマスカラ、何時カ是ハ御質問ニナル通り、北海道ニ於テモ内地ノ府縣ノヤウナ工合ノ制度ニ變ヘル必要ハアラウト思ヒマス、其際ニハ北海道ト云フ全部デ行クノガ相當デアルノカ、或ハ區域ハ其中變ヘテ行クノガ相當デアルカ、サウ云フコトハマダ——攻究スル餘地ガアルデアラウト思ヒマス、唯今日ハ申上グルマデモナク、北海道ハマダ拓植事業ノ進行中デアリマシテ、マダ大ニ北海道拓殖ノコトヲヤッテ行カナケレバナラス關係カラ、洵ニ變態ナヤウナ形デアリマスケレドモ、地方費法ト云フモノガ存シテ行ハレテ居ルノデアリマス、是ハ矢張現在ノ狀況ニ於テ、マダ所謂本體ニマデ至ッテ居リマセヌガ、北海道ガ何モ非常ニ文化ニ遅レテ居ルトカ何トカ云フコトヲ考ヘテ、此様ニナッテ居ルト云フノデアリマセヌ、兎ニ角アノ廣大ナル地方ニシテマダ大ニ拓植事業ヲ進メナケレバナラズ、ソレガ爲ニ國ノ方カラモ餘程ナカラ彼處ニ加ヘルコトハ、各府縣ト事情ヲ異ニスルト云フヤウナ關係モアルノデアリマスカラ、今暫クハ此狀態デ進ンデ行ッタガ相當デアラウ、斯ウ云フノデ、只今御尋ニナルヤウナ北海道制トカ云フヤウナ工合ナ法律ヲ作ルコトハ致シマセナカッタヤウナ次第デアリマス、尙又北海道ノ一級町村、二級町村ト云フヤウナモノガ大ニ内地ノモノト規定ガ違ッテ居ッテ、洵ニ不都合デアル其點ハ政府デモ氣ガ附イテ居ルノデアリマシテ、何レ是ハ改正スル積リデ

アリマス、ソレカラ同時ニ又北海道ノ全體ノ自治制デモ改正シマス際ニハ、今御話ニナリマス通り、勅令デ規定セヌデ、法律デ規定スルト云フ所マデ進ムノガ當然デアルト私ハ認メテ居ルノデアリマス、併シソレハ全般ノ北海道ノ制度ヲ直シマス時ニ直シタラ宜シカラウト存ジマス、兎ニ角現行ノ勅令ハ是ハ大ニ改正スベキモノデアルト存ジマスカラ、此市町村制ノ改正ノ後ニ於テ勅令デ十分改正ヲ致ス考デアリマス

○松實委員 只今拓殖事業ヲ大ニヤラナケレバナラヌト云フ御話デアルカラ、私ハ先刻モ一寸簡單ニ申上ゲタノデアルガ、拓殖事業ヲヤルト云フコトト、北海道ニ地方自治ヲ完全ニ許スト云フコトトハ、是ハ別問題デアル、ソレデ即チ内務省トカ、地方政府トカ、或ハ地方ノ政客ガ北海道ヲ諒解シナイノハ其處ニアル、其處ニ根本ノ弊害ガアルト私ハ思フノデアリマス、是ハ決シテ北海道ノ問題デヤナイ此拓殖事業ト云フモノハソレヲ政府デヤル、或ハ地方ノ政治家ガ北海道ハ地方問題デアルカノ如ク解釋スルカラ、ソコデ拓殖費ト地方費ト云フモノニ混同ヲ來スノハ其處ニアル、是ハ意見ニナリマスガ、私ハ只今ノ總理大臣ノ意見ニハ満足ハ致シマセヌ

○土屋委員 私ハ昨日質問ヲ保留シテ置キマシタ所ガ、幸ニ今日ハ内務大臣

ガ——而モ内務大臣ノ方ハ兼任デ、今總理大臣トシテ御出席ニナッタノデアリマス、幸ノ機會トシテ御尋ヲ致シタイノデアリマスルガ、問題ハ全國ノ市町村全部ニ亙リ、金額ニ於テ約三億萬圓、五十年來ノ懸案デアリマシテ、此事ヲ承ルニハ少シ緩クリ時間ヲ拜借シテ十分ニ問答ヲ致シタイと思フノデアリマスガ、先程カラ貴族院ノ方カラ迎ヘガアルト云フノデ、大臣ハ頗ル落附イテ御居デニナラナイヤウニモ見エマスノデ、私ハ御協議ノ上デ外ノ機會デ、其際特ニ大臣ガ御出席ニナッテ私ノ質問ニ對シテ十分ニ應答下サルト云フコトデアリマスレバ、此場合ハ保留シテモ宜シウゴザイマスシ、ソレトモ貴族院ハ少シ待タシテモ、今此處デ御話ヲ御聽キ下サルト云フコトデアレバ、此場合ニ御尋シテモ宜シウゴザイマス

○若槻國務大臣 貴族院ハ各省大臣色色質問ガアリマシテ、若シ私ガ其答辯ノ順番ニ當ツテ居ラヌケレバ此處デ御答スルコトハ致シマスケレドモ、丁度今私ガ答辯セナケレバナラナイ質問ガ始マル所デアリマスカラ、ソレデ若シ外ノ機會デ御宜シカッタラバ、其方ニ讓ツテ戴クコトヲ希望致シマス

○土屋委員 總理大臣ト内務大臣トヲ御兼任ニナッテ非常ニ御多忙ノ所ト御察シシマスカラ、ソレデハ他ノ機會ニ緩クリ御尋致スコトニ致シマス

○荒川委員長 近藤君モサウ願ヒタイ

デスガ——ソレデハ工藤君ヘ戻リマシテ御質問アルヤウニ

○工藤委員 此立會人ノ問題デアリマスガ、立會人ノ規定ハ言フ迄モナク府縣制ニハ大ナル關係ヲ有スルモノデアリマス、私共ノ了解スル所ニ依ルト、立會人ガ缺グタ場合ニ於テハ、此規定ニ反スル選舉會ニナルガ、此場合ニ第三十五條ノ選舉ノ規定ニ違反スルト云フヤウナコトガアリマスルカラシテ、其關係ニ於テ立會人ガ若シ缺グタ場合ニ於テハ、所謂選舉ノ規定ニ反スルモノト私共ハ心得ル、併ナガラ立會人ガ缺グタ選舉ノ結果ニ影響ヲ及ボス場合ト云フモノハ極メテ少イダラウト思ハレルノデアリマス、然レドモ立會人ト云フモノガ選舉會ヲ構成スル上ニハ極メテ大切ナモノデアルカラ、隨テ之ヲ名譽職トシテ辭退ヲ許サヌコトニナッテ居ル、實際ノ問題トシテハ、或ハ立會人ノ缺グタ場合、定員ニ満たナイ場合ニハ、定員ト云フノハ之ニハナイヤウデスケレドモ、満たナイ場合ニ於テハ實際選舉ノ規定ニ違反スルニハ相違ナイガ、實際上ニハ選舉ノ結果ニ影響ヲ及ボスベキ場合ハ少イダラウト思ヒマス、選舉ノ結果ト云フモノハ往々ニシテ投票ノ數ニ關係アル場合ガ多イノデアリマスケレドモ、サウシマスト唯想像シ得ル場合ハ、立會人ヲ缺イダ時ニ投票シタルモノガ、或ル期間内ニ投票シタルモノノ數ハドノ位アルカト云フ實

際問題ヲ生ジテ、ソレダケノ數ヲ控除シ、或ハ其他ノ方法ニ依テ選舉ノ結果ニ影響デモアルモノト考ヘルカドウカ、實ハ其類例ハ多數納稅議員ノ中ニアルノデス、是ハ青森縣ニ起ッタ多額納稅議員ノ中ニサウ云フ例ガアリマス、サウ云フ點カラ私ハ法ノ不備ヲ認メテ居ルカラ御伺ヲ致シタイ、立會人ガ何カノ原因デ立會人タルコトヲ拒絕シテサウシテ、其席ヲ去ッタ、サウシテ或ル時間立會人ノ無カッタト云フコトモ事實デアル、サウシテ其立會人ノ無カッタ時間内ニ投票シタルモノノアッタカドウカト云フコトガ爭ニナル、併シ私共ハ此立會人ヲ缺イダ場合ハ、要スルニ選舉會ヲ構成スルニ必要ナル所ノ機關ヲ缺クコトデアリ、隨テ此規定ニ反スルモノトシテ相當重ク見テ居ルノデスケレドモ、斯ウ云フ場合ニ從來内務省ハドウ云フ處置ヲ執ツテ居リマスルカ、ソレヲ一ツ、又ソレニ關スル例デモアリマシタナラバ御示ヲ願ヒマス

○潮政府委員 立會人ガ定メラレマシタ人員ヲ缺キマシタ場合ニハ、ソレハ選舉ノ規定ニ違背スルト云フコトハ申サナケレバナラナイと思ヒマス、併シ斯ウ云フ事ハ折々從來アリマシテ、内務省ノ解釋ハ、立會人ガ缺ズテモ選舉ハ其儘ニ執行スルノ外ハナカルベシト云フ通牒ガ出シテアリマス、ソレガ爭ニナリマシタ場合ニハ、今御話ノヤウニ、ソレガ爲ニ事實選舉ノ公正ヲ缺イ

シタルモノノ數ハドノ位アルカト云フ實

際問題ヲ生ジテ、ソレダケノ數ヲ控除シ、或ハ其他ノ方法ニ依テ選舉ノ結果ニ影響デモアルモノト考ヘルカドウカ、實ハ其類例ハ多數納稅議員ノ中ニアルノデス、是ハ青森縣ニ起ッタ多額納稅議員ノ中ニサウ云フ例ガアリマス、サウ云フ點カラ私ハ法ノ不備ヲ認メテ居ルカラ御伺ヲ致シタイ、立會人ガ何カノ原因デ立會人タルコトヲ拒絕シテサウシテ、其席ヲ去ッタ、サウシテ或ル時間立會人ノ無カッタト云フコトモ事實デアル、サウシテ其立會人ノ無カッタ時間内ニ投票シタルモノノアッタカドウカト云フコトガ爭ニナル、併シ私共ハ此立會人ヲ缺イダ場合ハ、要スルニ選舉會ヲ構成スルニ必要ナル所ノ機關ヲ缺クコトデアリ、隨テ此規定ニ反スルモノトシテ相當重ク見テ居ルノデスケレドモ、斯ウ云フ場合ニ從來内務省ハドウ云フ處置ヲ執ツテ居リマスルカ、ソレヲ一ツ、又ソレニ關スル例デモアリマシタナラバ御示ヲ願ヒマス

○潮政府委員 立會人ガ定メラレマシタ人員ヲ缺キマシタ場合ニハ、ソレハ選舉ノ規定ニ違背スルト云フコトハ申サナケレバナラナイと思ヒマス、併シ斯ウ云フ事ハ折々從來アリマシテ、内務省ノ解釋ハ、立會人ガ缺ズテモ選舉ハ其儘ニ執行スルノ外ハナカルベシト云フ通牒ガ出シテアリマス、ソレガ爭ニナリマシタ場合ニハ、今御話ノヤウニ、ソレガ爲ニ事實選舉ノ公正ヲ缺イ

シタルモノノ數ハドノ位アルカト云フ實

タト云フコトガアレバ兎モ角モ、裁判所ニ致シマシテモ、亦規定ニ違背シテ居リマシテモ、其間ニ選舉ノ自由公正ヲ缺イタト云フ事實ガ無イ限リハ、選舉ヲ無効ト致スベキモノデナイト云フ判例ガ下ッテ居ルヤウデアリマス、青森縣ノ多額納稅議員ノ件ハ、今貴族院ノ資格審査委員ニ掛ッテ居リマス、事ガ餘リニ近接致シテ居リマスカラ、詳シイ事ハ申兼ネマス、貴族院ノ審判ニ俟ツ外ハナイト存ジマスガ、又私共ガ事實ニ付テ調ベマシタ所ガ、立會人ヲ一時缺キマシタコトハ缺キマシタ、併シ其間ニ於テ投票ヲ爲シタル者無シト云フ事實ヲ知事ガ上申致シテ居リマスカラ、内務當局ハ其事實ヲ只今ノ所デハ信憑致シテ居ルノデアリマス、併シ判決ノ結果ハ貴族院ヲ信賴致シマシテ、其方ニ御任セテ致スノ外ハアリマセヌ

ヒマスガ、何カ之ニ就テハ、澤山アルモノデナイカラシテ、其元ノ住所ノ方カラデモ、投票區ノ市長或ハ町村長カラデモ、轉勤先ノ當該廳ニ之ヲ通知スルト云フヤウナ方法デモアリマシタナラバ、ソレガ救ハレルト思ヒマスガ、斯ウ云フ場合ニハ實際選舉シテ居ナイヤウデアリマスガ、内務省デハドウ云フ風ニ考ヘテ居ラレマスルカ

○工藤委員 ソレカラ實際問題デアリマスガ、地方ノ選舉ノ場合ニ官吏若クハ其他會社員ナドガ轉勤スルガ爲ニ、選舉權ヲ住居ノ規定ニ依テ、失フコトガアリマス、府縣會ノ選舉權ヲ有シテ居ル者ナレバ、縱令他ノ選舉區ニ轉勤致シマシテモ、何カ之ニ選舉ヲ行ハシムルヤウナ方法ハ無イモノデアアルカ、此點ニ關シテハ不備デアルト云フコトハ、從來選舉ノ實際ニ携ハッタ者ノ常ニ感シテ居ル所デアリマスケレドモ、今回ノ改正ノ場合ニ斯様ナモノ——是ハ第十八條ナドガ關係スルドラウト思

○潮政府委員 其問題ハ御尋ニナル通り、現行法及改正法ニ於テモ救済ノ規定ヲ設ケテアリマセヌ、ト申シマスルノハ、府縣會議員ノ選舉ノ基礎ト云フモノハ、今日デモ將來デモ矢張り町村ノ公民ト云フコトヲ基礎ニ置イテ居ルノデアリマシテ、公民權ヲ失ヘバ結局イカスト云フコトニナルノデアリマス、若シ救済スルトナレバ、一種ノ特別法ノ形ニナル、特別ノ形ニナレバ、是非常ニムヅカシイ問題デアリマシテ、其手續ヲ如何ニスルカ、又之ヲ官吏ノ轉勤シタ場合ニ限ル譯ニモナリマセヌノデ、是ハ後日ノ問題ニ移シテアリマス、又數ニ付テモ餘リ多クモアリマセヌノデ、今急ニ入レナケレバナラストモ考ヘナカッタノデアリマス

○工藤委員 第二十八條ノ、從來立會人ノ意見ヲ聽イテ投票ノ效力ヲ決定シマシタガ、之ヲ全然其選舉長ノ決定權ニ委セタト云フ理由ハ、何カ具體的ノ……

○荒川委員長 諸君ニ此際申上ゲマス、是迄ニモ同ジ事ニ付テ度々人ヲ代ヘテ質問モアリマシタケレドモ、各御本人ノ考ノ基礎モ違フカラ、成ベク御了解ヲ行クヤウニ之ヲ許シテ居リマシタ、所ガ餘リ重複スルト進行ノ妨ゲニナリマスカラ、其點ハ委員長ニ於テモ注意ヲ致シマシテ、明白ノ所ハ委員長カラ御注意申ス積リデアリマスガ、成ベク諸君モ重複ヲ避ケテ御進行ヲ願ヒマス

○工藤委員 前ニハ全部ニ互テノ質問デアリマシテ、今度ハ逐條デアリマスカラ、左様ナ横槍ハ御免ヲ蒙リマス

○工藤委員 第五十三條デアリマスガ、是ハ先刻一寸伺ヒマシテ、發言ノ半バニナリマシタガ、ドツチカ定メテ置キタイ

○工藤委員 第五十三條デアリマスガ、是ハ先刻一寸伺ヒマシテ、發言ノ半バニナリマシタガ、ドツチカ定メテ置キタイ

○工藤委員 只今ノ御説明デ能ク分リマシタガ、私ハ其爲ニ前カラ御斷リシタノデアリマス、成ベク進行シタイト云フ積リデアリマス、仍テ前ニ續行シマシテ、此五十三條デアリマスガ、「議長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之カ爲議員トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハス」ト云フコトガ新ニ加ハッタ（ソレモ濟ンダ」ト呼フ者アリ）是ハ前ニ申上ゲマシタ青森市ニ於テ極メテ適切ナル問題ガ起リマシタ、是ハ特ニ此問題ガ多少御考ガアッタヤウデアリマスカラ伺ヒマスガ、行政裁判所ガ九月二十九日判決シマシタ判決ニ依テ見マスルト、市會議長ハ市會議員カラ選舉スルノデアルケレドモ、議長トシテ其職務ヲ行フ場合同一ノ議事ニ關シテ議員トシテ表決權ヲ行使スルコトハ出來ナイト見長ハ、議長ノ職務ニ當リナガラ、同時ニ

「ソレハ僕ガ聽イタ」重複ダト

「重複シタ質問ハ止セ」委員長何方カハッキリ定メテ下サイ」ト呼フ者アリ」

「重複シタ質問ハ止セ」委員長何方カハッキリ定メテ下サイ」ト呼フ者アリ」

「重複シタ質問ハ止セ」委員長何方カハッキリ定メテ下サイ」ト呼フ者アリ」

議員トシテ議決ニ加ハリ、之ヲ表決ノ數ニ加算シタ結果、可否ガ同數ニナッタノデアル、更ニ議長トシテ此採決權ヲ行使シタト云フコトハ違法デアルト云フコトノ判決ニナツテ居リマス、斯ウ云フ適切ナル例ガアル、斯様ナル例モ考慮ノ中ニ加ヘラレテ、此改正案ガ出タモノデアリマセウカ、此點ニ對シテ一應確メテ置キマス

○淺賀委員 只今此議事進行ヲ促進スル爲ニ、成ベク重複ノ質問ヲ御互ニ避ケタイ、而シテ之ニ關シテ委員長ニ御一任トナツタノデアリマス、委員長ハ只今ノ工藤君ノ御質問ニ對シテハ、既ニ再三出タ問題デアリマスカテ、吾々同士デアリマスルケレドモ、委員長ニ於テハ他ノ關係上御注意ヲ願ヒタイ

○工藤委員 只今先輩淺賀君ノ御注意ハ洵ニ結構デアリマスガ、是ハ實ハ質問ガドノ程度マデ達シタカ知リマセヌガ、假ニ行政裁判所ノ近イ實例ヲ示シテ、御説明ヲ伺ッタカドウデアリマスカ、ドウカ委員長カラ御示ヲ願ヒタイノデアリマス、私共ハ將來斯様ナ問題ニ對スル例トシテ伺ッタノデアルカラ、斯様ナル例ニ付テ例ガアルカドウカ伺ヒタイ

○荒川委員長 是ハ工藤君ニ別ニ御説明致シマスカラ、此席ハ是レ限リニシテ措イテ、他ノ問題ニ移ラレタイ

○工藤委員 第三百三十三條、此點モ伺ッタカドウカ知リマセヌガ、伺ッタ方ガア

レバ御返事ハ頂戴致シマセヌ、此百三十三條ニ、內務大臣ノ許可ヲ受クベキ事項ノ中、第二學藝美術又ハ歷史上貴重ナル物件ヲ處分シ若ハ大ナル變更ヲ爲ス事、事柄ガ極メテ輕微ノヤウデアリマスガ、私共ガ地方ヲ親シク歩イテ見タ所ニ依ルト云フト、ドウモマダ市ノ理事者若クハ市會議員、其他市政ニ關係ノアル人ミデ、斯ウ云フ點ヲ理解シテ居ラナイ者ガ多イ、寧ロスウ云フヤウナモノハ監督官廳デ、日本ノ全體ノ文化ノ點カラ考ヘマシテ、內務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ必要トスルダラウト思ヒマス、此第二項アタリノ使用料ヲ新設スルトカ、増額スルトカ云フコトハ、寧ロ是ハ地方民自身ノ負擔ニナルカラ、中々今日ニ於テハヤカマシクナツテ居ルノデアルカラ、自然ニ地方自治生活ノ上カラ、斯ウ云フモノニ對シテハ相當ノ治マリヲ着ケルコトガ出來ル、所ガ第一項ノヤウニシテ居ルナラバ、何レ官吏ニ處置サレルヤウナ場合ガ多イノデアルカラ、識者ハ斯様ナ問題ニ相當ナル努力ヲ致シテ、理事者ノ處置ヲ非難シテモ、容易ニ之ヲ改メルコトガ出來ナイ、市町村會議員ニ理解ガナイ、サウ云フヤウニ主要地位ニ居ル者ガ理解ガ無イカラ、矢張是ハ監督官廳デ相當監督シテ、サウシテ我國ノ文化ノ上カラ、斯様ナモノガ矢張此監督官廳ノ許可ナリ、認可ナリヲ得ル途ヲ開イテ置クコトハ必要デハナイカト

考ヘル、此點ニ付テドウ云フ根據ガアリマスカ、伺ッテ置キタイ

○潮政府委員 只今ノ御尋ハ、一面カラ考ヘマスト洵ニ御尤ト思ヒマス、併シ府縣制ナリ市町村制ヲ施行シタ當初ニ於テナラバ兎モ角、今日ハ或ハ史蹟名勝天然紀念物ニ關スル思想、一方ニ於テハ國民ノ思想ガ荒ミマスルト同時ニ、又歷史上ノ事ヲ研究スル思想モ國民ノ間ニ瀰漫シテ居リマスカラ、大體ニ於テ是等ニ關シテハ內務大臣ノ許可ヲ受ケマセヌデモ、或ハ府縣ナリ市町村ナリニ委セマシテモ、一般ニ理解ガ出來テ居リマスカラ、サマデ、監督致ス必要ハナカラウト考ヘマス、色々調べテ見マスルト、此條項ヲ適用シタモノハ殆ド無イ、少クトモ私共ガ調べマシタ所デハ一回モ無イ、此規定ハ恐ラク「プロイセン」邊リデ、昔ノ名畫ヲ公共團體ガ持ッテ居ルト云フヤウナ所カラ出テ來タモノデハナイカ、起源ハソレデハナイカ、固ヨリ大事デハアルガ、實際ニ於テ適用スル場合、又大事ナ物ヲ持ッテ居リマシテ、之ヲ始末スル時ニハ、町村會デヤラウトシマシテモ、若シ町村民ノ理解ガナケレバ出來マセヌ、其處カラシテ地方ニ委セタラ宜カラウト云フノデ廢メタノデアリマス

○大口委員 私ハ先ヅ第一條カラ四條ノ間デ承リタイノデアリマスルガ、先日ノ質問ハ留保シテアリマスガ、此郡ト云フコトニ對シテ、郡ヲ全廢ナサツテ、果シテ將來行政上ニ差支ヲ生ジナイカ、政府全體ノ御意見ハ如何デアアルカ、之ニ對シテ御答ヲ先ヅ願フガ順序デアリマス

○潮政府委員 折角政府全體ノ意見ヲト云フ御話デアリマシタノデ、法制局ノ當局トモ、又內務省ノ當局トモ、相談ヲ致シテ居リマシラ、今日場合ニ依レバ少クトモ政務次官アタリカラ御返事ヲシヤウト云フコトニナツテ居リマス、大體協議致シタ結果ハ、選舉法ニ關係スルヤウナ問題ハ、矢張郡ト云フモノガ一般ノ行政區劃トシテ無クナル以上ハ、是ハ濫リニ動カシタクナイ、ソレヲ動カシマシテハ異議ガ起リマス、ソレヲシタル區域ト云フヤウニシタイ、或ハ其必要ノ無イ場合ニハ、町村ヲ基礎ニシテ置クヤウニ改正ヲ致シマシタ、併シ他ノ法令ニ於キマシテ御指摘モアリマシタト思ヒマスガ、戶籍デアリマストカ、斯ウ云フモノニハ矢張何縣何村デハ、場合ニ依ルト間違ガ起リマス、斯ウ云フモノハ戶籍法施行規則等ニ標準ガ示シテアリマス、樣式ガ示シテゴザイマス、其中ニハ矢張將來ハ地理的郡ト云フモノヲ戶籍法ノ上ニ認メテ利用シテ行クコトハ、一向差支ナイト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ又勅令以下等ニ於キマシテモ、何等カノ名義ヲ以テ、將來此地理的郡ヲ擱ヘテ行クコトガ必要トナラバ、矢張勅令以下ニ

レバ御返事ハ頂戴致シマセヌ、此百三十三條ニ、內務大臣ノ許可ヲ受クベキ事項ノ中、第二學藝美術又ハ歷史上貴重ナル物件ヲ處分シ若ハ大ナル變更ヲ爲ス事、事柄ガ極メテ輕微ノヤウデアリマスガ、私共ガ地方ヲ親シク歩イテ見タ所ニ依ルト云フト、ドウモマダ市ノ理事者若クハ市會議員、其他市政ニ關係ノアル人ミデ、斯ウ云フ點ヲ理解シテ居ラナイ者ガ多イ、寧ロスウ云フヤウナモノハ監督官廳デ、日本ノ全體ノ文化ノ點カラ考ヘマシテ、內務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ必要トスルダラウト思ヒマス、此第二項アタリノ使用料ヲ新設スルトカ、増額スルトカ云フコトハ、寧ロ是ハ地方民自身ノ負擔ニナルカラ、中々今日ニ於テハヤカマシクナツテ居ルノデアルカラ、自然ニ地方自治生活ノ上カラ、斯ウ云フモノニ對シテハ相當ノ治マリヲ着ケルコトガ出來ル、所ガ第一項ノヤウニシテ居ルナラバ、何レ官吏ニ處置サレルヤウナ場合ガ多イノデアルカラ、識者ハ斯様ナ問題ニ相當ナル努力ヲ致シテ、理事者ノ處置ヲ非難シテモ、容易ニ之ヲ改メルコトガ出來ナイ、市町村會議員ニ理解ガナイ、サウ云フヤウニ主要地位ニ居ル者ガ理解ガ無イカラ、矢張是ハ監督官廳デ相當監督シテ、サウシテ我國ノ文化ノ上カラ、斯様ナモノガ矢張此監督官廳ノ許可ナリ、認可ナリヲ得ル途ヲ開イテ置クコトハ必要デハナイカト

考ヘル、此點ニ付テドウ云フ根據ガアリマスカ、伺ッテ置キタイ

○潮政府委員 只今ノ御尋ハ、一面カラ考ヘマスト洵ニ御尤ト思ヒマス、併シ府縣制ナリ市町村制ヲ施行シタ當初ニ於テナラバ兎モ角、今日ハ或ハ史蹟名勝天然紀念物ニ關スル思想、一方ニ於テハ國民ノ思想ガ荒ミマスルト同時ニ、又歷史上ノ事ヲ研究スル思想モ國民ノ間ニ瀰漫シテ居リマスカラ、大體ニ於テ是等ニ關シテハ內務大臣ノ許可ヲ受ケマセヌデモ、或ハ府縣ナリ市町村ナリニ委セマシテモ、一般ニ理解ガ出來テ居リマスカラ、サマデ、監督致ス必要ハナカラウト考ヘマス、色々調べテ見マスルト、此條項ヲ適用シタモノハ殆ド無イ、少クトモ私共ガ調べマシタ所デハ一回モ無イ、此規定ハ恐ラク「プロイセン」邊リデ、昔ノ名畫ヲ公共團體ガ持ッテ居ルト云フヤウナ所カラ出テ來タモノデハナイカ、起源ハソレデハナイカ、固ヨリ大事デハアルガ、實際ニ於テ適用スル場合、又大事ナ物ヲ持ッテ居リマシテ、之ヲ始末スル時ニハ、町村會デヤラウトシマシテモ、若シ町村民ノ理解ガナケレバ出來マセヌ、其處カラシテ地方ニ委セタラ宜カラウト云フノデ廢メタノデアリマス

○大口委員 私ハ先ヅ第一條カラ四條ノ間デ承リタイノデアリマスルガ、先日ノ質問ハ留保シテアリマスガ、此郡ト云フコトニ對シテ、郡ヲ全廢ナサツテ、果シテ將來行政上ニ差支ヲ生ジナイカ、政府全體ノ御意見ハ如何デアアルカ、之ニ對シテ御答ヲ先ヅ願フガ順序デアリマス

○潮政府委員 折角政府全體ノ意見ヲト云フ御話デアリマシタノデ、法制局ノ當局トモ、又內務省ノ當局トモ、相談ヲ致シテ居リマシラ、今日場合ニ依レバ少クトモ政務次官アタリカラ御返事ヲシヤウト云フコトニナツテ居リマス、大體協議致シタ結果ハ、選舉法ニ關係スルヤウナ問題ハ、矢張郡ト云フモノガ一般ノ行政區劃トシテ無クナル以上ハ、是ハ濫リニ動カシタクナイ、ソレヲ動カシマシテハ異議ガ起リマス、ソレヲシタル區域ト云フヤウニシタイ、或ハ其必要ノ無イ場合ニハ、町村ヲ基礎ニシテ置クヤウニ改正ヲ致シマシタ、併シ他ノ法令ニ於キマシテ御指摘モアリマシタト思ヒマスガ、戶籍デアリマストカ、斯ウ云フモノニハ矢張何縣何村デハ、場合ニ依ルト間違ガ起リマス、斯ウ云フモノハ戶籍法施行規則等ニ標準ガ示シテアリマス、樣式ガ示シテゴザイマス、其中ニハ矢張將來ハ地理的郡ト云フモノヲ戶籍法ノ上ニ認メテ利用シテ行クコトハ、一向差支ナイト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ又勅令以下等ニ於キマシテモ、何等カノ名義ヲ以テ、將來此地理的郡ヲ擱ヘテ行クコトガ必要トナラバ、矢張勅令以下ニ

於テ相當ノ改正ヲ加ヘテ、全然郡役所ヲ廢シマシテモ、矢張地理的郡ヲ或ル場合ニ於テハ之ヲ利用致スト申シマセウカ、其必要アル場合モアルヤウデアリマス

○大口委員 サウナルト此地理的郡ヲ存續スルコトノ必要デアルト云フコトハ私共ト意見ガ一致スルヤテデアリマス、其結果ハ地理的郡ヲ或ハ廢シ、或ハ合併スルト云フコトモ起ラウト思フ、サウ云フコトハ勅令デモ出サレル御考デアリマセウカト云フコトヲ一ツ承リタイノト、ソレニ關聯シテ承リタイノハ、今回法律ノ上デ郡ト云フモノヲ削ラレテ市町村トスレバ、及島嶼トアルヲ削レテモ宜イト思ヒマス、唯島嶼ダケヲ殘サレタ譯ガ私共ニハ分ラナイ、其御説明ヲ兩方願ヒタイ

○潮政府委員 第一ノ御尋ノ如ク、地理的郡ノ分合トカ云フコトハ、是非ハ非常ニ研究ノ餘地モアリマスシ、問題ダト存ジマス、只今マデ考ヘテ居リマス所デハ、ドウモ地理的郡トカ、國トカ、村トカ云フコトハ、法令ノ力ヲ以テ分合ヲ致スベキモノデハナイト思ヒマス、申サバ國民ノ確信デ地理的郡ガ決ッテ居リマスノデ、法規ノ力ヲ以テ地理的郡ノ分合ハ出來ヌモノデハナイカト考ヘテ居リマス、ソレカラ市町村ト直スノニ、島嶼ハドウシタカト云フ御尋デアリマスガ、此島嶼ハ市町村制ヲ布イテ居リマセヌガ爲ニ——市町村ト申シ

マスレバ、市町村制ヲ布イタ市町村ヲ申シテ居リマスルガ、島嶼ニ於キマシテハ、斯様ナ完全ナル制度ガ布イテゴザイマセヌカラ、是ハ致方ナク島嶼ト云フ字ヲ其儘存置シタノデアリマス

○大口委員 第二ノ問ニ對シテハ、ソレデ能ク了解シマシタガ、第一ノ問ニ對シテハ、私疑問ヲ益深クスルノデアリマス、地理郡ト云フモノハ法令ノ力デ變ヘルコトハ出來ナイ、自然ニ委セルト云フコトニナツテ來ルト、矢張戶籍法其他ニ於テ郡ト云フモノハ使ヘナイト云フコトニナツテ來ルト私ハ思フ、詰リ郡ト云フノガ變更ヲ來セバ、其郡ノ中ニ矢張町村ガアルノデアリマスカラシテ、其間ニ變更ヲ來シテ來ルコトハ當然デアリマスカラ、矢張郡ト云フモノノ配置分合ニ對スル勅令デモ宜カラウト思フガ、何カナイト是ハ將來困ル事ヲ生ズルト思フ、攻撃スル意味デモ何デモナイ、將來困ラウト思ヒマスカラ、實際困ルナラバ此法令ノ上ニ上手ニ殘シタイト思フガ、勅令カ何カ適當ナ方法デ定マルナラバ考慮シテモ宜イ、斯ウ云フ意味カラ其根本ヲ確メタイ爲ニ承ルノデアリマスカラ、ドウゾ分ルヤウニ——

○潮政府委員 御懸念ハ御尤ダト思フノデアリマス、ソレデ私共モ地理郡ハ、例ヘバ戶籍關係デ其地理郡ノ境ナドニ於キマスル町村、其町村ノ合併變更ハ

町村制デ出來マスカラ、ソレヲシタヤウナ場合ニ、或ル場合ニハ將來ノ一箇村ガ地理郡ノ二ツニ跨ルト云フヤウナ事モ起リハセヌカト思フ、ソレハドウモ已ムヲ得ナイデヤナイカト思フテ居リマス、ソレハ戶籍ノ如ク何郡何村ト書イテ行キマシテ、豈圖ランヤ、其村ナルモノガ從來ノ甲郡デアッタ所ト乙郡デアッタ所ノ地域ガ集ッテ一村ヲ成シテ居リマスカラ、村ハ一ツデアッテ郡ハ二ツダト云フコトガ起リ得ルノデアリマス、其内ニ又地方觀念ニ依リマシテ、其地理郡ト云フモノガ一緒ニナルト云フ時期ガ來レバ、ソレハ其儘デ一郡ニシテ宜イノデアリマセウケレドモ、ドウモ政府ノ力、法令ノ力デ之ヲ決定スルト云フコトハ、非常ニムツカシイ事ダラウト思ヒマス

○大口委員 是ハ餘程大切ナ事デアリマスガ、政府ノ御答ハ、ドウモ私ハ益諒解ニ苦シムモノデアリマスガ、今市ト云フモノノ中ニ大字ガアル是ハ明ニ使ッテ居ッテ、何モ市何町トナツテ居ル所モアルガ、相變ラズ何モ市大字何モトナツテ居ル、是モズット戶籍、地籍ノ上ニ存續シテ居リマスカラ、ソレハ洵ニ便利ニ行ッテ居ル、ソレヲ變更スル場合ナドハ、無論勅令ノ規定ニ依テ居リマスガ、併シ市制町村制ノ中ニモ、ソレヲ區トシテ認メテ居ル、即チ其自治體ノ中ノ一ツノ行政區ガ——完全ナル行政區劃デハアリマセヌガ、其中ノ一ツノ區

劃トシテ、之ヲ明瞭ニ法令デ認メテ居ル、ソレデアルカラ是ハ工合宜ク運用ガ出來テ居ル、ソレダカラ府縣ト云フモノガアッテ、郡役所、郡長郡制ハ無クナツテモ、府縣ノ中ニ郡ト云フ一ツノ獨立シタ行政區劃デハナイガ、一種ノ區劃ガアルコトハ、ドウシテモ法令デ之ヲ認メナケレバナラヌト私ハ思フ、其中ニ町村ガアル、行政區劃トシテハ府縣市町村デアッテ、自治體トシテハ府縣ト云フ自治體ト、市町村ト云フ自治體トデアルケレドモ、其府縣ト云フ大キイ自治體ノ中ニ郡ト云フ一ツノ、恰モ市ニ於ケル區ノ如キモノヲ法令デ認メテ置カナイト、是ハ戶籍、地籍、兵事ノ關係、總テニ私ハ困ルト思フ、之ヲ自然ノ成行ニ委セテ、サウシテ同ジ村ノ中ニ甲郡乙郡ガアルト云ヘバ、何モ郡何村ト書ケバ宜イカ、何方ヲ書イテ宜イカ分ラナイト云フ事實ヲ玆ニ生ズル、ソレガ自然ニ分ッテ來ルカラト言ウテ居ッタノデハイカヌ、法令デ決メナケレバ之ヲ使フ譯ニ行カナイ、戶籍ニシロ、地籍ニシロ、戶籍、地籍ヲドウ書ケバ宜イカト云フコトニナル、絶對ニ郡ト云フモノヲ廢止シテ、歴史的ノモノトシテ郡ヲ存在シテ置クモノナラバソレハ宜シイケレドモ、サウナルト事實困ッテ來ル、愛知縣何モ村ト云フノガ二ツモ三ツモアルカモ知レナイカラ、ドウシテモ郡ハ書カナケレバナラヌ、ソレデアルカラ郡制ヲ廢止セラレ、郡役所ヲ

廢止セラレ、完全ナル行政區劃ハナイガ、府縣ト云フ自治體ノ中ニ郡ト云フ區劃ハ、矢張法令ヲ認メテ置カナケレバ、私ハドウシテモ困ルト思フ、是ハ決シテ政府ヲ攻撃シ、法令ノ缺點ヲ指摘シヤウト云フノデハナイ、實際ニ於テ困ルト思フカラ質問スルノデアリマスガ、是ハ大分入組ンデ大切ナ事デカラ、此處デ質問應答ヲ重ネテ見テモ、ドウモ直ニ判然シナイカモ知レマセヌデ、後ニ一ツ私ハ懇談ヲシテ能ク了解ヲ得マセウ、サウシテ私ハ此原案ヲ可決スルカ、修正ヲセネバナラヌカト云フコトヲ決心致シタイト思ヒマスカラ、此問題ハ其意味デ之ヲ「打切りマス、承服シテ打切ル譯デハアリマセヌ、ソレカラ次ニ第九條ノ疑問ヲ解キタイト思フノデアリマス、九條ハ御尤ナ改正デアリマスケレドモ、改正ノ仕方ガ私ハ惡クハナイカト思フ、或ハ立法ノ技術ト云ヒマスカニ屬シマスカ、第二項ニ於テ「町村制第三十八條ノ町村ニ於テハ同法第十八條乃至第十八條ノ五ノ規定ニ準シ選舉人名簿ヲ調製スヘシ」トアルノダガ、是ハ選舉人名簿ト云フノハドウ云フ譯デアリマセウカ選舉人名簿トハドンナモノデアアルカト云フ、斯ウ云フ問題ガアルノデアリマス、即チ同法トアルノハ、町村制ヲ云フノデアリマセウカラ、町村制ノ十八條乃至十八條ノ五ハ、町村會議員ノ選舉人名簿ヲ作ル所ノ規定デアリマス、其規定デ町

村會議員ヲ選舉シナイ、先刻質問ノアツタ多分蘆ノ湯村ニ適用サレルモノ、足柄下郡蘆ノ湯村ニ限ッテ適用サレル所ノ其村ハ、町村會議員ト云フモノハ絶對ニ無イ、無イモノニ對シテ選舉人名簿ヲ調製スベシト命ズルノハ訝シイデハアリマセヌカ、選舉人名簿ノ調製ヲ命ゼラレル筈ハナイ、是ハ餘程オカシイ、サウシテ後ヘ持ッテ行ッテ「前項ノ選舉人名簿ハ之ヲ町村會議員選舉人名簿ト看做シ第一項ノ規定ヲ適用ス」トアル、是ハ餘程苦シマレタ結果デアリマセウカラ御察シハ致シマスカ、私ハ斯ウ云フ意味デヤナイカト思フ、第九條ノ正文ニ於テ「府縣會議員ノ選舉ハ其ノ府縣内ニ於ケル市町村會議員選舉人名簿ニ依リ之ヲ行フ、但町村制第三十八條ノ町村ニ於テハ同法第十八條乃至第十八條ノ五ノ規定ニ準シ府縣會議員選舉人名簿ヲ調製スヘシ」ト云フ意味デアラウト思フ、サウナラナイト、第二項ガ意味ガ當ラナイ、選舉人名簿ヲ調製スベシ、選舉人名簿ノ五文字ガ洵ニ私ハ道理ヲ得テ居ナイト思フ、如何ナモノデアリマセウカ、斯ウシテ置イテ、第三項デハ無論第一項ニ倣メヤウトナサツタノデアリマスケレドモ、第二項ノ選舉人名簿ヲ調製スベシト云フコトガ理窟ニ嵌ラナイト思フガ、如何デアリマセウカ

○潮政府委員 是ハサウ御覽ニナルノモ御尤デアリマスカ、兎ニ角三十八條ノ町村ニ於テハ何等名簿ノ問題ハ起ラナイ、仍テ何トカ此村ノ選舉ニ關スル名前ガナケレバ、第九條第一項ニ持ッテ行ッテ神奈川縣會議員ノ選舉ハ出來ナイト云フコトニナリマスルカラ、ソレデ町村制第三十八條ノ規定デハ、是レ々々ノ規定ニ準ジテ、詰リ普通町村ノ作ルヤウナ選舉人名簿ヲ作ル、併シ其人名簿ハ三項ヲ以テ第一項ノ市町村會議員選舉人名簿ト看做スト斷ラントシ、第一項ノ市町村選舉人名簿ニ行カナイト云フ事デアリマス、趣旨ニ於テハ異ッテハ居ラヌト思ヒマス、或ハ法文ノ書キ方ガ三段ニ考ヘテ行ッタコトガ、却ッテ分リ難イト云フ仰セデアルカモ知レマセヌケレドモ、立案ノ趣旨ハサウ云フモノデアリマス

○大口委員 立案ノ趣旨ハサウデアラウト思ッテ、推察ノ通りデアリマスカ、法文ノ書キ方ニ付テハ少シ異論ガアリマスケレドモ、ソレハ又別ニ申述ベル、次ニ第十八條ニ對シテ承リタイノデアリマスカ、是ハ先般ノ十八條ノ九ト、ソレカラ十八條ノ二ト三トノ關係デアリマス、即チ此前ニハ大體私質問致シタ時ニ留保シテ細カイ事ニ這入ルカラシテ、是ハ逐條ノ時ニ質問スルト申シテ置イタノデアリマスカ、其時ニ手續カラ申スト斯ウ云フコトニナルデセウカ、此點ヲ承レバ直ニ了解スルト思ヒマスカ、先ヅ承リタイノハ第十八條ノ九デアリマス、今度十二ナル、「選舉人名簿調製ノ後選舉人其ノ投票區域外ニ住居ヲ移シタル場合ニ於テ仍選舉權ヲ有スルトキハ」トアリマスカ、此仍選舉權ヲ有スルト云フトキハ、市長トカ助役トカ云フヤウナ公吏ニナッテ、特ニ公民權ヲ得タ人ヨリ外ニナイ意味デアリマセウカ、其範圍ヲ承リタイ

○潮政府委員 同條文ハ十八條ノ新シイ十デスカ、今ノ御尋ノ仍選舉權ヲ有スルト云フノハ、サウ云フ人ノ意味デハナイ、斯ウ云フ場合ナノデアリマス、實例ヲ申シマスト、東京ナラバ住所ヲ移動シマシテモ、市民デアル以上ハ公民權ヲ持ッテ居ル、即チ仍選舉權ヲ有スル、區ト區ノ間ノ住所ノ移動ハ間ハナイノダ、ソレカラ町村ニ致シマスト、是ハ例外デアリマセウガ、投票區ヲ分ケルト云フ時ニ町村内ニ居リサヘスレバ、公民權ハアリマスカ、甲ノ區ト乙ノ區ト區ガ移ッテモ、ソレガ元ノ區ノ投票區ニ行キサヘスレバ投票ガ出來ル、斯ウ云フ趣旨ナノデアリマス

○大口委員 洵ニ其點ハ能ク分リマシタ、サウスルト十八條ノ二ノ三ニ、何トカ相當書イテ置カナイト、只今私ノ質問シタ條項ト比ベテ、私ノ思フヤウナ疑問ガ直ニ起ルト思フ、即チ十八條ノ二ノ三ハ、同府内ニ於テ第何條々々ニ依テ、即チ市長トカ助役トカ云フモノニナツタ結果當然公民權ヲ得、其法文ヲ書イテ、第何條ニ依ル二以上ノ市町村ニ於テ公民權ヲ有スル者ト、斯ウ云フ

コトガ入ラナイト、此箇條ヲ新ニ加ヘラレタガ爲ニ、今私ガ質問ヲシタ十八條ノ新ニナッタ箇條ノ解釋上、非常ニ迷ヒヲ生ズルト思ヒマスガ、如何デアリマセウカ、私ガ法令ノ知識ガナイカラ惑ヒガ生ズルノカ、迷ヒヲ生ズルノガ常識デアルカハ分ラナイケレドモ、今迄ハナカッタ、十八條ニ二ノ三ガナカッタカラ迷ヒヲ生ジナカッタガ、却テ十八條ノ二ノ三ガ出來タ結果、非常ニ迷ヒガ生ズルヤウニ思ヒマスガ、如何デアリマセウカ

○潮政府委員 此點ハ斯ウ申上ゲタナラバ御疑ガ晴レハシナイカト思フ、十八條ノ二ノ三項ハ、同府縣内ニ於ケル二以上ノ市町村ニ於テ公民權ヲ有スルト書イテゴザイマスカラ、公民權ガ二箇アルト云フ條文デアリマス、其二箇アル場合ハ住所ハ一ツデアリマスカラ、職ニ就イタ爲ニ公民トナルカラ、初メテ二以上ガ出來タ、ダカラ是デ置キマシテモ御趣意ニ變リハアリマセウケレドモ、二以上公民權ガアル場合ヲ分柝シテ行キマスレバ、今申上ゲル場合ノ外ナイカラ、其時ニ住所地ノ一方デサセルト、斯ウ申シタラ御諒解下サルト思ヒマス

○大口委員 ソレデ分リマスガ、其講釋ヲ聽カナイト餘程分リ惡イ、前ノ箇條ト比較シテ、兩方ノ今ノ御説明ヲ承レバ分ルガ、是ハ餘程研究ヲ要スルト思フ、御趣意ハ能ク分リマシタ、是デ質問

ハ終リマス
○澤田委員 此場合昨日答辯ノ保留シテアツタ事ニ付テ御答辯ヲ願ヒマス

○潮政府委員 昨日ノ質問ノ中デ、二級町村制ノ事ニ付テノ御尋デゴザイマスガ、其中ノ町村長ノ官選ヲ廢メル考ハナイカ、或ハ委任投票ヲ廢メル考ハナイカト云フ、具體的ノ問題デアリマシタガ、是ハ今日松實君カラモ御尋ガアリマシテ、北海道ノ一級、二級ノ町村制ハ、本法成立後ニ於キマシテ速ニ改正ヲ致シタイト存ジテ居リマスガ、固ヨリ其内容ヲ此處デ彼此レ御引受ケハ致兼ネマスケレドモ、御示シナリマシタ中デ、委任投票ノ如キハ削除スベキモノト考ヘテ居リマス、併シ町村長ノ官選ト云フコトハ如何デアリマセウカ、モウ少シ研究ヲ要スル、ト申スノハ町村長ノ官選ハ固ヨリ自治ノ理想デゴザイマセウ、併ナガラ土地柄ニ依リマシテ、官選ニ依テ地方費カラ其俸給ヲ拂ハヌ方ガ、自然町村ノ經濟ニ於テモ適當デハナイカ、其經費ノ便、二級町村ノ實際カラ見テ、或ハ官選ヲ撤廢スルノガマダ早イノデハナイカト云フ懸念ガゴザイマスカラ、此點ハ御請合ハ出來マセウケレドモ、委任投票ノ事ニ付テハ大體削除シテ宜シイト思ヒマス、其他ノ點ニ付テハ、無論各條ニ付テ一級二級ヲ通ジテ研究ヲシテ、相當ノ處置ヲ致シタイト思ヒマス

○松實委員 私モ四五御尋致シタイト

思ヒマス、此十六條ノ選舉立會人ノ事デアリマスガ、是ハ先程誰方カラカ御質問ガアリマシタガ、私ノ質問ハソレトハ違フノデアリマス、ソレハ投票立會人ガ三名ニ達セヌトキニハ、此投票立會人ヲ三名ニ達スルヤウニ、隨時任命スルト云フ規定ニナッデ居ルガ、十六條ノ第一項ノ候補カラ届出タ投票立會人一人ヲ舉ゲテ定ムルト云フコトデア

ルガ、例ヘバ候補者ガ十人アルト云フ場合ニ十名デスルノデアリマスガ、又其十名以外ニ投票立會人ヲ定ムルト云フノデアリマスガ、其點ガ明ニナッテ居ナイヤウデスガ、是ハ此案デ十人ガ十人候補者ガアッテ一人ヅツ届ケテ、十人デ満員デアルト云フ意味ニ解釋ガ出來ルト思ヒマスガ、此條文デ差支ナイカドウカ、一應御同致シマス

○潮政府委員 是ハ候補者カラ一人ヅツ届出ヲサセマスカラ、ソレガ十人ニナリマシテモ、十人ナラバ十人デ差支ゴザイマセウ、其上ニ更ニ三人ヲ選ムノデモ何デモアリマセウ、或ル場合ニハ十人選ビマシテモ、十人ガ何カノ故障デ參會シナイト云フコトモアリマセウカラ、其時ニ餘リ少數ノ者デ選舉ヲヤリマシテハ公正ヲ缺クト云フ虞ガアリマスカラ、サウ云フ變例ノ場合ニハ三人選ブ、サウ云フ場合デナイ時、候補者カラ選ビマシタ者ヲ採用致スノデアリマス

字ヲ文字ト看做スト云フ規定ガ設ケラレテ居ルガ、是ハ宜シイガ、羅馬字ノ事ハ確定ニナッテ居ルノデアリマセウカ、若シ疑問デモアルナラバ、此場合此處ニ規定シテ置ク必要ハナイノデアリマセウカ

○潮政府委員 羅馬字ニ付テハ、既ニ大審院モ衆議院ノ選舉法ノ關係ニ於テ有效ト認メテ居リマスシ、政府モ亦有效ト之ヲ解釋致シテ參リマシタカラ、特ニ茲ニ掲ゲマセウデモ、ソレデ執行上差支ナイト認メマシタ

○松實委員 第二十五條ノ「天災事變ノ爲選舉會ヲ開クコトヲ得サルトキハ選舉長ハ更ニ其期日ヲ定ムヘシ」此事ニ付テ御尋致シタイノデアリマスガ、實例ニ依テ御尋スル方ガ御分リガ早イト思ヒマスガ、一選舉區内ノ中ノ一町村ガ水害ガ出來テ、交通遮斷デアッタガ爲ニ選舉ガ出來ナカッタ、散ウ云フ場合ニハ、無論之ニ依テ延ビルノデアルガ、其場合ニ於テ開票ハ、一町村デモ投票ガ濟マナケレバ、ソレハ開票シナイコトニナッテ居リマスガ、一寸例ガ違フカ分リマセウガ、衆議院議員選舉ナドニ於キマシテハ、其投票ノ出來ナカッタ處ダケヲ除イテ、後トハ全部開票シテシマフ、斯ウ云フヤウナ實例ガアッタ、選舉ヲシテ見タ所ガ、其町村ニハ五十票殘ッテ居ル、所ガ兩候補者ノ得票ノ差ガ少イト云フヤウナコトデ、或者ニ投票ガ集中シテ、非常ニ選舉ノ番狂ハセヲヤッタ

ヤウニ思ヒマスガ、サウ云フ點ハドウ云フコトニナツテ居リマスカ

○潮政府委員 今御話ノヤウナコトハ無イト存ジマス、選舉會ヲ開キマスニハ各投票區ハ投票函ガ全部揃ハナイト、來タモノダケデ開票ヲスルコトハ出來ナイカラ、サウ云フ事實ハ起ラヌト思ヒマス、御説ノ一部分ダケ開クト云フ御説ハ、或ハ根室支廳管内ノ千島ノ衆議院議員選舉ニ關シテハ特例ガ出來テ居リマスカラ、ソレデハナイカト

思ヒマス、其場合ノ事デハアリマセヌカ、アレハ北海道ノ陸續キノ分ハ早く、千島ノ分ハ遅ク報告スル、又ソレヲ併セテ計算ヲスルト云フ特別ノ規程ガアルノデアリマス、ソレ以外ハ投票函ノ來ナイ内ニ一部ヲ開ケテシマフト云フコトハナイノデアリマス

○松實委員 私ハ考違ヒカ知レマセヌガ、例ヘバ北海道ハ支廳ガアリマスガ、殘ツタ分ガ一支廳ダケナラ開ケヌカ知ラナイガ、一選舉區ハ三支廳デアル、其内ニ二支廳ダケハ先キニ開ケテ、殘ツタ一支廳ノ一町村トカ、二町村ガ投票ヲマダシナイ場合ニ、其處ダケハ開ケヌガ、後トヲ開ケタヤウニ思ヒマス、サウ云フ事實ガアルトスレバ、玆ニ適用シ得ルノデアリマスガ、此點ハドウデスカ

○潮政府委員 ソレハアラウト思ヒマス、一選舉區、一選舉區ニナツテ居リマスカラ、他ノ選舉區デハ投票ナリ開票ナリ、外ガ濟ムマデ待ツテ居リマセヌカラ、サウ云フ事實ハアリマス、併シ一選舉區内ニ於テ一村ガ天災ノ爲ニ投票ヲ再ビヤラナケリバナラヌ、或ハ投票函ガ届カナイト云フ場合ニ、一選舉區内ニ於テ他ノモノノ届カナイノヲ知リツツモ、別ノ村ノ投票ヲ開クト云フコトハ無イト存ジマス

○松實委員 スウ云フ例ガ先年アッタノデアリマス、出水ノ爲ニ半バハ選舉ガ出來ナカッタ、所ガ半バ、選舉ガ出來タ、而モ其半バモ午前中ニヤレバ出來ルノデアル、所ガヤラナイ内ニ午後ニナツテカラ水ガ出テ出來ナカッタ、斯ウ云フ事ガアリマシテ、大分疑義ノ起ッタコトガアリマシタガ、午前中ニ投票ニ來レバ來ラレル程度ノモノデアルナラバ、其投票ハ午後交通ガ遮斷サレテモ、既ニ町村ノ大部分ガ投票ヲシテ居ルト云フコトデアルナラバ、ソレハ全部有效投票ト看做シテヤル譯ニハ行カヌデアリマセウカ、其邊ノ扱ハドウナツテ居リマスカ

○潮政府委員 私ハ能ク御尋ノ意味ヲ諒解シマセヌ、兎ニ角完全ニ町村ガ投票ヲ致シマシタナラバ、無論有效ダラウト思ヒマス、今御述ノ趣旨ハ、投票ハシタガ其函ヲ持ッテ來ルノガ遅レテ、午後ハ水ガ出テ持ッテ來レナカッタト云フノデアリマスカ

○松實委員 イヤサウデハアリマセヌ、私ハ斯ウ云フノデアリマス、一町村デ畫マデナラバ投票ニ來ラレル譯デアリマスガ、畫前ニ來ナイガ爲ニ、午後ハ水ガ出テ交通遮斷ニナツテ投票ガ出來ナイ、ソレハホンノ一部分デアル、大部分ハ投票ヲシテ居ルノデアルカラ、其一部分ガ畫前ニ來レバ出來ルガ、來ナカッタ爲ニ投票ガ出來ナイカラ、棄權ト看做シテ、其他ノ投票ヲ有效ニシテハドウカ、サウ云フ場合ハナイカドウカト云フコトヲ御尋シタノデアリマス

○潮政府委員 私ハ北海道ノ其實例ハ記憶致シマセヌガ、ソレハ府縣制第十三條第二項ニ依リマシテ、現行法ト言ハズ、改正法ト言ハズ、天災事變ノ爲ニサウ云フコトガ起リマシタラ、便ニ投票ヲヤラナケレバナラヌ、午前中ニヤッタモノガ有效デアリ、午後ニヤラナイモノヲソレヲ棄權ト看做シテ投票ヲサセナイト云フコトハ出來ナイ、サウ云フ場合ハ其投票ハ別トシテ、更ニ日ヲ選ンデ完全ニ投票ヲサセナケレバナラヌト思ヒマス

○松實委員 ソレカラ是ハ府縣制ト關聯シテ居リマスカラ質問ヲ御許シ願ヒタイ、府縣參事會會員ノ權限ト北海道會ノ參事會會員トノ權限ノ相違ガアルカ、ナイカト云フコトヲ御伺シタイノデアリマス

○潮政府委員 松實サンノ御話ノ府縣參事會會員ト北海道ノ參事會會員トノ權限ニハ相違ハナイ、是ハ殊ニ大切ナ條文デアリマスカラ、府縣制ナドヲ準用スルト云フコトデ簡單ニ片付ケナイデ、明瞭ニ取扱ハナケレバナラヌト考ヘテ居リマス

○松實委員 サウシマス、玆ニモウ一ツ其事ニ付テ御尋ヲシナケレバナラヌノハ、府縣參事會デモ宜シイシ、北海道參事會デモ宜シイガ、此參事會ノ權限ノ中ニ豫算其他財政ニ關係ノナイ權限ガ條項ニ含マレテ居ルカ否ヤト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス

○潮政府委員 道會又道參事會ノ關係ニ於テハ、道會法第十條ノ條項ニ「北海道ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル事」トアリマスカラ、道會ガ委任ヲ致シマスレバ其委任事件ニ付キマシテハ、何ニ限ジズ道參事會ノ權限ガアルト思ヒマス

○松實委員 サウスルト其條項以外ニハ豫算其他財政關係ノモノハ無イモノデスカ

○潮政府委員 ソレ以外ニハ、例ヘバ財政關係ト申セマセウガ、急施事件デアリマス、トカ、或ハ工事ノ執行ニ關スル規定ハ、他ニモ關係ガアル事デアリマスカラ、斯ウ云フヤウナモノハ明瞭ニ權限ガゴザイマス、其他ニ付キマシテハ、地方費法ノ八條ノ二號デ北海道長官ガ一般ニ擔任シテ居リマス

○松實委員 是ハ關聯シテ居リマスガ、サウ致シマス、北海道地方費法ノ八條ノ二「北海道廳長官ハ北海道地方費ノ行政ヲ擔任ス」トアル、是デ總テ只

今御間致シマシタ、所謂參事會若クハ道會ニ對スル一切ノ事ヲ網羅シテ居ルト云フコトガ出來マス、私ハ少シク疑問デハナイカト思フ御間致シマシタガ、其點ヲ地方費以外ニ互テ、參事會或ハ道會ガ議事ヲ進メル場合ニ於テハ、此條項デハイカヌデハナイカト云フ疑ガアルカラ伺フタ譯デスガ、其所ヲ明ニシテ貰ヒタイ

否ヤ、其所ニ於テ私ハ一寸逐條審議トシテハ甚ダ體ヲ成サヌカモ知レヌガ、府縣制ノ第七十八條ヲ北海道會法竝ニ地方費法ニ適用スレバ問題ハナイケレドモ、唯アノ抽象的ノ文字ダケデハ、ドウモ第七十八條ノ意味ヲ全部含ンデ居ルトハ、私ハ一寸解釋ガ什惡イデハナイカト思フノデ、ソレデ少シク異ツタケレドモ質問シタノデスカラ、其所ヲ明瞭ニ御答願ヒタイ

○潮政府委員 繰返シマシテモ御了解出來ヌコトハ遺憾デアリマスガ、北海道廳長官ガ其地方費ノ支出ヲ擔任スルトアルノハ、丁度府縣制七十八條ニ「府縣知事ハ府縣ヲ統轄シ府縣ヲ代表ス」トアツテ、其擔任スル事務ハ云々ト書イテアルノト違ヒハナイト思フ、ソレヲ準用シナクテモ宜イ、選舉權ノ問題デモ同様デゴザイマセウ、ソレハ北海道ニ公民ガアレバ準用出來マスガ、一級公民ガナイカラ出來ナイ、道會、道參事會ノ權限トカ缺格ニ關スル條項、事極メテ重大デゴザイマスカラ、殊ニ北海道會法ニ明示ラシタノデゴザイマス

村ニ對シテハ名稱ヲ改稱シナケレバナラヌト思ヒマスガ、此點ハ如何デアリマスカ
○潮政府委員 町村ノ名稱ヲ變更スルコトヲ認メルカト云フ御尋デアリマスカ
○土屋委員 シナケレバ實際不都合ヲ生ズルト思ヒマス
○潮政府委員 若シ現在ノ町村名ガ非常ニ不都合ヲ生ジマスナラバ、町村ノ名稱ハ變更スルデアラウト思ヒマス、又ソレニ相當ノ理由ガアレバ許サナケレバナラヌト思ヒマス

○潮政府委員 地方費法ノ八條ノ二ニ「北海道廳長官ハ北海道地方費ノ行政ヲ擔任ス」ト書イテアリマス、之ニ依テ萬事賄ヒ得ルノデハアリマセヌ、ソレデ北海道會法ニ於キマシテモ、第八條ニ「北海道會ハ法令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事項ノ外北海道地方費ニ關シテ左ノ事項ヲ議決ス」トアツテ、歲入出豫算云々、決算云々ト議決ノ必要ナル事件ガアリマスカラ、内地ト同ジ事ニナルノデアリマシテ、道會、道參事會ノ決メマシテ權限ヲ決行シテ行クノデス、地方費ノ點ハ能ク私ニ分リマセヌデシタガ、北海道會ハ北海道地方費ニ關シテ斯ク々々ノ議決ヲ爲ストアリマスカラ、別ニ定メガアリマセヌケレバ、地方費以外ニ互テ議決スルト云フコトハ原則トシテハ無イ

○松實委員 モウ一ツ最後ニ伺ヒマスカ、サウスルト是デモ、八條ノ二デモ差支ナイト云フノデアリマス、七十八條ヲ準用スルト云フ規定ヲ置イテモ差支ナイ譯デアリマセヌカ、七十八條ヲ準用スルト書ケバ、何所ニ故障ガ起ルノデスカ
○潮政府委員 七十八條ヲ其儘準用致シマスル必要ノナイコトハ、今申上ゲタヤウデアリマス、若シ此儘準用スルト、例ヘバ道會法ノ十一條ヲ御覽下サレバ、北海道廳長官ハ北海道會及北海道參事會ノ議決ニ付スヘキ事件ニ付其ノ議案ヲ發ス」トアリマス、斯ウ云フコトハモウ七十八條ノ二ヲ準用致シマセヌデモ、此方ノ道會法ニ書イテゴザイマス、之ヲ準用シテ書ケト仰シヤレバ書ケヌコトハアリマセヌガ、又ソレヲ書クト重複ノ虞ガアリマス

○松實委員 モウ一ツ百三十三條ノ三項ノ不動產處分ニ關スル件ト云フノハ、別ノ條項ニ入ッテ居ルノデアルカ、何所カニ頭ヲ出シテ居ルノデスカ、ソレヲ全然削ルナラバ差支ガ起リハセヌカト思フガ、如何デスカ
○潮政府委員 不動產ノ處分ニ關シテハ全然削リマス、府縣ト道ニ於テハ削リマシタ、市ニ於テモ削リマシタ、町村ニ於テハ林野ノ如キモノニ付テ特例ガアリマスケレドモ、大體北海道、府縣ニ於テハ自由ニ任セル續リデアリマス

○土屋委員 昨昨日郡ノ廢止ノ結果トシテ、町村ノ併合ヲ行フカドウカラ御尋シマシタ所ガ、ソレハ縣ノ廢合ト同様ムヅカシイト云フ御答辯デアリマシタ、先程大口君カラノ質問ニ、サウスルト一ツノ郡ノ中ニ同名ノ町村ヤ何カガアツテ困リハセヌカト云フ御尋デアリマシタガ、現ニ私ノ郡ニモ同名ノ村ガ三ツモアルノデアリマス、サウス云フ

○松實委員 其所ガ私ノ疑問デアリマス、只今道會法ハ明ニ明文ガアルカラ差支ナイト申シマスガ、道會法ニハ此八條ノ二ニ依テ、長官ノ權限ヲ執行スル上ニ於テハ總テガ包含サレテ居ルカラ

○潮政府委員 繰返シマシテモ御了解出來ヌコトハ遺憾デアリマスガ、北海道廳長官ガ其地方費ノ支出ヲ擔任スルトアルノハ、丁度府縣制七十八條ニ「府縣知事ハ府縣ヲ統轄シ府縣ヲ代表ス」トアツテ、其擔任スル事務ハ云々ト書イテアルノト違ヒハナイト思フ、ソレヲ準用シナクテモ宜イ、選舉權ノ問題デモ同様デゴザイマセウ、ソレハ北海道ニ公民ガアレバ準用出來マスガ、一級公民ガナイカラ出來ナイ、道會、道參事會ノ權限トカ缺格ニ關スル條項、事極メテ重大デゴザイマスカラ、殊ニ北海道會法ニ明示ラシタノデゴザイマス

○土屋委員 昨昨日郡ノ廢止ノ結果トシテ、町村ノ併合ヲ行フカドウカラ御尋シマシタ所ガ、ソレハ縣ノ廢合ト同様ムヅカシイト云フ御答辯デアリマシタ、先程大口君カラノ質問ニ、サウスルト一ツノ郡ノ中ニ同名ノ町村ヤ何カガアツテ困リハセヌカト云フ御尋デアリマシタガ、現ニ私ノ郡ニモ同名ノ村ガ三ツモアルノデアリマス、サウス云フ

○土屋委員 郡ヲ廢シマシタ結果トシテ、郡ナルモノハ結局國ト同ジヤウニ、歴史上ノ名ノミニナッテ殘ルヤウニ考ヘラレマスルガ、其結果トシテ衆議院議員選舉法ノ別表ヲ改正シナケレバナナライカト思ヒマスガ、此點ハ如何デ

アリマス

○潮政府委員 別表ハ改正致シマセヌ積リデゴザイマス、併シ改正セズシテ、別ニ法文ヲ設ケマシテ、選舉區ノ異動ノナイヤウニ規定スル積リデ、目下樞密院ニ御諮詢中デゴザイマスカラ、不日其議ヲ經マシテ御協賛ヲ仰グベク提出スルコトニナルト思ヒマス

○土屋委員 第六條ノ改正案ニ、兵籍ニ編入セラレタル學校生徒、其次ニ括弧ヲシテ、勅令ヲ以テ定ムル者ヲ除クトアル、是ハドウ云フ者デゴザイマセウカ

○潮政府委員 陸海軍ニ屬スル學生生徒ガ兵籍ニ編入セラレルコトハ當然デアリマス、軍紀軍律ノ上カラ申シマスレバ、兵籍ニ編入セラレタル學生生徒ハ投票ニ參加サセナイ方ガ宜シイ、ソレガ原則デゴザイマスガ、括弧ノ中ニ勅令ヲ以テ云々トアルノハ、選舉法モ同様デアリマシテ、陸軍各部ノ委託學生、海軍ノ軍醫學生、藥劑學生、主計學生、造船學生、造機學生、造兵學生、斯ウ云フモノデゴザイマシテ、兵籍ニ編入サレテハアリマスケレドモ、例ヘバ衛生部カラ醫科ノ方ノ學生トナツテ、醫者ノ事ヲ毎日習ツテ居ル、或ハ獸醫ノ事ヲ毎月習ツテ居ル、斯ウ云フモノハ身ガ兵籍ニ在ル故ヲ以テ禁止スル必要ハナイ、普通ノ學生、通常人ト同ジ生活ヲシテ居ル者デアリマスカラ、ソレヲ加ヘタイト思フノデアリマス

○土屋委員 先程松實君カラ、羅馬字ノ投票ヲ認メルヤ否ヤト云フコトニ付テ質問ヲ致シマシタ所ガ、政府委員カラ大審院ノ判決令モアルカラ羅馬字ヲ認メルト云フコトデアリマシタガ、其認メルト云フ羅馬字ノ範圍ハドウ云フモノデアリマセウカ、私ハ羅馬字ハ日本字デナイト解釋スルノデアリマスガ、日本字ニ非ザル所ノ羅馬字ヲ認メルト云フコトデアレバ、露西亞語モ認メナケレバナラヌ、土耳其語モ認メル、或ハ馬來語モ認メナケレバナラヌ、國法ハ國境ヲ越エズト云フコトヲ能ク法律學者ハ申シマスガ、其原則ニ反スルコトニナリハシナイカ、是ハ大切ナ問題デアリマスガ、先程ノ御答辯デハ私少シク了解シナイノデアリマス

○潮政府委員 私共ハ大審院判決例ニ文字ニ記載スルト書イテアリマスノハ、我國固有ノ文字タルヲ要求スルモノデハナイカラ、社會一般ニ通用セラレル羅馬字ナラバ、之ヲ容レルノガ相當デアルト云フ、判決ト同様ノ考ヲ持ッテ居リマス、羅馬字ト云フノハ何カト仰シヤルノデアリマスガ、羅馬字ハ露西亞字ニ非ズ、希臘字ニ非ズ、馬來字ニ非ズト存ジテ居リマス、或ハ將來露西亞語ガ一般ニ使ハレルトカ、馬來ノ言葉ガ一般ニ使用サレルヤウニ、社會的ニ見テサウ云フ時代ニナレバ、ソレヲ容レルト云フ解釋モ出マセウケレドモ、今日羅馬字ト云フモノハ「エトビ

」ノ二十六文字デアラウト思ヒマス、サウ解釋スレバ、ソコニ疑念モ何モ出マスマイト思ヒマス、或ハ土屋サシノ御議論ノヤウニ致シマスレバ、サウナレバ電信ノ記號モ入レタラドウカト云フヤウナコトニナリマセウケレドモ、サウ云フモノハマダ社會ノ通念トシテ文字扱ヒニサレテ居リマセヌ、是ハ特殊ノ技術家ノミガ使フノデアリマス、隨テ羅馬字ト申セバ、大體ニ於キマシテ其範圍ハ明瞭ダト存ジマス

○土屋委員 等レク羅馬字ト申シマシテモ、色ニ誰ノ式或ハ何式ト云フヤウナコトデ、綴方ヲ異ニシテ居リマス、又獨逸ノ固有ノ書キ方デ、發音ヲ日本ノヤウニシテヤル場合モアリマセウシ、露西亞ノ「アルファベット」ヲ以テ、發音ヲ日本ノヤウニヤルモアリマセウ

ガサウ云フ場合ハドウナリマスガ、社會通念ト云フテモ、其境界ハ甚ダ曖昧デアリマスカラ、當然國法ニ依テ、認ムル所ノ日本字ノミヲ以テヤルト云フコトガ正當デアラウト思ヒマスガ、羅馬字ガ差支ナイナント云フコトハ、日本人トシテ自分ノ國語ヲ甚ダ蔑視スル嫌ヒモアリマスシ、サウ云フ觀念ヲ擴ゲテ參リマス、他ノ方面ニモ色ニノ影響ヲ及ボスト思ヒマス、此點ハモウ少シハッキリ承ツテ置キタイト思ヒマス

羅馬字デハナカラウト思ヒマス、其綴方、發音モ違ヒマス、普通ノ羅馬字ハ「エー、ビー、シー」ノ文字デアラウト思ヒマス、サウシテ「シー」ノ音ヲ書クニハ、「エス、アイ」ト書クコトモアリマスガ、多クハ「エス、エッチ、アイ」ト書クト思ヒマス、假ニ「エス、アイ」ト書キマシテモ、何人ニ投票シタモノカ確認シ得ベキ投票ナラバ、有效トシテ見ルト云フノデアリマス、土屋サンノ御説モ國字尊重論カラ出タモノデ、傾聽致シマスケレドモ、前ニモ述ベラレマシタ如ク、餘リニ必要ノナイ制限ヲ加ヘルコトハ適當デナイト存ジマス、其御議論カラ參リマス、點字投票モイカヌト云フコトニナルノデハナイカ、是モ日本固有ノ國字デハナイノデアリマス、盲人ノ間ニ特別ニ使ハレテ居ルノデアリマス、而モ盲人ノ間ニ一般的ニ用キラレテ居リマスルカラ、之ヲ使用スルト云フコトハ誰方ニモ御異論アリマセヌト思ヒマスガ、極端ニ論ジマシテ、日本固有ノ文字ト云フコトニナリマス、點字モイケナイ、隨テ羅馬字モ、イケナイ何モカモイケナイト云フコトニナル、ソレハ選舉ノ上ニ適當デハナイト思ヒマス、結局ハ御意見ハ違フノカモ知レマセヌガ、私共ハ今日ノ程度ニ於テ差支ナイト云フコトヲ認メテ居リマス

○土屋委員 是レ以上ヲ申上ゲマスト討論ニナリマスカラ述ベマセヌガ、點

字ト羅馬字ハイケナイト云フノデ、選舉人ノ投票ヲ拘束スルト云フコトハ面白クナイト云フコトデアリマシタガ、一體此選舉權ハ公民ノ選舉權デアリマス、公民デアル以上ハ、日本人トシテノ義務教育ヲ日本字ニ依テ受ケテ居ルノデアリマスシ、唯羅馬字ト同ジニ見ルト云フコトハ出來ナイト思ヒマス、

○土屋委員 後ハ他ノ賢明ナル同僚諸君ノ御質問、及ソレニ對スル政府ノ説明ニ譲リマス

ハ又外ノ機會ニ讓ルコトニ致シマシテ、其次ニ假投票ノ場合ニ封筒ニ入レテ封緘ヲシテ、表面ニ自ラ其氏名ヲ記載シテ投函セシムルト云フコトハ、是モ點字ノ例ヲ御引ニナルト、點字デモサウダト仰セニナルカモ知レマセヌガ、此規定ハ選舉ノ投票祕密主義ニ反スルコトニナリハシナイカ、他ニ方法ハナカッタデセウカ、此點ヲ一ツ承リタイ

○由谷委員 私人質問ヲ議事ノ進行上一切抛棄シマス

○潮政府委員 假投票ヲ今度新ニ設ケマシタノハ、衆議院議員選舉法ニ準ジテ設ケマシタ、此投票ノ方法ヲ認メマセヌケレバ、一遍ニ窺知サレマスカラ、是ハ他ニ適當ナ方法ガアレバ兎モ角モデアリマスガ、他ニ名案ハゴザイマセ

○近藤委員 私人大體御尋シヤウト思フコトハ、皆様が御質問ニナリマシタカラ、私ハ府縣制ニ對スル質問ハアリマセヌ

セヌノデ、矢張選舉法ノ中ニ用キテ居リマスヤウニ、中ノ投票ノ無記名デゴザイマスカラ、祕密主義ニハ反シマセヌ、外ノ封筒ニ書イテアル名前ヲ見テ、其人ガ有權者デアルカドウカラ見テ、而シテ破ッテ點檢ヲ始メル、是ガ爲ニ投票ノ祕密ヲ案ルト云フコトハナイト思ヒマス

○高橋委員 私人二簡單ニ質問シマス、度々御質問ガアツタヤウデアリマスケレドモ、私ノ御問申所ハ一寸趣旨ガ違フノデアリマスガ、郡ノ區域ガ廢止ニナリマシテ、從來郡ノ區域ヲ以テ構成シテ居ル團體ガアルノデアリマス、例ヘバ農會デアルトカ、其他ノ之ニ類スル團體ガ澤山アル、斯ウ云フモノハ地方ノ行政ノ上ニ當リマシテモ、府縣產業ノ方面ニ於テモ、多大ノ効果ヲ齎シテ居ルコトハ申スマデモナイ……

○荒川委員長 一寸高橋君ニ申シマスガ、其事ニ付テハ大口君カラ質問ガアリマリマシテ、ソレカラハ他ノ機會ニモウ一遍練合フト云フコトニシテ居リマスカラ、其場合ニ御譲リヲ願ヒタイ

○赤間委員 次ニハ此議員候補者タラントスル者ノ届出ノ條項ノ所デゴザイマスガ、是ニハ候補者ガ死亡シ、或ハ辭退ヲシタ場合ノ、府縣制ノ十三條ノ二ノ三號ニ持ッテ行ッテ、候補者ガ死亡シタトキカ候補ヲ辭退シタトキニハ、更ニ其届出ノ期間ガ延長サルト云フヤウナコトニナッテ居リマス、所ガ此ノ他府縣ヘ轉住ヲ致シマスルカ、或ハ國籍ヲ喪失致シマシタヤウナ場合ニ、候補者ヲ失フヤウナコトニナリマセウガ、此場合ノ規定ガ府縣制ニハ無イヤウニ思ヒマスガ、是ハ如何デゴザイマセウカ

○高橋委員 左様デアリマスレバ其場合ニ讓ルコトニ致シマス、私ハ簡單ニスル爲ニモウ一ツダケ伺ッテ置キマスガ、度々此處デモ繰返サレタト思ヒマス

○潮政府委員 此所ニ在職ト加ヘマシタノハ、或ハ休職デゴザイマストカ退職トカ云フコトヲ除キマス云フコトデ、現職ニ居ルモノト云フ意味デ加ヘマシタガ、是ハ檢事トカ或ハ警察官トカ云フコトハ、成程其時ニ於ケル職務ノ權限ヲ執行スル區域ハ自カラ別デゴザイマセウガ、國民ニ對スル種々檢察事務ヲ行フ、警察事務ヲ行フ、其他ノ收稅事務ヲ行フコトハ、所謂潛勢力ノ及ブ虞ガアル、或ハ職權ヲ感ハス虞ガアル、自由意思ヲ拘束スル虞モアルト云フヤウナ事カラ、是ハ絕對ニ禁止ヲ致シマシタ、是ガ自由公正ノ爲ニ適當ト思ヒマシテ、昨年ノ選舉法ニ於テモ左様ニ致シタノデゴザイマス

○潮政府委員 假投票ヲ今度新ニ設ケマシタノハ、衆議院議員選舉法ニ準ジテ設ケマシタ、此投票ノ方法ヲ認メマセヌケレバ、一遍ニ窺知サレマスカラ、是ハ他ニ適當ナ方法ガアレバ兎モ角モデアリマスガ、他ニ名案ハゴザイマセ

○潮政府委員 此第十三條ノ二項第三號ノ候補者ガ死亡致シマシタリ、或ハ辭退致シマシタ場合ニ、新ニ候補者ヲ届出デナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ必要上カラ出タノデアリマス、詰リ今マデ届出ガアツテ、選舉人ノ方デ其候補者ニ投票シヤウト思ッテ居ルガ、其人ガ亡クナッタリ辭退ヲシタリシタラ、目標ヲ失ヒマスカラ、更ニ新ニ候補者ノ届出ヲシナケレバナラヌ、サウシテ選舉人ニ適當ナ候補者ニ投票サセナケレバナラヌガ、國籍ヲ失ヒマシタ場合ハ被選舉權ヲ失ヒマスカラ、議員候補者トシテハ當然失格スルノデアリマス

○赤間委員 只今ノ國籍ヲ喪失致シマシタ場合、或ハ候補者ガ他ノ府縣ニ轉住致シマシタヤウナ場合ハ、矢張此候補者ノ後ニハ府縣制ニモ市町村制ニモアリマスガ、此選舉權ノ場合ニ「在職ノ檢事警察官吏及收稅官吏ハ被選舉權ヲ有セス」ト云フコトニナッテ居リマス、此在職ト云フノハ、斯ウ書ケバ全國ニ通ジタイケナイト云フコトニナッテ居リマスガ、在職地ノ利害ノ所ニ於テハ、或ハ檢事デアツテモ、警察官吏デアツテモ、收稅官吏デアツテモ、他ノ一般行政官吏デアリマシテモ異ナル所ハナイト思ヒマスガ、特ニ在職ノ檢事、警察官、收稅官ノ在職ト云フ字ヲ加ヘテ、是ダケヲ一般ノ被選舉權ヲ與ヘナイト云フヤウナ御趣意デアリマセウカ

○潮政府委員 此所ニ在職ト加ヘマシタノハ、或ハ休職デゴザイマストカ退職トカ云フコトヲ除キマス云フコトデ、現職ニ居ルモノト云フ意味デ加ヘマシタガ、是ハ檢事トカ或ハ警察官トカ云フコトハ、成程其時ニ於ケル職務ノ權限ヲ執行スル區域ハ自カラ別デゴザイマセウガ、國民ニ對スル種々檢察事務ヲ行フ、警察事務ヲ行フ、其他ノ收稅事務ヲ行フコトハ、所謂潛勢力ノ及ブ虞ガアル、或ハ職權ヲ感ハス虞ガアル、自由意思ヲ拘束スル虞モアルト云フヤウナ事カラ、是ハ絕對ニ禁止ヲ致シマシタ、是ガ自由公正ノ爲ニ適當ト思ヒマシテ、昨年ノ選舉法ニ於テモ左様ニ致シタノデゴザイマス

○赤間委員 次ニハ此議員候補者タラントスル者ノ届出ノ條項ノ所デゴザイマスガ、是ニハ候補者ガ死亡シ、或ハ辭退ヲシタ場合ノ、府縣制ノ十三條ノ二ノ三號ニ持ッテ行ッテ、候補者ガ死亡シタトキカ候補ヲ辭退シタトキニハ、更ニ其届出ノ期間ガ延長サルト云フヤウナコトニナッテ居リマス、所ガ此ノ他府縣ヘ轉住ヲ致シマスルカ、或ハ國籍ヲ喪失致シマシタヤウナ場合ニ、候補者ヲ失フヤウナコトニナリマセウガ、此場合ノ規定ガ府縣制ニハ無イヤウニ思ヒマスガ、是ハ如何デゴザイマセウカ

○潮政府委員 其第十三條ノ二項第三號ノ候補者ガ死亡致シマシタリ、或ハ辭退致シマシタ場合ニ、新ニ候補者ヲ届出デナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ必要上カラ出タノデアリマス、詰リ今マデ届出ガアツテ、選舉人ノ方デ其候補者ニ投票シヤウト思ッテ居ルガ、其人ガ亡クナッタリ辭退ヲシタリシタラ、目標ヲ失ヒマスカラ、更ニ新ニ候補者ノ届出ヲシナケレバナラヌ、サウシテ選舉人ニ適當ナ候補者ニ投票サセナケレバナラヌガ、國籍ヲ失ヒマシタ場合ハ被選舉權ヲ失ヒマスカラ、議員候補者トシテハ當然失格スルノデアリマス

○赤間委員 只今ノ國籍ヲ喪失致シマシタ場合、或ハ候補者ガ他ノ府縣ニ轉住致シマシタヤウナ場合ハ、矢張此候補者ノ後ニハ府縣制ニモ市町村制ニモアリマスガ、此選舉權ノ場合ニ「在職ノ檢事警察官吏及收稅官吏ハ被選舉權ヲ有セス」ト云フコトニナッテ居リマス、此在職ト云フノハ、斯ウ書ケバ全國ニ通ジタイケナイト云フコトニナッテ居リマスガ、在職地ノ利害ノ所ニ於テハ、或ハ檢事デアツテモ、警察官吏デアツテモ、收稅官吏デアツテモ、他ノ一般行政官吏デアリマシテモ異ナル所ハナイト思ヒマスガ、特ニ在職ノ檢事、警察官、收稅官ノ在職ト云フ字ヲ加ヘテ、是ダケヲ一般ノ被選舉權ヲ與ヘナイト云フヤウナ御趣意デアリマセウカ

○潮政府委員 此所ニ在職ト加ヘマシタノハ、或ハ休職デゴザイマストカ退職トカ云フコトヲ除キマス云フコトデ、現職ニ居ルモノト云フ意味デ加ヘマシタガ、是ハ檢事トカ或ハ警察官トカ云フコトハ、成程其時ニ於ケル職務ノ權限ヲ執行スル區域ハ自カラ別デゴザイマセウガ、國民ニ對スル種々檢察事務ヲ行フ、警察事務ヲ行フ、其他ノ收稅事務ヲ行フコトハ、所謂潛勢力ノ及ブ虞ガアル、或ハ職權ヲ感ハス虞ガアル、自由意思ヲ拘束スル虞モアルト云フヤウナ事カラ、是ハ絕對ニ禁止ヲ致シマシタ、是ガ自由公正ノ爲ニ適當ト思ヒマシテ、昨年ノ選舉法ニ於テモ左様ニ致シタノデゴザイマス

○赤間委員 次ニハ此議員候補者タラントスル者ノ届出ノ條項ノ所デゴザイマスガ、是ニハ候補者ガ死亡シ、或ハ辭退ヲシタ場合ノ、府縣制ノ十三條ノ二ノ三號ニ持ッテ行ッテ、候補者ガ死亡シタトキカ候補ヲ辭退シタトキニハ、更ニ其届出ノ期間ガ延長サルト云フヤウナコトニナッテ居リマス、所ガ此ノ他府縣ヘ轉住ヲ致シマスルカ、或ハ國籍ヲ喪失致シマシタヤウナ場合ニ、候補者ヲ失フヤウナコトニナリマセウガ、此場合ノ規定ガ府縣制ニハ無イヤウニ思ヒマスガ、是ハ如何デゴザイマセウカ

○潮政府委員 其第十三條ノ二項第三號ノ候補者ガ死亡致シマシタリ、或ハ辭退致シマシタ場合ニ、新ニ候補者ヲ届出デナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ必要上カラ出タノデアリマス、詰リ今マデ届出ガアツテ、選舉人ノ方デ其候補者ニ投票シヤウト思ッテ居ルガ、其人ガ亡クナッタリ辭退ヲシタリシタラ、目標ヲ失ヒマスカラ、更ニ新ニ候補者ノ届出ヲシナケレバナラヌ、サウシテ選舉人ニ適當ナ候補者ニ投票サセナケレバナラヌガ、國籍ヲ失ヒマシタ場合ハ被選舉權ヲ失ヒマスカラ、議員候補者トシテハ當然失格スルノデアリマス

○赤間委員 只今ノ國籍ヲ喪失致シマシタ場合、或ハ候補者ガ他ノ府縣ニ轉住致シマシタヤウナ場合ハ、矢張此候補者ノ後ニハ府縣制ニモ市町村制ニモアリマスガ、此選舉權ノ場合ニ「在職ノ檢事警察官吏及收稅官吏ハ被選舉權ヲ有セス」ト云フコトニナッテ居リマス、此在職ト云フノハ、斯ウ書ケバ全國ニ通ジタイケナイト云フコトニナッテ居リマスガ、在職地ノ利害ノ所ニ於テハ、或ハ檢事デアツテモ、警察官吏デアツテモ、收稅官吏デアツテモ、他ノ一般行政官吏デアリマシテモ異ナル所ハナイト思ヒマスガ、特ニ在職ノ檢事、警察官、收稅官ノ在職ト云フ字ヲ加ヘテ、是ダケヲ一般ノ被選舉權ヲ與ヘナイト云フヤウナ御趣意デアリマセウカ

○潮政府委員 此所ニ在職ト加ヘマシタノハ、或ハ休職デゴザイマストカ退職トカ云フコトヲ除キマス云フコトデ、現職ニ居ルモノト云フ意味デ加ヘマシタガ、是ハ檢事トカ或ハ警察官トカ云フコトハ、成程其時ニ於ケル職務ノ權限ヲ執行スル區域ハ自カラ別デゴザイマセウガ、國民ニ對スル種々檢察事務ヲ行フ、警察事務ヲ行フ、其他ノ收稅事務ヲ行フコトハ、所謂潛勢力ノ及ブ虞ガアル、或ハ職權ヲ感ハス虞ガアル、自由意思ヲ拘束スル虞モアルト云フヤウナ事カラ、是ハ絕對ニ禁止ヲ致シマシタ、是ガ自由公正ノ爲ニ適當ト思ヒマシテ、昨年ノ選舉法ニ於テモ左様ニ致シタノデゴザイマス

○赤間委員 次ニハ此議員候補者タラントスル者ノ届出ノ條項ノ所デゴザイマスガ、是ニハ候補者ガ死亡シ、或ハ辭退ヲシタ場合ノ、府縣制ノ十三條ノ二ノ三號ニ持ッテ行ッテ、候補者ガ死亡シタトキカ候補ヲ辭退シタトキニハ、更ニ其届出ノ期間ガ延長サルト云フヤウナコトニナッテ居リマス、所ガ此ノ他府縣ヘ轉住ヲ致シマスルカ、或ハ國籍ヲ喪失致シマシタヤウナ場合ニ、候補者ヲ失フヤウナコトニナリマセウガ、此場合ノ規定ガ府縣制ニハ無イヤウニ思ヒマスガ、是ハ如何デゴザイマセウカ

○潮政府委員 其第十三條ノ二項第三號ノ候補者ガ死亡致シマシタリ、或ハ辭退致シマシタ場合ニ、新ニ候補者ヲ届出デナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ必要上カラ出タノデアリマス、詰リ今マデ届出ガアツテ、選舉人ノ方デ其候補者ニ投票シヤウト思ッテ居ルガ、其人ガ亡クナッタリ辭退ヲシタリシタラ、目標ヲ失ヒマスカラ、更ニ新ニ候補者ノ届出ヲシナケレバナラヌ、サウシテ選舉人ニ適當ナ候補者ニ投票サセナケレバナラヌガ、國籍ヲ失ヒマシタ場合ハ被選舉權ヲ失ヒマスカラ、議員候補者トシテハ當然失格スルノデアリマス

○赤間委員 只今ノ國籍ヲ喪失致シマシタ場合、或ハ候補者ガ他ノ府縣ニ轉住致シマシタヤウナ場合ハ、矢張此候補者ノ後ニハ府縣制ニモ市町村制ニモアリマスガ、此選舉權ノ場合ニ「在職ノ檢事警察官吏及收稅官吏ハ被選舉權ヲ有セス」ト云フコトニナッテ居リマス、此在職ト云フノハ、斯ウ書ケバ全國ニ通ジタイケナイト云フコトニナッテ居リマスガ、在職地ノ利害ノ所ニ於テハ、或ハ檢事デアツテモ、警察官吏デアツテモ、收稅官吏デアツテモ、他ノ一般行政官吏デアリマシテモ異ナル所ハナイト思ヒマスガ、特ニ在職ノ檢事、警察官、收稅官ノ在職ト云フ字ヲ加ヘテ、是ダケヲ一般ノ被選舉權ヲ與ヘナイト云フヤウナ御趣意デアリマセウカ

○潮政府委員 此所ニ在職ト加ヘマシタノハ、或ハ休職デゴザイマストカ退職トカ云フコトヲ除キマス云フコトデ、現職ニ居ルモノト云フ意味デ加ヘマシタガ、是ハ檢事トカ或ハ警察官トカ云フコトハ、成程其時ニ於ケル職務ノ權限ヲ執行スル區域ハ自カラ別デゴザイマセウガ、國民ニ對スル種々檢察事務ヲ行フ、警察事務ヲ行フ、其他ノ收稅事務ヲ行フコトハ、所謂潛勢力ノ及ブ虞ガアル、或ハ職權ヲ感ハス虞ガアル、自由意思ヲ拘束スル虞モアルト云フヤウナ事カラ、是ハ絕對ニ禁止ヲ致シマシタ、是ガ自由公正ノ爲ニ適當ト思ヒマシテ、昨年ノ選舉法ニ於テモ左様ニ致シタノデゴザイマス

○赤間委員 次ニハ此議員候補者タラントスル者ノ届出ノ條項ノ所デゴザイマスガ、是ニハ候補者ガ死亡シ、或ハ辭退ヲシタ場合ノ、府縣制ノ十三條ノ二ノ三號ニ持ッテ行ッテ、候補者ガ死亡シタトキカ候補ヲ辭退シタトキニハ、更ニ其届出ノ期間ガ延長サルト云フヤウナコトニナッテ居リマス、所ガ此ノ他府縣ヘ轉住ヲ致シマスルカ、或ハ國籍ヲ喪失致シマシタヤウナ場合ニ、候補者ヲ失フヤウナコトニナリマセウガ、此場合ノ規定ガ府縣制ニハ無イヤウニ思ヒマスガ、是ハ如何デゴザイマセウカ

○潮政府委員 其第十三條ノ二項第三號ノ候補者ガ死亡致シマシタリ、或ハ辭退致シマシタ場合ニ、新ニ候補者ヲ届出デナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ必要上カラ出タノデアリマス、詰リ今マデ届出ガアツテ、選舉人ノ方デ其候補者ニ投票シヤウト思ッテ居ルガ、其人ガ亡クナッタリ辭退ヲシタリシタラ、目標ヲ失ヒマスカラ、更ニ新ニ候補者ノ届出ヲシナケレバナラヌ、サウシテ選舉人ニ適當ナ候補者ニ投票サセナケレバナラヌガ、國籍ヲ失ヒマシタ場合ハ被選舉權ヲ失ヒマスカラ、議員候補者トシテハ當然失格スルノデアリマス

補ヲ辭退シタ場合ト、或ハ死亡シタ場合ト同ジヤウニ候補者ガナイコトニナリマス、其場合ニハ矢張候補者ノ届出ヲシテ宜イ譯ト思ヒマスガ、此場合ノ規定ガナイト思ヒマス、候補者ヲ失ッテシマッテ選舉スル目標ガナイコトニナッテシマヒマス、此點ハ如何デスカ

○潮政府委員 或ハ只今私ガ申上ゲマシタノガ言葉ガ簡單デ少シ足ナカッタカ知レマセヌ、解釋ト致シマシテハ無權者ガ其儘候補者トシテ居ルノデナйка、併シ實質ハ投票シマシテモ其投票ハ無効ニナリマセウカラ、赤間サンノ御述ノヤウナ結果ニナリマス、矢張候補者ガ候補者タル資格ハナイ、失格スベキモノニシテ尙ホ候補者ニナッテ居リマス、ソレデ争ヒノナイ場合ニ限ッテ新シイ候補者ヲ認メマスト云フ制度ヲ採リマシタ

○赤間委員 候補者ガ自ラ候補者タルコトヲ届出ル場合ト、候補者トシテ推薦シテ届出ル場合ガアリマスガ、或ハ推薦セラレタ人ガ自分ハ議員候補者ニナルノハ嫌ダト云フノデ辭退シテ應ジナイ、仕方ガナイ爲ニ他府縣ヘ轉居シテシマフ場合ガナイトモ限リマセヌ、或ハ町會議員、村會議員ニ致シマシテモ無理ニ推薦シテモ嫌ダト云フノデ逃出ス人ガアリマス、サウ云フ場合ニ推薦シテ届出ラシテ居リマシテモ、自分ガ候補者ニナルノガ嫌ダト云フ爲ニ、他ノ府縣ヘ轉住シテシマッテ選舉權ヲ

失フ場合ガアリマス、矢張死亡シタ場合、辭退シタ場合ト變リガナイ、殊ニ國籍喪失ノ場合ハ明瞭ニ分リマス、サウ云フ場合ハ矢張選舉前ニ他ノ候補者ノ届出ヲスル、或ハ推薦届出ヲスルト云フ規定ヲ設ケルガ相當デアルト思ヒマス、斯ウ云フ明瞭ナ場合ヲ規定シナイト云フコトハ千慮ノ一失デナイカト思ヒマス

○潮政府委員 千慮ノ一失ト考ヘマセヌ、辭退ハ他人ガ推薦届出ヲ致シマシテモ出來ルノデアリマス、推薦者ガ肯カナイカラト云ッテ他府縣ニ移住スルト云フコトハ餘リナイコトデナイカト思ヒマス、假ニ想像シマスレバアリマセウガ、ソレヲ辭退トカ死亡トカ云フ明々白々ノ事實以外ニ一步踏出シマシテ、國籍ヲ喪失シタ、或ハ他府縣ニ轉住シタノデアラウト云フコトヲ選舉長ガ判斷シマシテ、告示ナドヲシテ更ニ届出ヲサセルコトヲシマス、實ハ判斷ガ出來ヌ場合ガアリマス、選舉長ガ此人ハ轉住シタ、國籍ヲ失ッタト思ッテモ、實ハシテ居ラナカッタ、ソレヲ審査ト云フコトニナリマス、初メ普通ノ議員候補者ノ届出モ一々選舉長ガ此人ガ有資格者デアアル、此人ガ無資格者デアルト云フコトヲ、職權デ審理ヲシテ決メナケレバナラヌ、サウ云フコトニナリマスト大變弊害ノ出來ル虞ガアリマス、候補者自ラ届出或ハ推薦シテ届出デテ來レバ、形式ヲ缺キサヘシナケ

レバ、受理スル式ニ立テテ居リマス、サウ致ス外ハナイ、辭退トカ死亡トカ云フコトハ、死亡ハ勿論辭退ハ本人ノ辭退デアリマス、其場合ニ限ッテハ争ガ起リマセヌカラ認メタノデアリマス、之ヲ一步踏出シマスト疑問ヲ生ジ或ハ弊害ヲ生ズル虞ガアリマスカラ、已ムヲ得ズ斯ウ云フコトニ限定シタノデアリマス

○赤間委員 他府縣ニ轉住スル場合ハ移住届出ヲスレバハッキリシタ問題デアリマス、或ハ國籍喪失ノ場合ハ内務大臣ハ何日ニ國籍ヲ喪失シタモノデアルト云フコトヲ明ニ告示ヲ致シマス、是位明カナ問題ハナイ、併ナガラ是以上ハ議論ニナリマスカラ私ノ質問ハ是ニテ止メマス

○石坂委員 大分御質問ニナッテ居リマスカラ、極ク簡單ニ申シマス、此開票ノ事デアリマス、選舉長ハ市長又ハ知事ノ指定シタル官吏ガ之ニ當ル、ソレニ付テ投票開票區ト云フモノヲ別ニ設ケラルルト云フコトハ、特別ナ何カ事情ガアリマセウカ、第二十三條ノ二ニ於テ「府縣特別ノ事情アリト認ムルトキハ區劃ヲ定メテ開票區ヲ設クルコトヲ得、前項ノ規定ニ依リ開票區ヲ設クル場合ニ於テ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマス、斯ウ云フコトヲシナイデモ、投票區即チ市役所ニ於テ開票スルト同様ニ、投票所デ開票スルト云フ方法ヲ執ルコトガ出來ナカッ

タト云フノハ、ドウ云フノデアリマスカ、特ニ一箇所ニ集合シテ所謂郡長ノ管轄シテ居ッタ郡ノ區域ニ限ッテ、或ル一箇所ニ集メテ開票シナケレバナラヌト云フノハ、ドウ云フ事情デアリマセウカ、投票ハ町村長ガ投票區ヲ管理スル、選舉長ハ知事ノ指定シタ官吏若クハ市長——市長ガ當ッテ居ルトキハ市役所デ開票シテシマフ、今迄ノ郡役所ガ無イノデ知事ノ指定シタ官吏ガ當ル今迄ハ郡役所ニ持ッテ來ナケレバナラヌト云フノデ一箇所ニ寄セタ、今回ハ住所ノ決マッテ居ナイ者ニ特ニ選舉長ヲ命ズルノデアリマスガ、特ニ開票區ヲ設ケテ一箇所ニ集合セシメナケレバナラヌト云フ必要ガ何處ニ在ルカ——詰リ簡單ニ申セバ何故町村毎ニ開票サセルコトガ出來ナカッタノデアアルカ

○潮政府委員 町村長ニ開票サセルコトガ出來ナカッタカト云フノデスカ

○石坂委員 サウデス

○潮政府委員 ソレモ確ニ一ツノ方法デゴザイマス、併ナガラ開票即チ投票ノ効力ヲ認定スル場合ニ、各町村長ノ意見ニ依リマシテ同ジヤウナ疑問ガ起リマシテ、甲ノ村デハ無効ト決定シ、乙ノ村デハ有効ト決定シマスコトハ餘リ適當デナイ、サリトテ開票管理者ノ所ニ持ッテ來マシテモ皆一律ニ行クカ疑問デアリマスガ、或ル範圍ノモノヲ集メマスレバ、其範圍ノ投票ノ効力ハ一ツノ頭デ決メマスカラ、投票効力ノ決

定ガ區々ニナリマセヌ、仰セノヤウニ市ナラバ市デ投票シテ直ニ後デ市長ノ手許デ開票ガ出來レバ兎モ角デアリマスガ、今度有權者ガ殖エテ何萬トナリマス、ドウモ一人ノ手許ニ於テ開票ヲ濟マスコトガ出來ヌ、サウ云フコトデ特別ノ事情ノアル所デハ開票區ヲ設ケテ、其結果ヲ選舉長ガ綜合シテ決定スルヨリ外ニ途ガナイ

○石坂委員 一應拜承シマシタ、二十三條ノ二ハ即チ其事ヲ規定ナサル積リデアリマスカ

○潮政府委員 二十三條ノ第二項デス、之ニ付テハ色ミナ必要ナ規定ガアラウト思ヒマス、大體ハ選舉法ノ施行令ノ如キモノヲ拵ヘル積リデアリマス
○石坂委員 從來投票錄及選舉錄ノヤウナモノハ當選確定マデ保管セシムル事ニナツテ居リマシタ、ソレガ今回議員ノ任期中要ル、衆議院議員選舉法ト同一ニ御直シニナツテ居ル、ソレデ單ニ選舉錄投票錄バカリデナク、選舉人名簿マデ四年間保存シナケレバナラヌ必要ハ何處カラ來テ居リマスカ、第三十條デス

○潮政府委員 御答致シマス、現行法デハ議員ノ當選或ハ選舉ノ效力確定マデ保存スルコトニナツテ居リマシタガ、現行法デモ實ハ疑問ニナツテ居ッタノデアリマス、今度ハ補充ノ場合ノ意ヲ廣メマシテ、四月一日ノ選舉デ當選人ガ決マツテ、異議モ起ラスト云フ事ガ確定

シテ、其後デ議員ノ一人ガ死ニマストカ或ハ抽籤ニ依テ落舉シタ者ガアル場合ニ之ヲ補充スル、其場合ニ爭ガ起リ、又其名簿モ見ナケレバナラヌ、投票錄モ見ナケレバナラヌ、サウシテ誰ガ順位者ダト云フ事ヲ決メナケレバナリマセヌ、ソレガ爲ニ議員ノ任期間之ヲ保存シナケレバナラヌ、選舉人名簿モナケレバナラヌ、サウ云フ爲デス、選舉ニ關スル訴訟ナドガ起ッタ場合ニハ要ルノデアリマス、矢張衆議院議員ト同ジニ任期間ハ一應ソックリ持ッテ居ルト云フ必要ガアルノデス

○石坂委員 三十九條ニ衆議院議員選舉法ノ第四百四十條ノ一項ヲ適用シテアリマセヌ、是ハ郵便ヲ一回限り無料デ配布スルト云フノデスガ、縣會ノ方ハ違フカラ國費ヲ以テ支辨スル郵便ニ對シテ、持典ヲ與ヘルコトガ出來ナイト云フ關係カラ來テ居ルノデアリマセウカ是モ、縣會ノ重大ナル選舉デアリマス、カラ 其府縣ニ於テ何カ特ニ郵便官署ニ府縣費カラ經費ヲ補充スルコトニシテ、其一回ダケ無料デ配布スルコトハ出來ナイノデスカ、兎ニ角戸別訪問ヲ廢シ總テ廢スルノデアリマスカラ、言論文章ト云フモノガ非常ナカヲ持ツコトニナリマシテ、ソレモ頻繁ニ出サナケレバナラヌ事ニナリマス、衆議院ノ時ハ無料デアアル、縣會ノ時ハ同ジ方法ヲ執ラセルケレドモ、全部自辨ト云フコトハ少シ公平デナイヤウニ考ヘマ

シテ、其後デ議員ノ一人ガ死ニマストカ或ハ抽籤ニ依テ落舉シタ者ガアル場合ニ之ヲ補充スル、其場合ニ爭ガ起リ、又其名簿モ見ナケレバナラヌ、投票錄モ見ナケレバナラヌ、サウシテ誰ガ順位者ダト云フ事ヲ決メナケレバナリマセヌ、ソレガ爲ニ議員ノ任期間之ヲ保存シナケレバナラヌ、選舉人名簿モナケレバナラヌ、サウ云フ爲デス、選舉ニ關スル訴訟ナドガ起ッタ場合ニハ要ルノデアリマス、矢張衆議院議員ト同ジニ任期間ハ一應ソックリ持ッテ居ルト云フ必要ガアルノデス

ス

○潮政府委員 其點ダケカラ考ヘマスレバ、衆議院ノ場合ト取扱ヲ異ニシテ居リマスガ、衆議院ノ時デモ郵便無料ト云フ事ハ中ニ問題デアリマシタ、其衆議院ニ於テ言論ナリ文章デ政見ヲ發表スル時ニハ、國家ト雖モ多少ノ犠牲ヲ忍ンデ便宜ヲ與ヘナケレバナラヌト云フコトデ、アアナリマシタ、此度地方制度ノ改正ニ於キマシテモ、矢張有權者ハ著シク増加シテ參リマス、之ニ對スル郵便物ヲ無料デヤルト云フ事ニナリマスレバ、隨分郵便物ノ數モ多ク、ソレガ爲ニハ遞信機關ノ現狀デハ賄ヒ得ナイ、又國家トシテ通信收入ノ上ニモ打撃ニナル、道理カラ言ヘバ衆議院ト同ジニ地方制度ニ付テモ便宜ヲ圖ルコトガ結構デアリマスケレドモ、一面ニハ國ノ事情ガ許シマセヌノデ、其處マデ便宜ヲ與ヘルダケノ犠牲ハ國家トシテ遺憾ナガラ能ウ拂ヘヌ、斯ウ云フ次第デアリマス

○荒川委員長 植原悅二郎君

○植原委員 私ハ通知シテアリマセヌ

○荒川委員長 ソレデハ府縣制改正案ハ是デ質問終了致シマシタ、明日ハ矢張午前十時ヨリ他ノ各案ヲ一括シテ質疑ヲ續行致シマス、ドウゾ御勉強ヲ願ヒマス、是デ散會致シマス
午後五時六分散會

大正十五年三月五日印刷

大正十五年三月六日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社